

公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団年報 2019—2020

Annual Report:The Tokuma Memorial Cultural Foundation for Animation

公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団
令和元年度事業報告
(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

1 : アニメーション文化に関する展覧会事業の企画及び運営 (1 号事業関係)	1
(1) 常設展示	1
(2) 企画展示	1
(3) 短編映画上映	3
(4) その他の展覧会事業	3
(5) 美術館開館日、入館者数等	4
(6) 三鷹市民招待日など	8
(7) 地域活動	8
2 : アニメーション作品及びその資料の収集、保管及び展示並びにアニメーション文化に関する調査研究、普及啓発及び活動の奨励 (2 号事業関係)	10
(1) アニメーション美術館に収蔵する作品及び資料等の収集	10
(2) 保有するアニメーションに関する資料の整理・保管	10
(3) 保有する資料の展示	10
(4) アニメーション文化に関する基礎的調査	11
(5) アニメーション美術館に収蔵する作品の収集のための調査	11
(6) アニメーション文化に関する調査研究	11
(7) アニメーション文化調査研究活動助成制度の実施	11
(8) アニメーション文化についての講演会等	13
(9) 図書閲覧室 トライホークス	14
【資料】図書閲覧室 閲覧図書一覧表	15
(10) アニメーション関連展覧会への企画協力及び展示制作協力	16
(11) アニメーション作品の普及啓発活動	16
【資料】基本財産一覧	17
3 : 三鷹市の公の施設に係る指定管理者の指定を受けて行なうアニメーション美術館の管理運営 (3 号事業関係)	24
三鷹市立アニメーション美術館の管理運営	24
4 : 三鷹市の委託を受けて行なうアニメーションに関する事業 (4 号事業関係)	24
三鷹の森アニメフェスタ 2019 への協力	24
5 : 展覧会事業に付帯する図録その他の印刷物並びにアニメーション文化に関する出版物、映像及び音楽に関する製品の製作及び販売 (5 号事業関係)	25
(1) 出版物の制作販売	25
(2) アニメーション映画のライブラリー事業	25
6 : その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (6 号事業関係)	26
7 : 広報活動報告	27
【資料】広報資料媒体一覧表	29
8 : 令和元年度決算報告	34
【巻末】アニメーション文化に関する調査研究報告	37

1：アニメーション文化に関する展覧会事業の企画及び運営（1号事業関係）

（1）常設展示

当美術館において昨年度同様、以下の展示を行なった。

会期 平成31年4月1日～令和2年3月31日
午前10時～午後6時 会期中無休（休館日を除く）

◆常設展示その1「動きはじめの部屋」

会場 地下一階常設展示室

この展示室では、現在のアニメーションのもとになった様々な発明を題材にした展示物を見せられている。19世紀あるいはそれ以前から、絵を動かすことや奥行きのある空間（別世界）を作ることを目指してきた先人からの積み重ねは、やがてフィルムとしての映画を生む。そうした流れを踏まえて、昔の発明と現代の技術を融合させて、より楽しめる展示物を制作している。

◆常設展示その2「映画の生まれる^{ところ}場所」

会場 一階常設展示室

4つの小部屋を利用した展示室では、アニメーション映画のスタジオを模した空間を設け、映画を作る現場の雰囲気が味わえるものとしている。ただし、実在のスタジオをそのまま再現するのではなく、ものづくりの楽しさが感じられるような、イメージの広がる空間をつくるべく、家具調度品から小物、絵の飾り方に至るまで工夫を施した。

◆常設展示その3「ネコバスルーム」

会場 二階常設展示室

「となりのトトロ」のキャラクター、ネコバスを全長5.4mのぬいぐるみで作り、美術館二階の一角を、子どもたち（小学生以下）がネコバスに乗って遊べる空間として開放した。

（2）企画展示

① 企画展示「映画を塗る仕事」展

会期 平成31年4月1日～令和元年11月3日
午前10時～午後6時 会期中無休（休館日を除く）

会場 一階企画展示室

昨年度に引き続き、故・高畑勲監督、宮崎駿監督が、「登場人物とその日常を丁寧に描き、実写とは違ったリアリティをもたせることで、観客の心に訴えることができる作品」を目指して表現したものや、そのこだわりを彩色の面から解き明かす展示を継続した。特に、両監督を支えた色彩設計の故・保田道世さんの手腕を、当時のセルを用いて紹介した。

第一室は、展示の導入として、仕上げの仕事について説明し、時刻によって変わる色などテーマごとにパネルをわけ、ポイントを解説した。第二室では、「水」や「光」の表現など、両監督が特にこだわった表現に対する彩色のテクニックや色をつかって再現したもの、表現したものを紹介した。

② 企画展示「手描き、ひらめき、おもいつき」展～ジブリの森のスケッチブックから～

会期 令和元年 11 月 16 日～令和 2 年 3 月 31 日

午前 10 時～午後 6 時 会期中無休（休館日を除く）

会場 一階企画展示室 二階ギャラリー

2001 年 10 月に開館した三鷹の森ジブリ美術館は、準備期間を含めると既に 20 年以上の歳月を経たことになる。その間一貫して、“お客様に面白いものを提供し、楽しんでいただく”という考えのもと、建物を建て、展示物をコツコツと作り続けてきた。本展ではその作業内容を、宮崎駿監督自身が描いた絵や文章で紹介した。

第一室では、第一回目の企画展示「千と千尋の神隠し」を皮切りにして、宮崎監督が携わった企画展示について紹介した。何を考え、どの様な思いで修正し、より伝えたいものにどのように近づけていったのか。その創作の過程と、込められた想いを当時の描いたスケッチや集めた資料などを展示した。

第二室では、スタジオジブリが美術館を作ろうと思い立った経緯や、生まれた数々のアイデアが描きとめられたイメージボードを展示した。加えて、設計図面までも修正を入れる宮崎監督の建物への思い入れが見て取れる図面も初公開した。更に、完成したジブリ美術館の各階層が一目瞭然で分かる立体模型も設置し、構想段階のイメージボードと現在の完成した姿が見比べられるようになっている。

二階ギャラリーでは、オリジナル短編映画作品の展示のために描いた数々の絵を展示し、さらに、子どもたちに人気のこねこバスに乗った気分になれる展示物も設置した。



(3) 短編映画上映

地下一階の映像展示室「土星座」では、ここでしか見ることのできないスタジオジブリのオリジナル短編アニメーションを上映している。

今年度は、以下のオリジナル短編アニメーション作品を上映した。

【オリジナル短編アニメーション作品の上映】

平成31年	4月	1日～	4月30日	「コロの大さんぽ」
令和 元年	5月	1日～	5月20日	「くじらとり」
令和 元年	6月	1日～	6月30日	「パン種とタマゴ姫」
令和 元年	7月	1日～	7月31日	「めいとこねこバス」
令和 元年	8月	1日～	8月31日	「毛虫のボロ」
令和 元年	9月	1日～	9月30日	「星をかった日」
令和 元年	10月	1日～	11月 3日	「水グモもんもん」
令和 元年	11月	16日～	12月26日	「パン種とタマゴ姫」
令和 2年	1月	3日～	1月31日	「ちゅうずもう」
令和 2年	2月	1日～	2月24日	「たからさがし」

※午前10時から午後6時までの開館時間中、原則として毎時15、35、55分から上映を開始し、午後5時35分の回で1日の上映を終了した。なお、「たからさがし」においては、午前10時から午後6時までの開館時間中、毎時00、15、30、45分から上映を開始し、午後5時30分の回で1日の上映を終了した。

※「くじらとり」「コロの大さんぽ」「めいとこねこバス」「星をかった日」「ちゅうずもう」「たからさがし」の6作品においては、1時間に1回、難聴者向け日本語字幕付フィルムで上映した。

(4) その他の展覧会事業

【ギャラリー展示】

「土星座10作品のポスター展示」

会期 平成31年4月1日～令和元年11月3日

会場 2階南側廊下

昨年度に引き続き、土星座で上映する短編映画のポスターとパンフレットの展示に加え、短編映画のダイジェスト映像を上映した。

(5) 美術館開館日、入館者数等

【美術館開館日】

開館日数 263 日 休館日数 103 日

今年度は下記のカレンダーのように開館しました。休館日は毎週火曜日、メンテナンス休館（5月21日～31日）、展示入れ替え休館（11月4日～11月15日）、年末年始（12月27日～1月2日）。4月30日、8月13日、10月22日、12月24日、2月11日は火曜日だが開館しました。9月29日と10月1日は、三鷹市民及び近隣市民デーでした。また、台風19号の影響により10月12日、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年2月26日より3月31日まで臨時休館しました。

令和元年度 開館日カレンダー ※網目の入った日は休館日

4月	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				

10月	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

5月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

11月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

6月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30						

12月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

7月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

1月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

8月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

2月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29

9月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					

3月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

【入館者数】

月ごとの入館者数と入館料金区分の内訳、時間ごとの平均入館者数は下記の表の通り。

月別入館者数と入館料金区分内訳

月	合計（人）	大人	中高生	小学生	幼児
4月	59,008	47,640	3,677	4,838	2,853
5月	40,893	34,935	1,298	2,663	1,997
6月	58,954	48,204	3,373	4,803	2,574
7月	58,167	42,708	4,948	7,704	2,807
8月	61,562	44,820	4,542	8,961	3,239
9月	56,415	50,651	1,418	2,400	1,946
10月	58,205	49,596	2,202	3,560	2,847
11月	36,694	32,055	970	2,064	1,605
12月	52,840	44,382	2,990	3,008	2,460
1月	56,263	45,680	3,096	4,790	2,697
2月	39,181	33,385	2,113	2,092	1,591
3月	0	0	0	0	0
合計	578,182	474,056	30,627	46,883	26,616
割合（％）		82.0％	5.3％	8.1％	4.6％

時間ごとの平均入館者数

月	開館日数	1日当りの ※ 平均入館者数（人）	10時からの 平均入館者数	12時からの 平均入館者数	14時からの 平均入館者数	16時からの 平均入館者数
4月	26	2,270	582	645	520	523
5月	18	2,272	594	629	538	511
6月	26	2,267	597	626	524	520
7月	26	2,237	580	605	524	528
8月	28	2,199	582	589	518	510
9月	26	2,170	546	594	521	509
10月	27	2,156	547	588	506	515
11月	16	2,293	572	633	542	546
12月	23	2,297	564	651	544	538
1月	25	2,251	558	629	532	532
2月	22	1,781	396	516	443	426
3月	0	0	0	0	0	0
合計	263日	2,198	557	608	519	514

※入場者数合計を開館日数で割り、小数点以下を四捨五入した数。

【チケットの販売について】

入館料金は以下の通り。(料金はすべて消費税込み)

大人・大学生…1,000 円
 中学高校生………700 円
 小学生………400 円
 幼児………100 円 (3 歳以下は無料)

当美術館では、以下の理由により、チケット販売において日時指定の予約制を導入している。

- ① 大人数が来る事による混雑の防止と安全性、快適性の確保
- ② 近隣住民への配慮
- ③ 交通渋滞の抑制
- ④ 地方顧客への配慮
- ⑤ 金銭の授受、システム故障等発生における改札の混乱防止

入場時間は、以下のように 1 日 4 回に分け、それぞれの時間を指定したチケットを販売した（入れ替え制ではない）。各回のチケットは 600 枚で、合計 2,400 枚を上限とした。2,400 枚という数字は、映像展示室の 1 日当たりの収容力を算出し、これを基にして決定している。

1 回目 10 時（10 時 30 分までに入場）
 2 回目 12 時（12 時 30 分までに入場）
 3 回目 14 時（14 時 30 分までに入場）
 4 回目 16 時（16 時 30 分までに入場）

日本国内でのチケットの販売は、引き続きコンビニエンスストア「ローソン」にて委託販売を行なった。平成 28 年 7 月分より、チケットの販売方法を一部改定し、チケットの記名式化、海外在住者向けの購入ウェブサイトの新設（ローチケサイト内）を実施した。また、前年度同様、7 月、8 月分チケットに関しては、先行抽選販売を実施した。引き続き、チケットの買占めや転売行為に対し、多大な抑止効果をあげることができている。発売方法の詳細は昨年度と同様につき省略する。なお、2020 年 1～3 月分チケットについては、新型コロナウイルス感染症の影響で来館できない方、および美術館閉館期間のチケットをお持ちの方へ払い戻しを行った。

ローソンでのチケット販売実績と入館料金区分の内訳は下記の表の通り。

ローソンでのチケット販売実績

月	合計（人）	大人	中高生	小学生	幼児
4 月	54,350	45,147	2,905	3,898	2,400
5 月	38,300	33,228	1,164	2,202	1,706
6 月	53,400	45,788	2,402	3,129	2,081
7 月	53,560	41,755	3,542	5,966	2,297
8 月	56,703	43,337	3,437	7,118	2,811
9 月	51,050	46,911	1,080	1,559	1,500
10 月	55,195	48,292	1,598	2,931	2,374
11 月	33,270	29,443	794	1,643	1,390
12 月	49,379	42,343	2,218	2,579	2,239
1 月	53,642	44,581	2,539	4,043	2,479
2 月	43,316	36,184	2,507	2,810	1,815
3 月	3,047	2,555	174	142	176
合計	545,212	459,564	24,360	38,020	23,268
	割合（%）	84.3%	4.5%	7.0%	4.2%

※上記数字はローソン販売分のみ。三鷹・近隣市民向け、海外向け分は含まない。

【三鷹・近隣市民向けチケット販売について】

より多くの周辺地域の方々に当美術館を楽しんでいただくため、昨年に引き続き、三鷹市民および近隣（武蔵野、小金井、西東京）市民へ向けてチケットを販売した。

① 販売チケット

午前受付券（受付時間 10:00～12:30）、午後受付券（受付時間 14:00～16:30）の各回入館分、各回 50 枚。料金はローソンで販売している入場引換券と同じ。

② 購入方法

対象者（在住・在勤・在学者）であることを証明できる書類（住民票・免許証・保険証・外国人登録証明書・社員証など）を持参のうえ、みたか観光案内所（三鷹駅南口）にて購入。
ひとり 6 枚まで。

③ 販売日

平成 28 年 7 月分チケットより、毎月のチケットの販売開始日を、希望日の 3 ヶ月前の 1 日からの発売に変更した。

なお、2020 年 1～3 月については、新型コロナウイルス感染症により来館できない方、および美術館閉館期間のチケットをお持ちの方へ払い戻しを行った。

三鷹・近隣市民向けチケット販売実績と入館料金区分内訳

販売月	合計（人）	大人	中高生	小学生	幼児
4 月	2,461	1,849	112	279	221
5 月	1,715	1,393	34	163	125
6 月	2,640	2,159	74	206	201
7 月	2,820	2,085	126	354	255
8 月	3,180	2,268	129	512	271
9 月	2,260	1,909	36	169	146
10 月	2,353	1,924	51	180	198
11 月	1,670	1,395	25	122	128
12 月	2,165	1,673	59	198	235
1 月	2,023	1,594	56	171	202
2 月	1,726	1,410	49	124	143
3 月	138	102	9	10	17
合計	25,151	19,761	760	2,488	2,142
割合（％）		78.6％	3.0％	9.9％	8.5％

【海外向けチケット販売について】

海外在住者向けの購入ウェブサイト（ローチケサイト内）のほかに、株式会社 JTB グローバルマーケティング&トラベルの協力を得て、引き続き海外向けのチケットを販売した。チケットは事前予約で日にち指定記名式。販売総数は 1 日約 200 枚まで。料金は現地通貨に換算した金額。

海外向けチケット販売実績

	合計 (人)	台湾	香港	韓国	アジア その他	アメリカ	カナダ	フランス	イギリス	イタリア	豪州	NZ	西	独	北欧	欧米 その他
4 月	5,419	1,074	617	353	118	236	359	21	17	290	962	164	224	287	99	598
5 月	3,545	725	327	303	98	104	679	4	3	149	722	85	120	135	12	79
6 月	5,199	1,225	428	329	278	383	474	2	6	143	1,022	91	148	239	41	390
7 月	5,197	1,229	589	286	351	209	500	21	24	125	714	67	288	209	90	495
8 月	5,546	1,368	854	449	339	126	595	21	18	474	251	78	432	225	16	300
9 月	4,817	1,214	453	297	171	155	481	2	16	140	1,167	64	198	333	23	103
10 月	5,419	1,255	492	219	341	215	620	0	11	134	1,103	85	175	364	57	348
11 月	3,323	793	372	86	183	142	296	5	15	35	1,051	103	80	100	1	61
12 月	4,727	1,100	466	110	231	135	332	5	5	49	1,759	156	84	120	4	171
1 月	4,892	1,061	470	258	280	81	225	4	0	92	2,139	149	43	38	0	52
2 月	3,157	738	210	197	113	55	259	4	0	26	1,287	108	39	85	6	30
3 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計 (人)	51,241	11,782	5,278	2,887	2,503	1,841	4,820	89	115	1,657	12,177	1,150	1,831	2,135	349	2,627
割合 (%)		23.0%	10.3%	5.6%	4.9%	3.6%	9.4%	0.2%	0.2%	3.2%	23.8%	2.2%	3.6%	4.2%	0.7%	5.1%

(アジアその他、欧米その他の主な内訳は、JTB グループが主催するツアーへの参加者)

(6) 三鷹市民招待日など

【三鷹市民デー並びに近隣市民デー】

9 月 29 日 (日) に三鷹市民デー、10 月 1 日 (火) に三鷹及び近隣市民デーを実施し、両日あわせて 3,400 名が来館した。

【三鷹市内小学校並びに幼稚園・保育園の美術館見学】

三鷹市内の小学校 3 年生と、幼稚園・保育園を対象に、美術館見学を実施した。小学校は 15 校で 1,575 名、幼稚園・保育園は 33 園で 969 名が訪れた。14 園はコロナウィルス感染症の影響で、自主的または美術館閉館のため来館キャンセルとなった。

【団体客の来館】

貸切バスでの来館者数は、1,054 台、32,530 名が来館し、総入館者数に占める割合は 5.6%に増加した。(前年実績 4.7%)

(7) 地域活動

地域との交流を深めるため、三鷹市の下記イベント・行事に参加した。可能なものについてはブースを設置して、財団販売物の販売並びにジブリ美術館、三鷹・近隣市民枠入場券の広報・告知活動を行なった。

令和元年	6 月	三鷹消防署主催「自衛消防隊訓練審査会」
令和元年	7 月	第 42 回「みたか商工まつり」
令和元年	8 月	第 52 回みたか阿波踊り
令和元年	9 月	三鷹八幡大神社例大祭
令和元年	10 月	三鷹の森フェスティバル 2019
令和元年	11 月	第 28 回三鷹市民駅伝

【三鷹の森ジブリ美術館お泊り会 ～星空の美術館へようこそ～】

夏休みの特別企画として、近隣の連雀学園小学校4年生50名を招待し、お泊り会を開催した。あいにくの曇天により屋上での観望会は中止となったが、国立天文台の協力の下、望遠鏡づくりや、土星座での特別上映、星座作りなどを実施し、子どもたちは思い思いの場所で一夜を過ごした。

日時： 令和元年7月23日（火）17：15～7月24日（水）8：15

場所： ジブリ美術館 全館

対象： 連雀学園の小学4年生 50名



2：アニメーション作品及びその資料の収集、保管及び展示並びにアニメーション文化に関する調査研究、普及啓発及び活動の奨励（2号事業関係）

（1）アニメーション美術館に収蔵する作品及び資料等の収集

本年度、新たにアニメーションに関する資料の収集として三件の寄贈を受けた。

- ① 関上和男氏 関上房子氏より 「どうぶつ宝島」背景・原画、「わんぱく王子の大蛇退治」セル付背景・原画、「太陽の王子ホルスの大冒険」原画他 計9点
- ② 関上和男氏 関上房子氏より 「風の谷のナウシカ」動画・動画修正他 計5点
- ③ 野崎透氏より 「柳川堀割物語」 絵画 1点

（2）保有するアニメーションに関する資料の整理・保管

当財団はアニメーションに関する資料を現在約42,000点保有し、それらは展示、調査研究に活用されている。これら資料は保管するための処置を施し、データベースに登録して管理を行なっている。

保有している資料のうち約36,000点は保管処置・データベース登録済だが、約6,000点が未登録となっており作業を進めている。本年度は、三鷹の森ジブリ美術館企画展示「手描き、ひらめき、おもいつき」展に関連したこれまでの企画展示のために描かれた資料の整理、男鹿和雄氏関連資料の整理、スタジオジブリ長編作品資料を引き続き行なった。

① 保管のための処置

全資料は保管のための下記の処置作業を行なっている（処置作業の詳細は昨年度と同様のため、割愛する）。

- ・付着したゴミや汚れを除去する。
- ・破れた部分を補修する。
- ・資料の劣化を防ぐために中性の紙で保護する。
- ・中性紙で作られた保管箱に入れる。
- ・温湿度管理された収蔵庫内に保管する。

② 収集資料のデータベース構築

整理や検索を容易にする為に、下記の項目を定め、収集資料のデータベース化を行なっている。

- ・画像
- ・整理番号（資料を数値化し扱いやすくする）
- ・作品名（どの作品に使用されたものか）
- ・種類（作品の制作の中で何に用いられたものか）
- ・材質（どのような画材を用いているか）
- ・カット番号（作品のどの場面に用いられたものか）
- ・資料及び資料を入れている額のサイズ（大きさ）
- ・資料及び資料を入れている額の状態（劣化状態を把握し、修復の必要性を検討するため）

（3）保有する資料の展示

当財団が企画及び展示制作協力を行なった下記展覧会に、当財団が保有する資料を貸し出し、展示した。

- ・「スタジオジブリ・レイアウト展」
貸出点数 697点

- ・「近藤喜文展」
貸出点数 271 点
- ・「高畑勲展」
貸出点数 299 点

(4) アニメーション文化に関する基礎的調査

作家、作品の基礎的調査は、講演会や関連書籍の購入を通じて、日常的に行なわれた。

(5) アニメーション美術館に収蔵する作品の収集のための調査

国内外におけるアニメーション作品から広く収蔵すべき作品を検討した。今年度も展覧会および関連イベントと合わせて、歴史的に重要なアニメーション作品に関して調査を行なった。

(6) アニメーション文化に関する調査研究

「日本のアニメーション・スタジオ史」をテーマとした調査研究活動を先行研究とし、国内外のアニメーション作品、および、そのルーツや後世に影響を与えた作品や人物、スタジオを主な調査研究対象として、文献調査や関係者への聞き取り調査等を引き続き行なっています。本年度はアニメーション文化講座「表現の追求“手描きのアニメーション美術”」に関連し、アニメーションの背景美術について、関係者へ聞き取りを中心に行なった。調査研究結果として、学芸員によるアニメーション文化調査研究報告を巻末に掲載する。(詳細は 37 ページ)

(7) アニメーション文化調査研究活動助成制度の実施

① 前年度に助成をした研究者による研究成果について

前年度に助成した調査研究成果が 3 月末日予定どおり提出された。

萱間隆 たつざわさとし『日本漫画映画株式会社の実態解明』

② 令和元年度の助成対象者の募集および決定について

以下の通りの要領で、アニメーション文化に関する研究者を募集した。

1) 趣旨

公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団は、アニメーション文化の理解及び発展のために、国内外におけるアニメーションに関する調査研究活動に対し、助成を行なう

2) 対象とする研究の領域

- ・アニメーションの理論・歴史に関する研究
- ・アニメーション制作方法およびその技術に関する研究
- ・その他、アニメーションに関し、上記の趣旨に寄与する研究

3) 調査研究計画及び助成額

調査研究計画は 2021 年 3 月 31 日までに調査研究が完了し、成果を取りまとめられるものとする。助成額は 1 調査研究あたり 50 万円以内とし、2020 年 3 月 31 日までに支払うものとする

4) 募集の対象者

次の条件の何れかを満たす者

- ・大学院修士または博士課程に在籍する者及び調査研究期間中に進学を予定する者
- ・大学、研究機関、教育機関等において調査研究活動に従事する者
- ・博物館（相当施設を含む）及び図書館で調査研究活動に従事する学芸員・図書館司書等の職員

- ・その他、当該調査研究活動に従事できると当財団が認める者

5) その他の条件

- ・調査研究計画は申請者が主体となつて行なう調査研究とする。申請者は個人またはグループに限る
- ・他の調査研究助成制度から既に助成を受けているか、受けることが決定している調査研究は対象外とする
- ・申請者の国籍、在籍地は問わないが、申請及び調査研究発表は日本語に限る
- ・調査研究成果は完全なオリジナルであること、及び調査研究内容に含まれる第三者の著作物に関しては適法に著作権等の処理がなされていることとする

6) 申請の方法

- ・当財団の指定する助成申請書に必要事項を記入し、調査研究計画書（書式自由）とともに提出する
- ・個人（又はグループ）が応募できる調査研究計画はひとり（又は1グループ）あたり一件に限る
- ・申請の際の申請書、調査研究活動計画書、添付された資料等は返却しない

7) 研究成果の提出

当助成が決定した場合、当財団と研究成果の提出に関する覚書を締結し、2020年3月31日までに研究成果を文書にして提出する。研究成果は当財団が行なう普及啓発活動や出版物（Web等を含む）に、財団が自由に使用できることを条件とする

8) 募集期間及びスケジュール

公募開始	2019年11月下旬
応募締め切り	2020年1月31日
選考委員会議および助成対象者の決定	2020年3月4日
助成金の交付	2020年3月31日
中間レポートの提出	2020年9月30日
研究成果の提出	2021年3月31日

9) 選考方法

事務局による書類審査により、応募要項に合致していることを認められた調査研究活動計画書について、当財団理事及び評議員、外部の学識経験者で構成する選考委員会により選考会議を開催し、審査選考と助成額の決定を行なう

（選考委員） 氷川 竜介 （明治大学大学院特任教授）
 叶 精二 （映像研究家）
 三好 寛 （特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構）
 イラン・グエン（東京藝術大学 特任准教授）
 西岡 純一 （公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団 評議員）

③ 令和元年度の助成対象選考審議について

本年度も、アニメーション文化に関する調査研究活動に対して助成を行うため、対象者の募集を行なった。1月末日の締め切りまでに8件の応募があり、3月4日（水）には選考委員会による選考委員会議を開催した。研究内容を「独創性」「論理性」「実証性」「重要性」の評価基準から評価を行なった結果、下記の研究に対し助成額50万円を支給した。

照井敬生氏 「イギリスにおけるアニメーション産業史の再検討：政策支援とエコシステムに着目して」

なお、研究成果の提出は令和3年3月末日予定である。

(8) アニメーション文化についての講演等

アニメーション文化の普及啓発活動の一環として、三鷹ネットワーク大学の主催する「アニメーション文化講座」に企画および運営協力として参加した。

本年度も、アニメーションに興味を持つ10代から80代の幅広い層の出席が得られた。

【第八回アニメーション文化講座】

開催日：令和2年1月14日(火)、21日(火)、28日(火)、2月4日(火)

開催場所：三鷹ネットワーク大学

内容：表現の追求“手書きのアニメーション美術”

講座趣旨：

アニメーション作品においては、キャラクターを取り巻く世界を作り出すために美術スタッフが大きな役割を担い、その仕事ぶりが作品のクオリティを決めると言っても過言ではないでしょう。

日本では1932年に、動画と背景が明確に分かれた全編セルロイドを使用した作品が制作され、美術はキャラクターが躍動する舞台装置の作り手として本格的に歩み出します。初期は演劇の書割のような単純なものでしたが、次々と作品が制作されるにつれ、表現と技法を掘り下げていったのです。

現在では、作画や仕上、撮影などのセクションと同じように、美術もデジタル化が進み、ほとんどが絵の具からコンピューター上での作画に変わりました。ただ、美術スタッフが設定や描き方を考え、膨大なボードと呼ばれるイメージ画を描き、試行錯誤の末作り上げるのは、セル・アニメーションの時代からなんら変わっていません。これらの作業は、日本のアニメーション美術が積み重ねてきた基礎の上に成り立っているからです。

今回の講座では、心に残る数多くの作品の美術監督を務めてきた小林七郎氏をはじめ、アニメーション関係者の取材を重ねて書籍や画集の数々を監修した野崎透氏、西洋と日本の近代・現代美術を研究してきた東京国立近代美術館主任研究員の鈴木勝雄氏をお迎えして、各専門の方々の視点から、日本のアニメーション美術を紐解いてみたいと思います。

各回講師及び内容：

第一回 日本アニメーション美術～はじまりから今まで～
講師：伊藤望(三鷹の森ジブリ美術館学芸員)

アニメーションの美術は、背景画だけでも一つの作品として完結していると思われるがちですが、実際には動画とのバランスの中で制作されています。日本のアニメーションの黎明期から、今ある多種多様な表現が生み出されるまで、背景画はどのように考えられ、描かれてきたのでしょうか？美術を担った方々のお話をご紹介します。美術が果たしてきた大きな役割とその劇的な変化をたどっていきます。

第二回 アニメーション美術の第一人者・小林七郎がいまのアニメに物申す！
講師：小林七郎(アニメーション美術監督、小林プロダクション元代表取締役)

多かれ少なかれアニメに親しんできた人で、小林七郎さんの背景美術を一度も目にしたことがないという人はおそらくひとりもないのではないのでしょうか。多数の作品の美術を手掛けてきた講師の足跡をたどることは、そのままアニメーション美術の歴史をたどることと同義と云えるでしょう。小林さんの原点、小林プロの理念、出崎統さんとの出会い、そして描き手たちが心のままに描き、新たな表現を発見する可能性、絵を描くという行為の素朴な楽しさについて語っていただきます。

第三回 登場人物の心情を表現する背景
講師：野崎透(脚本家、日本大学芸術学部映画学科講師)

「アルプスの少女ハイジ」や「赤毛のアン」の美術監督である故・井岡雅宏氏はそれまで単なる書割に過ぎなかったアニメーションの背景を喜びや悲しみといった登場人物の心情までも伝える“表現”へと昇華させました。そうした革新はどうして可能となったのか？ 高畑勲監督や宮崎駿監督らへの過去の取材、そして井岡氏が描いた美術や背景の絵画的な特徴を通して、アニメーション美術としての同氏が成し遂げた仕事について考えます。

第四回 高畑勲アニメーションの背景画と美術史
講師：鈴木勝雄（東京国立近代美術館主任研究員）

アニメーションにおける背景画を「美術」と呼ぶ歴史は、実写映画における「美術」に由来するものと考えられますが、今回の講座では、講師の専門領域である「美術史」からアニメーションの背景画に接近します。美術をこよなく愛し、つねに絵画を参照しながらアニメーションの表現スタイルを更新していった高畑勲監督の仕事を手掛かりにすることで、背景美術の「美術」たる要素に注目しつつ、その魅力と表現の可能性を絵画史の側から明らかにします。

(9) 図書閲覧室 トライホークス

図書閲覧室トライホークスは、スタジオジブリ作品、アニメーション関連の書籍の他、宮崎駿館主が推薦する創造のきっかけが詰まった絵本や児童書を揃え、来館者が自由に閲覧できる部屋である。ここでは「子どもたちに、ふしぎなものを見て、触れて、感じてほしい」という美術館の思いを「本」という形で伝えていく事を目的としている。

なお、子どもたちがお話の世界を楽しみ、本と出会うきっかけを得られるように平成 15 年 4 月より週末を中心に「お話の会」を行なっている。本年度も継続して実施した。

また、閲覧図書のほか、書籍やパンフレット、絵葉書、木口木版画等印刷物の販売を行なった。

【季刊トライホークス】

本年度は、季刊「トライホークス」(Vol. 56、57、58、59)を5月、8月、11月、2月の4回発行した。本冊子は図書閲覧室の本を紹介するとともに、様々な分野で活躍している方に本を紹介していただき、図書閲覧室の枠を越え、「本」と出会うきっかけ作りを目的として制作している。
(年4回発行、2色カラー、6ページ、無料配布)

本年度の執筆者は、さとうわきこ氏（絵本作家）、脇明子氏（翻訳家）、縣秀彦氏（天文学者）、いわさゆうこ氏（絵本作家）である。

【資料】図書閲覧室 閲覧図書一覧表

平成31年度より

書名	作家・編者	絵	訳者	出版社	
ナウシカ考	赤坂憲雄			岩波書店	
星空の見た方がわかる本	縣 秀彦			学研 プラス	
星の王子さまとめぐる 星ぼしの旅	縣 秀彦			河出書房新社	
女がひとり頬杖について	茨木のり子			童話屋	文庫
20本の木のノート	いわさきゆうこ			文化出版局	絵本
きみが好きだよ	大木 実			童話屋	文庫
時計坂の家	高樓方子	千葉史子		福音館書店	
十一月の扉	高樓方子	千葉史子		福音館書店	
天才の思考 高畑勲と宮崎駿	鈴木敏夫			文藝春秋	文庫
河童が覗いたヨーロッパ	妹尾河童			新潮社	文庫
アニメーション、折りにふれて	高畑 勲			岩波書店	文庫
ごんぎつね	新美南吉	黒井 健		偕成社	絵本
モンゴルの昔話	蓮見治雄 訳・再話、平田美恵子 再話			こぐま社	
4こうねんのぼく	ひぐちともこ			そうえん社	絵本
星の一生（科学のアルバム）	藤井 旭			あかね書房	絵本
日本の神話1 くにはのほじまり	舟崎克彦	赤羽末吉		あかね書房	絵本
恐竜博士のめまぐるしくも愉快的日常	真鍋 真	イラスト かわさきしゅんいち		ブックマン社	
日本の昔話	柳田国男			新潮社	文庫
新 江戸東京たてもの園物語	企画・編集 江戸東京たてもの園、スタジオジブリ			東京都江戸東京博物館	
詞華集 生きていてほしいんです	編集 田中和雄			童話屋	
ポケットのなかの天使	アーモンド, ディヴィッド		山田順子	東京創元社	
ゆかいなゆうびんやさんのクリスマス	アルバーク, ジャネット アルバーク, アラン		佐野洋子	文化出版局	絵本
若草物語 I & II	オルコット, ルイザ・メイ		谷口由美子	講談社	
だれが君を殺したのか	コルシュノウ		上田真而子	岩波書店	
ベルリン1919 上	コルドン, クラウス		酒寄進一	岩波書店	文庫
ベルリン1919 下	コルドン, クラウス		酒寄進一	岩波書店	文庫
チョコレート工場の秘密	ダール, ロアルド		柳瀬尚紀	評論社	
オ・ヤサシ巨人BFG	ダール, ロアルド		柳瀬尚紀	評論社	
ふしぎなしろねずみ	チョルムン, チャン	ミスク, ユン	神谷丹路	岩波書店	絵本
サル王子の冒険	デ・ラ・メア		飯沢 匡	岩波書店	文庫
あのひと	デッドク・ドゥ・ヴィット, マイケル		谷川俊太郎	徳間書店	絵本
この湖にボート禁止	トリーズ, ジェフリー		多賀京子	福音館書店	文庫
あたまをつかった小さなおばあさん	ニューウェル, ホープ	山脇百合子	松岡享子	福音館書店	
かもめのジョナサン	バック, リチャード		五木寛之	新潮社	文庫
小さな魔法使い	パビイ, ジャニーヌ		大島辰雄	岩波書店	文庫
まぼろしの小さい犬	ピアス, フィリパ		猪熊葉子	岩波書店	文庫
大雪	ヘンツ, ゼリーナ	カリジェ, アロイス	生野幸吉	岩波書店	絵本
ウルスリのすず	ヘンツ, ゼリーナ	カリジェ, アロイス	大塚勇三	岩波書店	絵本
あかてぬぐいのおくさんと7にんのなかま	ヨンギョン, イ		神谷丹路	福音館書店	絵本
きつねものがたり	ラダ, ヨセフ		内田莉沙子	福音館書店	
クリスマスってなあに？	ロビンソン, ジョーン・G		こみやゆう	岩波書店	文庫
ドリトル先生月へゆく	ロフティング, ヒュー		井伏鱒二	岩波書店	文庫

(10) アニメーション関連展覧会への企画協力及び展示制作協力

下記展覧会において、企画及び展示制作協力を行なった。

① 「ジブリの大博覧会」展

場所 福岡市博物館（福岡県）

会期 平成31年3月15日（金）～令和元年6月23日（日）

場所 沖縄県立博物館・美術館（沖縄県）

会期 令和元年7月13日（土）～9月8日（日）

場所 岩手県立美術館（岩手県）

会期 令和元年11月30日（土）～令和2年2月16日（日）

② 「スタジオジブリレイアウト」展

場所 中正記念堂（台湾・台北）

会期 平成31年1月19日（土）～4月18日（木）

③ 「近藤喜文」展

場所 三重県総合博物館（三重県）

会期 令和元年7月6日（土）～9月16日（日）

④ 「高畑勲 日本のアニメーションに遺したもの」展

場所 東京国立近代美術館（東京都）

会期 令和元年7月2日（火）～10月6日（日）

(11) アニメーション作品の普及啓発活動

世界の優れたアニメーション作品を広く普及していくという趣旨のもと、美術館内の展示だけではなく、映画館での上映やビデオグラムで作品を紹介するため、「三鷹の森ジブリ美術館ライブラリー」の活動を引き続き行なった。本年度に新しく手がけた作品及び企画はなかった。

【資料】基本財産一覧

◆基本財産概要(絵画など)

作品名	合計	イメージボード	セル画	背景付セル画	美術ボード	背景	映画宣伝用素材	絵画	その他
雪の女王	2	2	0	0	0	0	0	0	0
外套	1	1	0	0	0	0	0	0	0
風の谷のナウシカ	3	0	1	0	0	2	0	0	0
天空の城ラピュタ	12	0	1	8	0	3	0	0	0
となりのトトロ	11	0	0	11	0	0	0	0	0
火垂るの墓	11	11	0	0	0	0	0	0	0
魔女の宅急便	19	14	0	4	0	1	0	0	0
おもひでぽろぽろ	19	0	0	6	3	10	0	0	0
紅の豚	18	0	0	18	0	0	0	0	0
そらいろのたね	1	0	1	0	0	0	0	0	0
海がきこえる	10	0	0	10	0	0	0	0	0
平成狸合戦ぽんぽこ	20	0	0	17	0	3	0	0	0
耳をすませば	29	0	0	16	0	0	0	13	0
On Your Mark	8	0	0	8	0	0	0	0	0
もののけ姫	24	0	0	9	0	10	1	0	4
ホーホケキョとなりの山田くん	10	0	0	0	0	0	0	0	10
合計	198	28	3	107	3	29	1	13	14

※原画、動画、背景付セル画、背景は、映画の1カットを最小単位とし、同一カットで複数点数存在しても1点として扱っている。

◆基本財産(絵画など／フィルム)

【絵画など】

番号	種別	作品名・資料名		制作者 (もしくは監督)	サイズ H(mm)	サイズ W(mm)	技法	材質	備考
1	イメージボード	「雪の女王」イメージボード		アレクサント・ル・ウイノクローフ イスラエル・シュヴァルツマン	174	220	ポスターカラー	画用紙	
2	イメージボード	「雪の女王」イメージボード		アレクサント・ル・ウイノクローフ イスラエル・シュヴァルツマン	188	210	ポスターカラー	画用紙	
3	イメージボード	「外套」イメージボード		ユーリ・ノルシュテイン	965	2570	ガッシュ及び木炭	紙	2枚組
4	絵画	耳をすませば	小さな家の惑星	井上直久	290	284	アクリル絵の具	セル	
5	絵画	耳をすませば	十字路の小惑星	井上直久	365	373	アクリル絵の具	セル	
6	絵画	耳をすませば	新月と丘(2点重ね)	井上直久	256	379	アクリル絵の具	画用紙及びセル	
7	絵画	耳をすませば	工房	井上直久	232	380	アクリル絵の具	画用紙及びセル	
8	絵画	耳をすませば	あかりのもれる店	井上直久	233	382	アクリル絵の具	画用紙	
9	絵画	耳をすませば	星6種(6点組合せ)	井上直久	175	163	アクリル絵の具	セル	
10	絵画	耳をすませば	塔の街(2点重ね)	井上直久	233	554	アクリル絵の具	画用紙及びセル	
11	絵画	耳をすませば	図書館のある街	井上直久	594	331	アクリル絵の具	画用紙及びセル	背景画は 男鹿和雄筆
12	絵画	耳をすませば	イバード遠望Ⅱ	井上直久	232	771	アクリル絵の具	画用紙	
13	絵画	耳をすませば	3段重ねの丘(3点重ね)	井上直久	460	656	アクリル絵の具	セル	
14	絵画	耳をすませば	巨大な建築のような雲	井上直久	510	655	アクリル絵の具	セル	
15	絵画	耳をすませば	雲の群	井上直久	481	533	アクリル絵の具	セル	
16	絵画	耳をすませば	壁	井上直久	230	385	アクリル絵の具	画用紙	
17	背景画	風の谷のナウシカ	怒りをしずめた王蟲	スタジオジブリ	282	383	ポスターカラー	画用紙	
18	背景画	風の谷のナウシカ	腐海の内部	スタジオジブリ	270	384	ポスターカラー	画用紙	
19	セル画	風の谷のナウシカ	月刊「アニメージュ」1984年4月号表紙	スタジオジブリ	375	275	セル絵の具	セル	
20	背景付セル画	天空の城ラピュタ	オープニング・タイトルバック	スタジオジブリ	290	550	ポスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
21	背景付セル画	天空の城ラピュタ	オープニング・タイトルバック	スタジオジブリ	270	461	ポスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
22	背景付セル画	天空の城ラピュタ	オープニング・タイトルバック	スタジオジブリ	320	490	ポスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
23	背景付セル画	天空の城ラピュタ	オープニング・タイトルバック	スタジオジブリ	390	580	ポスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
24	背景画	天空の城ラピュタ	ラピュタの中心部に位置する巨木	スタジオジブリ	903	385	ポスターカラー	画用紙	
25	背景画	天空の城ラピュタ	ラピュタの宮殿と空中庭園	スタジオジブリ	730	455	ポスターカラー	画用紙	

番号	種別	作品名・資料名		制作者 (もしくは監督)	サイズ H(mm)	サイズ W(mm)	技法	材質	備考
26	背景画	天空の城ラピュタ	シータの住んでいたゴンドアの谷	スタジオジブリ	585	389	ホスターカラー	画用紙	
27	背景付セル画	天空の城ラピュタ	シータを助けるために、ランチャーをムスカに向けるバズー	スタジオジブリ	271	378	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
28	背景付セル画	天空の城ラピュタ	ラピュタを守るため、ある決意をするシータとバズー	スタジオジブリ	261	377	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
29	背景付セル画	天空の城ラピュタ	空中海賊ドローラー味の乗るタイガーモス号	スタジオジブリ	445	904	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
30	背景付セル画	天空の城ラピュタ	ラピュタを手に入れんとするムスカの乗ったゴリアテ	スタジオジブリ	276	860	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
31	セル画	天空の城ラピュタ	空に昇っていくラピュタ	スタジオジブリ	815	387	ホスターカラー及びセル絵の具	セル	背景用ブック
32	背景付セル画	となりのトトロ	見えているとも知らずにメイの前を通りすぎようとするチビトトロ	スタジオジブリ	267	393	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
33	背景付セル画	となりのトトロ	トトロの腹の上ではしゃぐメイ	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
34	背景付セル画	となりのトトロ	バス停前で一緒にバスを待つトトロとサツキ	スタジオジブリ	255	360	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
35	背景付セル画	となりのトトロ	傘を貸してくれたお礼に何やら包みを渡すトトロ	スタジオジブリ	255	360	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
36	背景付セル画	となりのトトロ	ネコバスに家まで送ってもらうサツキとメイ	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
37	背景付セル画	となりのトトロ	松の木の上からお母さんの元氣そうな様子を見て安心するサツキとメイ	スタジオジブリ	481	753	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
38	背景付セル画	となりのトトロ	お地蔵さんの屋根の下で雨宿り	スタジオジブリ	417	358	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
39	背景付セル画	となりのトトロ	ネコバスに乗って去っていくトトロをサツキとメイは呆然と見送る	スタジオジブリ	423	390	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
40	背景付セル画	となりのトトロ	サツキは近況を知らせる手紙をお母さんに書く	スタジオジブリ	274	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
41	背景付セル画	となりのトトロ	慌てて逃げる中トトロ・チビトトロ、追いかけるメイ	スタジオジブリ	302	375	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
42	背景付セル画	となりのトトロ	「あれっ、何だろう」と目の前を通りすぎていく不思議なものを目で追うメイ	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
43	イメージボード	火垂るの墓	蛍の灯す淡い光に囲まれて、草むらに立つ節子の亡霊	スタジオジブリ	138	193	水彩	画用紙	
44	イメージボード	火垂るの墓	おばさんの家でお風呂に入る清太と節子	スタジオジブリ	135	192	水彩	画用紙	
45	イメージボード	火垂るの墓	横穴塚の外で	スタジオジブリ	135	202	水彩	画用紙	
46	イメージボード	火垂るの墓	蛍を追いかける清太と節子	スタジオジブリ	135	189	水彩	画用紙	
47	イメージボード	火垂るの墓	束の間の日常	スタジオジブリ	136	193	水彩	画用紙	
48	イメージボード	火垂るの墓	清太を待つ節子の前を親子連れが通り過ぎる	スタジオジブリ	134	190	水彩	画用紙	
49	イメージボード	火垂るの墓	夏の思い出	スタジオジブリ	136	192	水彩	画用紙	
50	イメージボード	火垂るの墓	リヤカーに荷物を積んで横穴塚へ引っ越す	スタジオジブリ	137	194	水彩	画用紙	
51	イメージボード	火垂るの墓	捕まえてきた蛍を蚊帳の中で放つ	スタジオジブリ	135	190	水彩	画用紙	
52	イメージボード	火垂るの墓	節子の身体にわいた風をとる清太	スタジオジブリ	136	193	水彩	画用紙	
53	イメージボード	火垂るの墓	栄養失調で日に日に弱っていく節子	スタジオジブリ	135	193	水彩	画用紙	
54	イメージボード	魔女の宅急便	満月の夜、屋根の上に立つキキ	スタジオジブリ	181	127	水彩	画用紙	
55	イメージボード	魔女の宅急便	ドアから顔を出し外の様子をうかがうキキとジジ	スタジオジブリ	255	181	水彩	画用紙	
56	イメージボード	魔女の宅急便	コリコの街ー公園の銅像の下に座るキキ	スタジオジブリ	361	255	水彩	画用紙	
57	イメージボード	魔女の宅急便	坂の下から見たグーチョキパン店	スタジオジブリ	255	362	水彩	画用紙	
58	イメージボード	魔女の宅急便	オキノ邸	スタジオジブリ	127	180	水彩	画用紙	
59	イメージボード	魔女の宅急便	グーチョキパン店の前を通るキキ	スタジオジブリ	255	361	水彩	画用紙	
60	背景付セル画	魔女の宅急便	旅立ちの夜、星空に昇っていくキキ	スタジオジブリ	255	366	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
61	イメージボード	魔女の宅急便	制作の初期段階に描かれたイメージボード	スタジオジブリ	255	214	水彩	画用紙	
62	イメージボード	魔女の宅急便	おソノさんに頼まれて、おしゃぶりを忘れた客に届けるキキ	スタジオジブリ	181	127	水彩	画用紙	
63	イメージボード	魔女の宅急便	コリコの街、メインストリートを飛行するキキ	スタジオジブリ	180	255	水彩	画用紙	
64	イメージボード	魔女の宅急便	トンボを尻目に飛行するキキ	スタジオジブリ	255	361	水彩	画用紙	
65	背景画	魔女の宅急便	パン屋の前から見おろした夕暮れの町	スタジオジブリ	292	467	ホスターカラー	画用紙	

番号	種別	作品名・資料名		制作者 (もしくは 監督)	サイズ H(mm)	サイズ W(mm)	技法	材質	備考
66	背景付きセル画	魔女の宅急便	低空飛行のまま歩道に突っ込むキキ	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
67	背景付きセル画	魔女の宅急便	パン屋の台所、お茶をいれるおソノさん	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
68	背景付きセル画	魔女の宅急便	ウルスラの小屋、ネコのぬいぐるみを返してもらいにきたキキ	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
69	イメージボード	魔女の宅急便	出発の準備をするキキ	スタジオジブリ	128	182	水彩	画用紙	
70	イメージボード	魔女の宅急便	旅立ちの前のキキとお父さんとの触れ合い	スタジオジブリ	128	181	水彩	画用紙	
71	イメージボード	魔女の宅急便	旅立ちの前のキキ、オープニングのイメージボード	スタジオジブリ	127	181	水彩	画用紙	
72	イメージボード	魔女の宅急便	旅立つキキに自分のホウキを手渡すお母さん	スタジオジブリ	128	180	水彩	画用紙	
73	背景画	おもひでぽろぽろ	校舎／校庭から見た昇降口あたり(おもひで編)	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー	画用紙	
74	背景画	おもひでぽろぽろ	夕暮れの路地裏風景(おもひで編)	スタジオジブリ	484	380	ホスターカラー	画用紙	
75	背景画	おもひでぽろぽろ	冬の路地裏風景(おもひで編)	スタジオジブリ	427	394	ホスターカラー	画用紙	
76	背景画	おもひでぽろぽろ	タエ子の子供時代の商店街の風景(おもひで編)	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー	画用紙	
77	背景画	おもひでぽろぽろ	近所の文房具店(おもひで編)	スタジオジブリ	257	363	ホスターカラー	画用紙	
78	背景画	おもひでぽろぽろ	教室／学級会の風景(おもひで編)	スタジオジブリ	271	382	ホスターカラー	画用紙	
79	美術ボード	おもひでぽろぽろ	岡島家・居間(おもひで編)	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー	画用紙	
80	背景画	おもひでぽろぽろ	タエ子が滞在した本家・裏庭	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー	画用紙	
81	美術ボード	おもひでぽろぽろ	朝霧のけむる紅花畑の夜明け	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー	画用紙	
82	美術ボード	おもひでぽろぽろ	紅花畑へ向かう途中の山形県、高瀬の風景	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー	画用紙	
83	背景画	おもひでぽろぽろ	里の風景／山形県、相の原分校	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー	画用紙	
84	背景付セル画	おもひでぽろぽろ	エンディングー再会したタエ子とトシオを見送る 10 歳のタエ子と子供たち	スタジオジブリ	256	674	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
85	背景付セル画	おもひでぽろぽろ	初恋の人" 広田君"と夕日を浴びて立ち尽くすタエ子	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
86	背景付セル画	おもひでぽろぽろ	岡島家の夕食風景	スタジオジブリ	275	436	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
87	背景付セル画	おもひでぽろぽろ	10 歳のタエ子に導かれあとにして来たばかりの山形県高瀬に戻る 27 歳のタエ子	スタジオジブリ	250	765	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
88	背景付セル画	おもひでぽろぽろ	紅花畑で朝日に向かって手をあわせるタエ子	スタジオジブリ	271	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
89	背景付セル画	おもひでぽろぽろ	乾し草を積んだ荷馬車に揺られるタエ子とトシオ	スタジオジブリ	271	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
90	背景画	おもひでぽろぽろ	本家／玄関	スタジオジブリ	310	715	ホスターカラー	画用紙	
91	背景画	おもひでぽろぽろ	山形の風景	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー	画用紙	
92	背景付セル画	紅の豚	ホテル・アドリアーノに飾られたボルコたちの少年時代の写真	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
93	背景付セル画	紅の豚	ボルコの隠れ家－白い石灰岩の洞窟	スタジオジブリ	651	431	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
94	背景付セル画	紅の豚	カーチスに墜落させられた愛機とボルコ	スタジオジブリ	303	678	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
95	背景付セル画	紅の豚	ボルコの頬に、不意打ちでキスをするフィオ	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
96	背景付セル画	紅の豚	カーチスとの決闘の勝利に喜ぶボルコとフィオ	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
97	背景付セル画	紅の豚	フィオとツーショットをきめるマンマユート団のボス	スタジオジブリ	400	623	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
98	背景付セル画	紅の豚	決闘の準備をするボルコとカーチス	スタジオジブリ	285	691	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
99	背景付セル画	紅の豚	一生懸命働くピッコロ社の女たち	スタジオジブリ	254	750	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
100	背景付セル画	紅の豚	飛行艇の上ではしゃぐおちびさんたちに太刀打ちできないボルコ	スタジオジブリ	270	384	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
101	背景付セル画	紅の豚	壊れた愛機を直しにミラノへ向かう船上のボルコ	スタジオジブリ	276	415	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
102	背景付セル画	紅の豚	『さくらんぼの実る頃』を歌うジーナ	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
103	背景付セル画	紅の豚	ボルコの回想－雲の平原を流れていく墜落した飛行機群	スタジオジブリ	411	640	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
104	背景付セル画	紅の豚	黄昏の空を飛ぶサバイアス-21	スタジオジブリ	308	415	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
105	背景付セル画	紅の豚	愛機の体勢を立て直そうとするボルコ	スタジオジブリ	250	387	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	

番号	種別	作品名・資料名		制作者 (もしくは 監督)	サイズ H (mm)	サイズ W (mm)	技法	材質	備考
106	背景付セル画	紅の豚	次々に増える愛機の修理代の請求書にうんざり顔のポルコ	スタジオジブリ	270	382	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
107	背景付セル画	紅の豚	旋回するポルコの飛行艇を見て、幼い頃の日々を思い出すジューナ	スタジオジブリ	325	498	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
108	背景付セル画	紅の豚	水面ギリギリを旋回してカーチスの攻撃をかわすポルコ	スタジオジブリ	270	382	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
109	背景付セル画	紅の豚	機関砲でポルコに勝負を挑むマンマムート団のボス	スタジオジブリ	430	360	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
110	背景付セル画	海がきこえる	吉祥寺駅で電車を待つ里伽子	スタジオジブリ	270	382	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
111	背景付セル画	海がきこえる	夏休み、親友の松野の待つ学校へ向かう拓	スタジオジブリ	240	331	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
112	背景付セル画	海がきこえる	父のいる東京へ向かう飛行機の中で微笑む里伽子	スタジオジブリ	270	410	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
113	背景付セル画	海がきこえる	東京・成城の町並み。父の住むマンションへ向かう里伽子と付きそう拓	スタジオジブリ	260	354	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
114	背景付セル画	海がきこえる	再会した父に裏切られたと泣きながら拓の泊まるホテルへきた里伽子	スタジオジブリ	270	382	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
115	背景付セル画	海がきこえる	拓の胸に顔をうずめて泣きじゃくる里伽子	スタジオジブリ	250	340	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
116	背景付セル画	海がきこえる	里伽子のふるまいがもとでケンカになる二人、里伽子はおもわず拓の頬を平手打ちする	スタジオジブリ	270	383	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
117	背景付セル画	海がきこえる	里伽子をめぐるって気まずい思いをした松野と拓。しかし、卒業後また再会して…	スタジオジブリ	270	383	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
118	背景付セル画	海がきこえる	同窓会風景	スタジオジブリ	270	383	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
119	背景付セル画	海がきこえる	吉祥寺駅ホームで拓を見つめる里伽子	スタジオジブリ	270	383	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
120	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ	すすき原で毬つきをする正吉とおキヨ	スタジオジブリ	270	383	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
121	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ	多摩丘陵の雑木林	スタジオジブリ	255	746	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
122	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ	多摩丘陵の農家のたたずまいー柿を見上げる狸	スタジオジブリ	250	720	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
123	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ	万福寺で化け学の講義を受ける狸たち	スタジオジブリ	265	880	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
124	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ	族長会議で、化け学の復興と人間研究に取り組むことを決議	スタジオジブリ	270	383	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
125	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ	空き家となった農家の前で	スタジオジブリ	270	383	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
126	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ	春ー狸たちに恋の季節がめぐってきた	スタジオジブリ	270	383	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
127	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ	雛の節句の様子を蔭陰から見ている幼い頃の正吉たち	スタジオジブリ	270	383	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
128	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ	万福寺の庭での鶴亀和尚	スタジオジブリ	270	383	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
129	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ	春は深まり、子狸たちが誕生した	スタジオジブリ	270	383	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
130	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ	春に誕生したばかりの子狸たち	スタジオジブリ	270	383	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
131	背景画	平成狸合戦ぽんぽこ	多摩丘陵ー万福寺周辺の風景、梅はまだ七分咲き	スタジオジブリ	243	664	ボースターカラー	画用紙	
132	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ	狸たちの術によって蘇ったむかしの多摩丘陵の風景。お地蔵さんにお祈りをする親子の姿	スタジオジブリ	270	382	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
133	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ	変わりのはてた自分たちの住処、多摩丘陵を見て愕然とする狸たち	スタジオジブリ	241	707	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
134	背景画	平成狸合戦ぽんぽこ	開発が進んでいく途中の造成地風景	スタジオジブリ	250	704	ボースターカラー	画用紙	
135	背景画	平成狸合戦ぽんぽこ	アケビ、秋の多摩丘陵	スタジオジブリ	270	382	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	ハーモニ ー処理
136	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ	空き家となった家をねぐらにする狸たち	スタジオジブリ	270	383	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
137	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ	農家は取り壊しとなり住処を追われる狸たち	スタジオジブリ	270	383	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
138	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ	秋の夕暮れ。少なくなった餌を奪い合う狸たち	スタジオジブリ	270	383	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
139	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ	沢の水辺で餌を探す狸たち	スタジオジブリ	270	384	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
140	背景付セル画	On Your Mark	連れ去られた天使を、呆然と見送る二人の警官	スタジオジブリ	270	381	ボースターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	

番号	種別	作品名・資料名		制作者 (もしくは 監督)	サイズ H(mm)	サイズ W(mm)	技法	材質	備考
141	背景付セル画	On Your Mark	夜の地下都市をヘリバトが降下していく	スタジオジブリ	285	500	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
142	背景付セル画	On Your Mark	放置された住宅の家並みの中に建つ、奇妙で巨大な建造物	スタジオジブリ	265	690	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
143	背景付セル画	On Your Mark	陽炎が立ちこめる中、荒地を進む黄色い大型トレーラー	スタジオジブリ	259	380	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
144	背景付セル画	On Your Mark	再度、天使の救出に挑む二人	スタジオジブリ	308	429	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
145	背景付セル画	On Your Mark	天使を助け出そうとして攻撃を受ける二人の警官。それでも何とか天使を空へ逃そうとする。	スタジオジブリ	346	387	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
146	背景付セル画	On Your Mark	田園を疾走する“アルファロメオ・ジュリエッタ”。風に向かい翼を広げる天使	スタジオジブリ	250	363	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
147	背景付セル画	On Your Mark	天使が飛び去る(6枚を1枚組として)	スタジオジブリ	740	860	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
148	セル画	そらいろのたね	さらに大きくなった家に、ゆうじと友だちの子どもたちや動物がどんどん入っていく	スタジオジブリ	299	371	セル絵の具	セル	
149	背景付セル画	耳をすませば	地球屋にあった人形“パロン”	スタジオジブリ	427	318	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
150	背景付セル画	耳をすませば	奇妙な猫“ムーン”との出会い	スタジオジブリ	264	354	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
151	背景付セル画	耳をすませば	図書カードに“天沢聖司”の名前をみつける雫	スタジオジブリ	271	382	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
152	背景付セル画	耳をすませば	杉本から「好きだ」と告白され、動揺する雫	スタジオジブリ	270	382	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
153	背景付セル画	耳をすませば	落ち込んで地球屋の前に座り込む雫	スタジオジブリ	255	362	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
154	背景付セル画	耳をすませば	夏の朝、ベランダから空を見上げる雫	スタジオジブリ	271	381	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
155	背景付セル画	耳をすませば	聖司の伴奏で恥ずかしそうに『カントリーロード』を歌う雫	スタジオジブリ	254	360	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
156	背景付セル画	耳をすませば	聖司がイタリアへ発つ前夜、図書館の前で	スタジオジブリ	557	355	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
157	背景付セル画	耳をすませば	多摩川の上空より見た夜景	スタジオジブリ	576	395	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
158	背景付セル画	耳をすませば	「試験のヤマがあたった」と自慢する杉村に皮肉で答える雫と、杉村を意識してあとずさるタ子	スタジオジブリ	254	360	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
159	背景付セル画	耳をすませば	杉村を見て顔を赤くするタ子、それを横目で見て微笑む雫	スタジオジブリ	342	486	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
160	背景付セル画	耳をすませば	「イタリアへ行けるようになった」と屋上で雫に話す聖司	スタジオジブリ	255	360	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
161	背景付セル画	耳をすませば	物語を書き終え、いろいろな思いが込み上げてきた雫は、泣き出してしまう	スタジオジブリ	253	360	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
162	背景付セル画	耳をすませば	自分の書いた物語を西老人に読んでもらっている間の雫。どう評価されるか不安な表情	スタジオジブリ	265	630	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
163	背景付セル画	耳をすませば	自転車で朝日を見に行く途中、聖司の背にそっと顔を埋める雫	スタジオジブリ	314	481	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
164	背景付セル画	耳をすませば	出来上がった物語を持って地球屋を訪ねる雫	スタジオジブリ	474	345	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
165	背景付セル画	もののけ姫	森の精霊コダマたち	スタジオジブリ	270	383	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
166	背景画	もののけ姫	太古の森	スタジオジブリ	995	753	ホ`スターカラー	画用紙	
167	背景画	もののけ姫	アシタカが住むエミシー族の里の見張り台	スタジオジブリ	605	364	ホ`スターカラー	画用紙	
168	背景画	もののけ姫	シン神の池の水面に浮かぶ小島	スタジオジブリ	637	383	ホ`スターカラー	画用紙	
169	背景画	もののけ姫	タタラ場を上から見おろす	スタジオジブリ	470	747	ホ`スターカラー	画用紙	
170	背景画	もののけ姫	タタラ場全景	スタジオジブリ	270	562	ホ`スターカラー	画用紙	
171	背景画	もののけ姫	シン神が消えた後、蘇った森の風景	スタジオジブリ	264	1051	ホ`スターカラー	画用紙	
172	背景画	もののけ姫	シン神が消えた後、崩壊したタタラ場跡	スタジオジブリ	436	707	ホ`スターカラー	画用紙	
173	背景画	もののけ姫	西を目指し、旅を続けるアシタカが通ったとある町はずれの風景	スタジオジブリ	270	382	ホ`スターカラー	画用紙	
174	背景画	もののけ姫	町はずれの風景	スタジオジブリ	298	507	ホ`スターカラー	画用紙	
175	背景付セル画	もののけ姫	山犬の背に乗り、人間との戦いとの赴くサン	スタジオジブリ	270	382	ホ`スターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	

番号	種別	作品名・資料名		制作者 (もしくは 監督)	サイズ H(mm)	サイズ W(mm)	技法	材質	備考
176	背景付セル画	もののけ姫	コダマたち	スタジオジブリ	271	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
177	背景付セル画	もののけ姫	ジシ神の森のコダマたち	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
178	背景付セル画	もののけ姫	山刀をつきつけられながらも、アシタカは言う「そなたは美しい」と	スタジオジブリ	273	480	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
179	背景付セル画	もののけ姫	アシタカにとどめを刺そうと山刀を喉元につきつけるサン	スタジオジブリ	276	385	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
180	背景付セル画	もののけ姫	ジシ神の池	スタジオジブリ	272	1009	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
181	背景付セル画	もののけ姫	サン	スタジオジブリ	271	392	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
182	背景付セル画	もののけ姫	タタラ場の太屋根の上に立つサン	スタジオジブリ	271	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
183	背景画	もののけ姫	ジシ神の消滅後、森に再び緑が芽ぶき出した	スタジオジブリ	815	390	ホスターカラー	画用紙	
184	映画宣伝素材	もののけ姫	映画用第1弾ポスターの絵柄。矢をつがえる主人公アシタカ	スタジオジブリ	592	419	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
185	美術ボード	もののけ姫	太古の森	スタジオジブリ	257	364	ホスターカラー	画用紙	
186	美術ボード	もののけ姫	森には真っ昼間でも太陽光線の届かない暗闇がある	スタジオジブリ	257	364	ホスターカラー	画用紙	
187	美術ボード	もののけ姫	樹齢何千年、何万年の木々	スタジオジブリ	257	364	ホスターカラー	画用紙	
188	美術ボード	もののけ姫	太古の森	スタジオジブリ	257	364	ホスターカラー	画用紙	
189	着彩ボード	ホーホケキョとなりの山田くん	運動会	スタジオジブリ	251	315	その他	その他	
190	着彩ボード	ホーホケキョとなりの山田くん	TVに熱中している家族に初雪を知らせ、家族写真を撮ろうとする父・たかし	スタジオジブリ	251	315	その他	その他	
191	着彩ボード	ホーホケキョとなりの山田くん	たかしが、新聞を読みたがっているのを知っていても、「私が読んでから」を平然のまつ子	スタジオジブリ	251	315	その他	その他	
192	着彩ボード	ホーホケキョとなりの山田くん	年賀状の仕分け競争をする山田一家	スタジオジブリ	251	315	その他	その他	
193	着彩ボード	ホーホケキョとなりの山田くん	「この桜も、あと何回見られるやろか…」としみじみするしげ	スタジオジブリ	251	315	その他	その他	
194	着彩ボード	ホーホケキョとなりの山田くん	のぼるに振られ、一人でキャッチボールをする父・たかし	スタジオジブリ	251	315	その他	その他	
195	着彩ボード	ホーホケキョとなりの山田くん	注文をまつ子に決めさせ、それに便乗するたかし	スタジオジブリ	251	315	その他	その他	
196	着彩ボード	ホーホケキョとなりの山田くん	仕事の封筒を家に置き忘れたの思い込むたかしだったが...	スタジオジブリ	251	315	その他	その他	
197	着彩ボード	ホーホケキョとなりの山田くん	山田家のボチ	スタジオジブリ	251	315	その他	その他	
198	着彩ボード	ホーホケキョとなりの山田くん	七五三	スタジオジブリ	251	315	その他	その他	

【フィルム】

番号	種別	作品名・資料名		制作者 (もしくは監督)	時間 (分)	カラー	画面サイズ	音質	備考
199	フィルム	アリとキリギリス	The Grasshopper and the Ant	ウワデイスワフ・スレーヴィチ	5	モノクロ	スタンダード	サイレント	
200	フィルム	ベルギーの百合	The Lily of Belgium	ウワデイスワフ・スレーヴィチ	11	モノクロ	スタンダード	サイレント	
201	フィルム	惑星間革命	The Interplanetary Revolution	セゾン・コミッサレンコ、ユーリー・メルクーロフ、ニコライ・ホダターエフ	8	モノクロ	スタンダード	サイレント	
202	フィルム	ソビエトのおもちゃ	Soviet Toys	シガ・ヴェルトフ	13	モノクロ	スタンダード	サイレント	
203	フィルム	スケート	Skate	ユーリー・ジャリヤフ・シスキー	7	モノクロ	スタンダード	サイレント	
204	フィルム	中国っ子の冒険	The Adventures of Chinese Kids	M.V.ヘンデルスカヤ、S.A.ヘンデルスキー	19	モノクロ	スタンダード	サイレント	
205	フィルム	郵便	The Post	ミハイル・ツィハノフスキー	16	モノクロ	スタンダード	サイレント	
206	フィルム	生活の支配者	The Ruler of Lifestyle	アレクサンドル・ブトゥシコ	17	モノクロ	スタンダード	モノラル	
207	フィルム	泥棒	The Thief	アレクサンドル・イワノフ、バンダレイモン・サザーノフ	10	モノクロ	スタンダード	モノラル	
208	フィルム	自動オルガン	The Musical Box	ニコライ・ホダターエフ	20	モノクロ	スタンダード	モノラル	
209	フィルム	皇帝ドゥランダイの話	Czar Durandai	イワン・イワノフ・ワノ、ワレンチナ・ブルムベルグ、ジナイダ・ブルムベルグ	22	モノクロ	スタンダード	モノラル	
210	フィルム	新ガリヴァー	The New Gulliver	アレクサンドル・ブトゥシコ	78	モノクロ	スタンダード	モノラル	
211	フィルム	にぎやかな航海	The Noisy Voyage	ウラジミール・ステエフ	14	モノクロ	スタンダード	モノラル	
212	フィルム	イワシコとバーバ・ヤーガ	Ivashko and Baba-Yaga	ワレンチナ・ブルムベルグ、ジナイダ・ブルムベルグ	11	モノクロ	スタンダード	モノラル	
213	フィルム	おろかな子ネズミの話	The Tale of the Silly Little Mouse	ミハイル・ツィハノフスキー	11	カラー	スタンダード	モノラル	
214	フィルム	船乗りシンドバット	Sindbad the Sailor	ワレンチナ・ブルムベルグ、ジナイダ・ブルムベルグ	21	モノクロ	スタンダード	モノラル	
215	フィルム	雪の女王	The Snow Queen	レフ・アタマーノフ	65	カラー	スタンダード	モノラル	

番号	種別	作品名・資料名		制作者 (もしくは監督)	時間 (分)	カラー	画面サイズ	音質	備考
216	フィルム	話の話	Tale of Tales	ユリー・ルシュティン	33	カラー	スタンダード	モノラル	
217	フィルム	あおさぎと鶴	The Heron and the Crane	ユリー・ルシュティン	11	カラー	スタンダード	モノラル	
218	フィルム	霧につつまれたハリネズミ	The Hedgehog in the Fog	ユリー・ルシュティン	11	カラー	スタンダード	モノラル	
219	フィルム	25 日、最初の日	25 October, the First Day	ユリー・ルシュティン	10	カラー	スタンダード	モノラル	
220	フィルム	ケルジェネツの戦い	The Battle of Kerzhenets	イワン・ワノワノ ユリー・ルシュティン	11	カラー	シネスコ	モノラル	
221	フィルム	せむしのこうま	Konyok-Gorbunok	イワン・ワノワノ	60	カラー	スタンダード	モノラル	
222	フィルム	キツネとウサギ	The Fox and the Hare	ユリー・ルシュティン	13	カラー	スタンダード	モノラル	
223	フィルム	風の谷のナウシカ		スタジオジブリ	116	カラー	ビスタ	ステレオ	
224	フィルム	天空の城ラピュタ		スタジオジブリ	124	カラー	ビスタ	ステレオ	
225	フィルム	となりのトトロ		スタジオジブリ	86	カラー	ビスタ	ステレオ	
226	フィルム	火垂るの墓		スタジオジブリ	88	カラー	ビスタ	ステレオ	
227	フィルム	魔女の宅急便		スタジオジブリ	102	カラー	ビスタ	ステレオ	
228	フィルム	おもひでぽろぽろ		スタジオジブリ	118	カラー	ビスタ	ステレオ	
229	フィルム	紅の豚		スタジオジブリ	93	カラー	ビスタ	ステレオ	
230	フィルム	海がきこえる		スタジオジブリ	72	カラー	ビスタ	ステレオ	
231	フィルム	平成狸合戦ぽんぽこ		スタジオジブリ	118	カラー	ビスタ	ステレオ	
232	フィルム	耳をすませば		スタジオジブリ	111	カラー	ビスタ	ステレオ	
233	フィルム	もののけ姫		スタジオジブリ	133	カラー	ビスタ	ステレオ	
234	フィルム	もののけ姫(英語版)	Princess Mononoke	スタジオジブリ	133	カラー	ビスタ	ステレオ	
235	フィルム	ホーホケキョ となりの山田くん		スタジオジブリ	103	カラー	ビスタ	ステレオ	
236	フィルム	On Your Mark		スタジオジブリ	7	カラー	ビスタ	ステレオ	
237	フィルム	草原の子テングリ		桜映画社	20	カラー	スタンダード	モノラル	
238	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 1 話「アルムの山へ」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
239	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 2 話「おじいさんの山小屋」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
240	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 3 話「牧場で」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
241	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 4 話「もう一人の家族」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
242	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 5 話「燃えた手紙」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
243	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 6 話「ひびけ口笛」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
244	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 7 話「樅の木の音」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
245	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 8 話「ピッチーよどこへ」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
246	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 9 話「白銀のアルム」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
247	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 10 話「おばあさんの家へ」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
248	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 11 話「吹雪の日に」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
249	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 12 話「春の音」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
250	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 13 話「再び牧場へ」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
251	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 14 話「悲しい知らせ」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
252	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 15 話「ユキちゃん」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
253	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 16 話「デルフリ村」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
254	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 17 話「二人のお客さま」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
255	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 18 話「離ればなれに」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
256	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 19 話「フランクフルトへ」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
257	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 20 話「新しい生活」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
258	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 21 話「自由に飛びたい」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
259	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 22 話「遠いアルム」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
260	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 23 話「大騒動」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
261	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 24 話「捨てられたミーちゃん」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
262	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 25 話「白バン」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
263	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 26 話「ゼーゼンさんのお帰りの」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
264	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 27 話「おばあさま」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
265	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 28 話「森へ行こう」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
266	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 29 話「ふたつのこころ」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
267	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 30 話「お陽さまをつかまえない」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
268	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 31 話「さようならおばあさま」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
269	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 32 話「あらしの夜」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
270	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 33 話「ゆうれい騒動」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
271	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 34 話「なつかしの山へ」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
272	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 35 話「アルムの星空」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
273	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 36 話「そして牧場へ」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
274	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 37 話「山羊のあかちゃん」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
275	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 38 話「新しい家で」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
276	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 39 話「がんばれベーター」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
277	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 40 話「アルムへ行きたい」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
278	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 41 話「お医者さまの約束」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
279	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 42 話「クララとの再会」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
280	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 43 話「クララの願い」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
281	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 44 話「小さな計画」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
282	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 45 話「山の子たち」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
283	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 46 話「クララのしあわせ」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
284	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 47 話「こんにちわおばあさま」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
285	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 48 話「小さな希望」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
286	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 49 話「ひとつの誓い」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
287	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 50 話「立ってごらん」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
288	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 51 話「クララが歩いた」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
289	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第 52 話「また会う日まで」		ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	

3：三鷹市の公の施設に係る指定管理者の指定を受けて行なうアニメーション美術館の管理運営（3号事業関係）

三鷹市の委託を受けて三鷹市立アニメーション美術館の運営を行なうとともに、下記のとおり施設の管理を行なった。

【建物保安警備】

セコム株式会社に保安警備を委託し、24時間の警備員常駐による警備を行なった。

【建物設備保守】

常駐管理及び設備保守については、三井不動産ファシリティーズ株式会社に業務委託し、開館日及び通常休館日における日常監視業務のほか、建築物や什器・備品の簡易修繕、定期的な消耗部品交換を実施した。経年における突発的な故障においても、応急処置、是正作業など各種の設備不良対応を行なった。

また、通常休館日のほか5月・11月の長期休館においても、木部修繕、屋外ドレン配管の漏水是正工事、扉周りのガスケット交換、吊り照明器具の補強など実施し美観と共に安全にも配慮しながら、全館的な施設維持・保全を実施した。設備においては、経年劣化による屋外照明器具の更新や、排水器具の更新、空調機器の制御部品交換、また、予防保全の観点より、非常用発電機の部品交換やマグネット開閉器の交換を定期点検結果や実績を基に計画的に実施した。

植栽管理では、庭暦、株式会社苑友造園に植栽ゾーンの定期作業を委託し、中低木剪定や草刈・除草などを計画的に実施した。また、有限会社タナベナーセリーにデッキ・パティオの草花類の植替え作業を委託し、季節感のある環境・景観維持に努めた。

【建物清掃】

三井不動産ファシリティーズ株式会社に建物清掃業務を委託し、開館日の日常清掃と共に、休館日毎の定期清掃を行なった。また、11月の長期休館を利用して、建物外壁の高圧洗浄を実施した。その他、美術館より排出される廃棄物は志賀興業株式会社に処理を委託した。

【防災関連】

日常の個別訓練とともに、スタッフに対して以下の総合訓練を実施し、消防訓練審査会に参加した。

- | | |
|----------------|-----------------------|
| ・防災行政無線通信訓練 | 令和元年6月、8月、11月、令和2年2月 |
| ・防災総合訓練 | 令和元年5月 |
| ・防災訓練（指導：三鷹消防） | 令和元年11月 |
| ・自衛消防訓練審査会 | 令和元年6月 ※1号消火栓計画隊の部 優勝 |

4：三鷹市の委託を受けて行なうアニメーションに関する事業（4号事業関係）

【三鷹の森アニメフェスタ 2020 への協力】

3月7日に予定されていた、三鷹市主催の「三鷹の森アニメフェスタ 2020」に準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催が中止となった。

5：展覧会事業に付帯する図録その他の印刷物並びにアニメーション文化に関する出版物、映像及び音楽に関する製品の製作及び販売（5号事業関係）

（1）出版物の制作販売

以下の印刷物を制作し、当美術館の図書閲覧室や中央ホールの案内所等にて販売した。

- ・展示パンフレット「手描き、ひらめき、おもいつき展」
- ・美術館写真ポストカードセット（写真 kanyada）4 種

また、以下の印刷物を引き続き販売した。

- ・美術館パンフレット 日本語（2010 年改訂版）
- ・美術館パンフレット 英語（2010 年改訂版）
- ・美術館図録改訂版（2017 年増補改訂版）
- ・映画パンフレット 10 種類

（「くじらとり」「コロの大さんぽ」「めいとこねこバス」「星をかった日」「水グモもんもん」「やどさがし」「ちゅうずもう」「パン種とタマゴ姫」「たからさがし」「毛虫のボロ」）

- ・展示パンフレット
「アードマン展」
「小さなルーヴル美術館展」
「崖の上のポニョ展」
「挿絵が僕らにくれたもの展」
「ジブリの森のレンズ展」
「クルミわり人形とネズミの王さま展」
企画展示「食べるを描く。」
「映画を塗る仕事展」

- ・美術館絵葉書セット（12 枚）
- ・美術館ポストカード（画 吉田昇） 11 種類
- ・展示ポスター「ユーリー・ノルシュテイン展～ノルシュテインとヤールブソワの仕事」
- ・展示ポストカード
「挿絵が僕らにくれたもの展」4 種
「クルミわり人形とネズミの王さま展」6 種類
「幽霊塔へようこそ展」2 種
「猫バスにのってジブリの森へ展」1 種
「天空の城ラピュタと空想科学の機械達展」3 種類
- ・宮崎敬介氏 木口木版画ポストカード 6 種類
- ・宮崎敬介氏 木口木版画 6 種
- ・セル画「Art Collection of Ghibli Museum」
- ・しおり 6 種類
- ・木 のしおり 2 種類
- ・星のノート 4 種類

（2）アニメーション映画のライブラリー事業

アニメーション映画の普及啓発活動として取り組んでいる三鷹の森ジブリ美術館ライブラリー事業は、非劇場上映を中心とするフィルムレンタル、ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパンから発売されるビデオグラム販売、テレビ局への放映権販売の 3 本を柱に継続している。

① 非劇場公開

今期、新規公開作品はなかったが、前期に引き続き、過去作の上映依頼に対する配給業務を行なった。非劇場からの依頼に対しては、一部は株式会社 KADOKAWA に窓口を委託するほか、下記の通りに作品の貸出を行なった。

「木を植えた男 ～フレデリック・バック作品集～」

場所 トンコハウス映画祭 E J アニメシアター新宿

上映日 平成31年4月27日(土)～令和元年5月26日(金)

場所 宮沢賢治イーハトーブ館 (岩手県花巻市)

上映日 令和元年10月19日(土)～令和元年11月3日(日)

場所 邑楽町中央公民館 (群馬県邑楽郡)

上映日 令和元年11月2日(土)

② ビデオグラム販売

ライブラリー作品のDVDおよびブルーレイは、ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパンより発売され、「パンダコパンダ」を中心に毎月着実な販売が続けている。令和元年1月22日には、ミッシェル・オスロ監督の最新作「ディリリとバリの時間旅行」がライブラリー作品として販売された。

③ 放映権販売

今期、新作の販売はない。

6：その他この法人の目的を達成するために必要な事業（6号事業関係）

特にない。

7：広報活動報告

今年度は令和元年11月16日(土)より開催した企画展示「手描き、ひらめき、おもいつき」展 〜ジブリの森のスケッチブックから〜 の広報活動を軸に行なった。また令和2年1月下旬からの新型コロナウイルス感染拡大をふまえて、美術館が入場チケットの振替入館・払い戻し、臨時休館・休館延長を行うにあたり、積極的な告知を行った。昨年に引き続き、夏休み7-8月入場分チケットの先行抽選販売告知や、美術館イベントの広報対応、美術館公式サイトや公式Twitter等の運用を行なった。

(1) 広報宣伝活動

- ① 年度を通じて取材対応期間とし、国内外問わず美術館取材を受けた。
- ② 年度を通じて新聞/雑誌/web/テレビ媒体を中心に写真等の広報素材の貸出や情報確認を行なった。
- ③ 長期休館の告知や、夏休み入場分チケットの先行抽選販売の告知を適宜行なった。
- ④ 企画展示「手描き、ひらめき、おもいつき」展の開催にあわせて、下記のような広報活動を行なった。
 - 1) 令和元年10月1日(火)より美術館公式サイトにて新展示のポスター画像と展示紹介を掲載したのを機に、広報活動を開始した。
 - 2) 同日から新展示のニュースリリースを、マスコミ・関係各社に送付し、新聞/webメディアを中心に露出した。
 - 3) マスコミ・関係者向け内覧会を実施した。
日 時：11月15日(金) 13:00~16:30
参加者：マスコミ・関係者約90名(取材マスコミは38媒体)
映像展示室「土星座」にて、三鷹の森ジブリ美術館の安西香月館長、協賛の日清製粉グループ本社総務本部広報部長の安達令子氏、ローソンエンタテインメント代表取締役社長の渡辺章仁氏のご挨拶。その後安西館長と、スタジオジブリに縁のある画家・井上直久氏による対談を行う。マスコミは、武蔵野記者クラブ所属の地元メディアや、シネマトゥデイや映画ナタリーといったエンターテインメント情報を扱うweb媒体などが来場した。日清製粉グループ関係の食品業界関連マスコミも来場した。会見終了後は企画展示室を中心に館内取材を実施した。
 - 4) 告知のため、朝日新聞による宮崎駿監督のインタビュー取材を行い、12月下旬から1月にかけて紙面とデジタル版に複数回露出した
 - 5) マスコミ・関係各社を中心に、招待状約1500枚を制作し、配布した。
- ⑤ 令和2年1月下旬からの新型コロナウイルスの感染拡大をふまえて、ジブリ美術館でも「振替入館」「チケット払い戻し」「臨時休館」等の特別措置を講じた。これにあわせ、速報性のある新聞やテレビ、webメディア、美術館公式サイト/Twitter等で下記のような告知につとめた。
 - 1) 1月29日(水)、入場チケットの「6月までの振替入館」を美術館公式サイト/Twitter等で発表。あわせてマスコミ対応を行った。
 - 2) 2月12日(水)、入場チケットを「払い戻し」対応することを美術館公式サイト/Twitter等で発表。あわせてマスコミ対応を行った。
 - 3) 2月22日(土)、「臨時休館」することを美術館公式サイト/Twitter等で発表。地元マスコミによる安西館長取材や、休館告知のためにテレビやwebメディアをはじめとするマスコミ対応を行った。
 - 4) 3月9日(月)、「4月入場分チケットの発売延期」をすることを美術館公式サイト/Twitter等で発表。あわせてマスコミ対応を行った。
 - 5) 3月13日(金)、「臨時休館を延長」をすることを美術館公式サイト/Twitter等で発表。あわせて告知のためにマスコミ対応を行った。

- ⑥ 下記イベント開催時にマスコミ向けにニュースリリースを送付し取材に対応した。
- 1) 7月23日(火) 三鷹の森ジブリ美術館お泊り会 ～星空の美術館へようこそ～
マスコミ3社4名来場
 - 2) 3月7日(土) 三鷹の森アニメフェスタ 2020 アニメーション古今東西その17
開催告知・コメント取材・中止告知
- ⑦ 美術館公式サイト/Twitter等の管理運営および一部改訂を行なった。
- 1) 最新情報や美術館日誌を更新し、定期的に新しい情報を提供するホームページ作りに取り組んだ。
 - 2) 企画展示、ギャラリー展示、クリスマス装飾、映像展示室上映スケジュールなどの情報を適宜掲載した。
 - 3) カフェ「麦わらぼうし」のページに新メニューの画像紹介を随時行い、見やすいページ作りに努めた。
 - 4) 「財団年報 2018-2019 (平成 31 年度)」、「平成 31 年度 事業計画」「平成 31 年度 収支予算」を全ページ掲載した。
 - 5) 本を紹介する美術館の季刊紙「トライホークス」の記事掲載と、ミュージアムショップの商品制作を紹介する「マンマユート便り」の記事制作と掲載を行なった。
 - 6) 9月9日(月)の台風15号の影響による振替入館、10月9日(水)の台風19号の影響による臨時休館・振替入館・チケットの払い戻しなど、台風による緊急対応時に、美術館公式サイト/Twitterにて告知を行った。
 - 7) その他、イベント募集やアニメーション文化調査研究活動助成の告知などを行った。
 - 8) 7月19日(金)に、英語版サイトを改訂した。スマートフォン対応のレイアウト変更を行い、チケットページへの導線を刷新。障がい者むけ情報などをピクトグラム化、情報を更新した。
 - 9) 年度を通じてジブリ美術館公式 Twitter を運用した。
 - 10) 年度を通じてスタジオジブリ公式 LINE アカウントの運用に協力した。
- ⑧ スタジオジブリ発行の小冊子『熱風』にて、企画展示「手描き、ひらめき、おもいつき」展やオリジナル短編アニメーション映画、長期休館、チケット販売のお知らせ等の広告を掲載した。
- ⑨ コンビニエンスストア「ローソン」が展開するジブリ美術館のチケット発売告知(夏休み入場分チケットの先行抽選販売のプロモーション活動も含む)に年度を通じて協力した。
- 1) ローソン店内で掲示される店内ポスター(毎月上旬掲示)、POS レジ画面(毎月10日前後)、Loppi グッズカタログ(毎月1日発行)、月刊ローチケ(毎月15日発行)、ドラゴンズポケットスケジュール(3月)の制作に協力した。
 - 2) ローソンおよびローソンエンタテインメントの企業ホームページや SNS (Twitter/Facebook) でのチケット販売告知や最新情報告知に協力した。
 - 3) ローソンのラジオスポット (TOKYO FM 毎週日曜 23:00～「鈴木敏夫のジブリ汗まみれ」内) の制作に協力した。
- ⑩ 美術館の海外向けチケットを販売している JTB のパンフレットおよび HP 制作、チケット販売国メディアへの広報対応を行なった。

(2) 印刷物・CM等の制作・制作協力

- ① 企画展示「手描き、ひらめき、おもいつき」展の展示パンフレット(2月29日発行)を制作した。
- ② 協賛各社(日清製粉グループおよびローソンエンタテインメント)の告知物の制作に協力した。
- ③ 3月20日(金・祝)に発売した公式写真集『ジブリ美術館ものがたり』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)の制作に協力した。またこの本に関する広報活動やイベントに協力した。

【資料】広報資料媒体一覧表

掲載・放映日	媒体名	記事の形態または 放送時間	記事タイトルまたは内容
平成31年			
4月9日	平成31リターンズ	4c	ジブリ作品とともに美術館の紹介
4月10日	スタジオジブリLINE公式アカウント (LINE)	4c	入場チケット発売告知
4月15日	月刊ローチケ	4c 1p	ジブリ美術館にいるネコを紹介！
	ローソンHPジブリポータルサイト(web)	4c	ジブリ美術館にいるネコを紹介！
4月18日	日経doors (web)	4c	映画の世界へ旅するイベント5選 ジブリ美術館 企画展示紹介
4月26日	ぶらぶら美術・博物館	4c 1/2p	ジブリ美術館 施設紹介
4月	みたか都市観光協会HP	4c	【イベント報告】デジタルスタンプラリー「お宝発見！ミタカをミタカ」
5月10日	スタジオジブリLINE公式アカウント (LINE)	4c	入場チケット発売告知
5月15日	月刊ローチケ	4c 1p	"土星座"短編映画のポスターが勢ぞろい！
	ローソンHPジブリポータルサイト(web)	4c	"土星座"短編映画のポスターが勢ぞろい！
5月16日	& TRAVEL 東京2020	4c 1/2p	ジブリ美術館 施設紹介
5月19日	広報みたか	2c	夏休みシーズンの入場チケットのご案内
5月31日	産経新聞	4c	のんびり井の頭恩賜公園 美術館施設紹介
	夏休みこどもとあそび'19	4 c	ジブリ美術館 施設紹介
5月	ラガマルくんのラグビールールブック	4c	三鷹市の魅力 (おすすめスポット)
6月10日	スタジオジブリLINE公式アカウント (LINE)	4c	入場チケット発売告知
6月15日	月刊ローチケ	4c 1p	「マンマユート」の新商品を紹介！
	ローソンHPジブリポータルサイト(web)	4c	「マンマユート」の新商品を紹介！
6月16日	広報みたか	2c	夏休みシーズンの入場チケットのご案内
6月21日	J:COM デイリーニュース(TV)	18:00～	自衛消防訓練審査会優勝インタビュー
6月19日	るるぶ東京観光'20	4c	ジブリ美術館 施設紹介
6月28日	まっふる東京観光'20	4c 2p	ジブリ美術館 施設紹介
6月	じゃらん家族旅行関東・東北版2019	4c	ジブリ美術館 施設紹介
7月10日	セブンネットショッピング公式 (web)	4c	企画展示「映画を塗る仕事」展の様子をご紹介！
	スタジオジブリLINE公式アカウント (LINE)	4c	入場チケット発売告知
7月15日	月刊ローチケ	4c 1p	「麦わらぼうし」の新メニューを紹介！
	ローソンHPジブリポータルサイト(web)	4c	「麦わらぼうし」の新メニューを紹介！
7月24日	三鷹市HP	4c	プレスリリース 市民・近隣市民デー募集告知
	三鷹市HP	4c	フォトニュース お泊り会「星空の美術館へようこそ」開催
	読売新聞 夕刊	1c	夢へのパスポート 夏休みの特別企画
7月26日	東京新聞 (多摩武蔵野版)	4c	児童引き「お泊り会」三鷹の森ジブリ美術館
	東京新聞 TOKYOWeb (Web)	4c	児童引き「お泊り会」三鷹の森ジブリ美術館
7月29日	三鷹くらしのガイド 市民便利帳	4c	ジブリ美術館 施設紹介
7月	AOZORA CINEMA party 荻窪映画館	4c	ジブリ美術館 施設紹介
	Le guide du geek-trotteur au Japon(仏)	4c	ジブリ美術館 施設紹介
	TOKYO PLAN DU VOYAGEUR(仏)	4c	ジブリ美術館 施設紹介
8月1日	かわいい美術に会いに行こう	4c5p	夢に見たジブリの世界へ迷い込もう！
	市報むさしの	4c	近隣市民デー募集告知
8月4日	広報みたか	2c	市民・近隣市民デー募集告知
8月6日	カンタン東京さんぽ2020	4c	ジブリ美術館 施設紹介
8月10日	スタジオジブリLINE公式アカウント (LINE)	4c	入場チケット発売告知
8月15日	月刊ローチケ	4c 1p	中央ホールの天井を紹介！
	ローソンHPジブリポータルサイト(web)	4c	中央ホールの天井を紹介！
8月17日	第52回三鷹阿波おどりチラシ	4c	企画展示「映画を塗る仕事」展紹介
8月18日	広報みたか	2c	市民・近隣市民チケットのご案内
8月25日	たびこふれ (web)	4c	三鷹の森ジブリ美術館の見どころ・展示内容・アクセス方法をご紹介！
8月26日	六小だより	1c	ジブリお泊り会
9月10日	ハイパーホビー VOL.14	1c	企画展示「映画を塗る仕事」展
	スタジオジブリLINE公式アカウント (LINE)	4c	入場チケット発売告知
9月15日	みたかの教育	2c	学園長に聞く！ ジブリ美術館お泊り会
	月刊ローチケ	4c 1p	企画展示「映画を塗る仕事」展は11/3まで！
9月25日	ローソンHPジブリポータルサイト(web)	4c	企画展示「映画を塗る仕事」展は11/3まで！
	朝日新聞NY特別版	4c	ジブリ美術館 施設紹介
9月30日	成蹊大学『ZELKOVA』96号	4c	ジブリ美術館 施設紹介
9月	第23回日本臨床内分沁病理学会学術総会プログラム	4c	ジブリ美術館 施設紹介
10月1日	映画.com(web)	4c	宮崎駿監督の絵や文章でジブリ美術館の企画の"歩み"を紹介 新企画展示が11月開催
	アニメハック(映画.com/web)	4c	宮崎駿監督の絵や文章でジブリ美術館の企画の"歩み"を紹介 新企画展示が11月開催
	シネマトゥデイ(web)	4c	ジブリ美術館で11月16日より新企画展示 宮崎駿監督の絵や文章で展示物制作を紐解く
	映画ナタリー(web)	4c	ジブリ美術館で「手描き、ひらめき、おもいつき」展開催、展示物の制作に迫る
	ORICON NEWS(web)	4c	ジブリ美術館、11・16からの新企画展示宮崎駿監督の頭の中を覗けちゃう!?

掲載・放映日	媒体名	記事の形態または 放送時間	記事タイトルまたは内容
10月1日	FASHION PRESS(web)	4c	ジブリ美術館「手描き、ひらめき、おもいつき」展、宮崎駿の絵やメモで振り返る展示や建物の構想
	クラクイン！(web)	4c	ジブリ美術館、11・16から新企画展開催！ 宮崎駿が携わった設計や企画展示を紐解く
	Cinema Café(web)	4c	ジブリ美術館、新企画「手描き、ひらめき、おもいつき」展11月16日スタート
	excite.ニュース (ORICON NEWSより)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、11・16から新企画展示 宮崎駿監督を頭の中を覗けちゃう!?
	西ニッポンスポーツ (ORICON NEWSより)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、11・16から新企画展示 宮崎駿監督を頭の中を覗けちゃう!?
	山陽新聞digital (ORICON NEWSより)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、11・16から新企画展示 宮崎駿監督を頭の中を覗けちゃう!?
	徳山新聞 (ORICON NEWSより)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、11・16から新企画展示 宮崎駿監督を頭の中を覗けちゃう!?
	秋田魁新報 (ORICON NEWSより)	4c	ジブリ美術館、11・16からの新企画展示宮崎駿監督の頭の中を覗けちゃう!?
	沖縄タイムス (ORICON NEWSより)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、11・16から新企画展示 宮崎駿監督を頭の中を覗けちゃう!?
	gooニュース (FASHION PRESSより)	4c	三鷹の森ジブリ美術館「手描き、ひらめき、おもいつき」展、宮崎駿の絵やメモで振り返る展示や建物の構想
	livedoor NEWS (映画.comより)	4c	宮崎駿監督の絵や文章でジブリ美術館の企画の“歩み”を紹介 新企画展示が11月開催
	YAHOO!ニュース (映画ナタリーより)	4c	ジブリ美術館で「手描き、ひらめき、おもいつき」展開催、展示物の制作に迫る
10月2日	YAHOO!ニュース (ORICON NEWSより)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、11・16から新企画展示 宮崎駿監督を頭の中を覗けちゃう!?
	YAHOO!ニュース (シネマカフェより)	4c	ジブリ美術館、新企画「手描き、ひらめき、おもいつき」展11月16日スタート
	朝日新聞 (むさしの版)	1c	宮崎監督のイメージたどる ジブリ美術館
	アニメ！アニメ！(web)	4c	ジブリ美術館新企画展「手描き、ひらめき、おもいつき」展を開催
	ねとらぼ(web)	4c	ジブリ美術館新企画展「手描き、ひらめき、おもいつき」展を開催
	YAHOO!ニュース (アニメ！アニメ！より)	4c	ジブリ美術館、新企画「手描き、ひらめき、おもいつき」展11月16日スタート
	YAHOO!ニュース (ねとらぼより)	4c	ジブリ美術館新企画展「手描き、ひらめき、おもいつき」展を開催
	ReseMomリセママ (アニメ！アニメ！)	4c	ジブリ美術館、新展示「手描き、ひらめき、おもいつき」11/16より
	BIGLOBEニュース (ねとらぼより)	4c	ジブリ美術館新企画展「手描き、ひらめき、おもいつき」展を開催
	excite.ニュース (ねとらぼより)	4c	ジブリ美術館新企画展「手描き、ひらめき、おもいつき」展を開催
10月4日	連雀学園 NEWS	4c	三鷹の森ジブリ美術館お泊まり会～星空の美術館へようこそ～
	gotokyo(web)	4c	ジブリ美術館 施設紹介
	杏林大学医学部病理学会学術総会	4c	ジブリ美術館 施設紹介
	広報みたか	2c	三鷹の森フェスティバル2019告知
	10月6日 読売新聞 (武蔵野版)	4c	宮崎監督 手描きのスケッチ 新展示紹介
	10月9日 スタジオジブリLINE公式アカウント (LINE)	4c	入場チケット発売告知
	10月10日 月刊ローチケ	4clp	遊び心いっぱいパティオを探索しよう！
	10月15日 ローソンHPジブリポータルサイト(web)	4c	遊び心いっぱいパティオを探索しよう！
	10月18日 東京ひとりおしゃれさんぽ	4c 1/2p	ジブリ美術館 施設紹介
	10月22日 J:COM デイリーニュース(TV)	18:00～	三鷹の森フェスティバル紹介
10月23日	三鷹市HP	4c	フォトニュース 三鷹の森フェスティバル2019が開催されました
	10月24日 NTV ヒルナンデス (TV)	11:55～	「中間の観光案内」コーナー内美術館紹介
	11月3日 MOE	4c	ジブリ美術館新企画展「手描き、ひらめき、おもいつき」展がスタート
	広報みたか	2c	新企画展示「手描き、ひらめき、おもいつき」展がはじまります
	11月10日 スタジオジブリLINE公式アカウント (LINE)	4c	入場チケット発売告知
	11月13日 レッツエンジョイ東京(web)	4c	新企画展示「手描き、ひらめき、おもいつき」展がはじまります
	11月14日 ぴあこどもと遊ぼう冬 首都圏版	4c	ジブリ美術館のクリスマス
	映画.com(web)	4c	ジブリ美術館、新展示からあふれる宮崎駿監督の無限の想像力・好奇心
	アニメハック(映画.com/web)	4c	ジブリ美術館、新展示からあふれる宮崎駿監督の無限の想像力・好奇心
	シネマトゥデイ(web)	4c	宮崎駿のアイデアが凝縮！ジブリ美術館の新企画展示、約640点公開
11月15日	映画ナタリー(web)	4c	宮崎駿のダメ出しも展示、ジブリ美術館で「手描き、ひらめき、おもいつき」展開催
	ORICON NEWS(web)	4c	ジブリ美術館、11・16より新企画「おもいつき」展 ダメ出し資料も展示
	FASHION PRESS(web)	4c	三鷹の森ジブリ美術館「手描き、ひらめき、おもいつき」展、宮崎駿の絵やメモで振り返る展示や建物の構想
	ねとらぼ(web)	4c	三鷹の森ジブリ美術館「恥ずかしいものも含めてたくさん展示しました」 約20年の歩み振り返る企画展始まる
	月刊MOE (Twitter/facebook/instagram)	4c	新企画展示『手描き、ひらめき、おもいつき』展開催
	日テレ47ニュース	4c	新企画展示『手描き、ひらめき、おもいつき』展開催
	YAHOO!ニュース (映画ナタリーより)	4c	宮崎駿のダメ出しも展示、ジブリ美術館で「手描き、ひらめき、おもいつき」展開催
	excite.ニュース (ORICONより)	4c	ジブリ美術館 新企画「手描き、ひらめき、おもいつき」展、あす16日から
	msn ニュース (ORICONより)	4c	ジブリ美術館、11・16より新企画「おもいつき」展 ダメ出し資料も展示
	北海道新聞 (ORICONより)	4c	ジブリ美術館、11・16より新企画「おもいつき」展 ダメ出し資料も展示
11月16日	西日本スポーツ (ORICONより)	4c	ジブリ美術館、11・16より新企画「おもいつき」展 ダメ出し資料も展示
	@nifty ニュース (ORICONより)	4c	ジブリ美術館、11・16より新企画「おもいつき」展 ダメ出し資料も展示
	YAHOO!ニュース (シネマトゥデイより)	4c	宮崎駿のアイデアが凝縮！ジブリ美術館の新企画展示、約640点公開
	livedoor NEWS(シネマトゥデイより)	4c	宮崎駿のアイデアが凝縮！ジブリ美術館の新企画展示、約640点公開
	朝日新聞 (むさしの版)	1c	宮崎監督の思考に迫る 新企画展示紹介
	読売新聞 (武蔵野版)	1c	宮崎駿監督の世界堪能して 新企画展示紹介
	クラクイン！(web)	4c	三鷹の森ジブリ美術館「手描き、ひらめき、おもいつき」展に潜入！ 見どころを紹介
	BuzzFeed JAPAN(web)	4c	宮崎駿が1枚の画用紙に記した「楽しいといけない」の意味 企画展示紹介
	朝日新聞デジタル(web)	4c	東京) ジブリ美術館、宮崎監督の思い探る 新企画展示紹介

掲載・放映日	媒体名	記事の形態または 放送時間	記事タイトルまたは内容
11月16日	YAHOO!ニュース（ねとらぼより）	4c	三鷹の森ジブリ美術館「恥ずかしいものも含めてたくさん展示しました」 約20年の歩み振り返る企画展始まる
	YAHOO!ニュース（クランクイン！より）	4c	三鷹の森ジブリ美術館「手描き、ひらめき、おもいつき展」に潜入！ 見どころを紹介
	gooニュース（クランクイン！より）	4c	三鷹の森ジブリ美術館「手描き、ひらめき、おもいつき展」に潜入！ 見どころを紹介
	YAHOO!ニュース（BuzzFeed JAPANより）	4c	宮崎駿が1枚の画用紙に記した「楽しくないといけない」の意味 企画展示紹介
	月刊ローチケ	4c 1p	11/16（土）より新企画展示「手描き、ひらめき、おもいつき」展スタート
11月18日	ローソンHPジブリポータルサイト(web)	4c	11/16（土）より新企画展示「手描き、ひらめき、おもいつき」展スタート
	アニメ！アニメ！（web）	4c	宮崎駿監督の頭の中を覗ける！ジブリ美術館の新企画「手描き、ひらめき、思いつき」展【レポート】
	アニメージュ+（web）	4c	井上直久氏も絶賛！宮崎駿監督の絵や文章を中心に約640点！ジブリ美術館新企画展示
	J:COM デイリーニュース(TV)	18：00～	ジブリ美術館「手描き、ひらめき、おもいつき」展紹介
	YAHOO!ニュース（映画.comより）	4c	ジブリ美術館、新展示からあふれる宮崎駿監督の無限の想像力・好奇心
	livedoor NEWS(映画.comより)	4c	ジブリ美術館、新展示からあふれる宮崎駿監督の無限の想像力・好奇心
	YAHOO!ニュース（アニメ！アニメ！より）	4c	宮崎駿監督の頭の中を覗ける！ジブリ美術館の新企画「手描き、ひらめき、思いつき」展【レポート】
11月19日	excite.ニュース（アニメ！アニメ！より）	4c	宮崎駿監督の頭の中を覗ける！ジブリ美術館の新企画「手描き、ひらめき、思いつき」展【レポート】
	マイナビニュース（アニメージュ+より）	4c	井上直久氏も絶賛！宮崎駿監督の絵や文章を中心に約640点！ジブリ美術館新企画展示
11月20日	三鷹市HP	4c	フォトニュース ジブリ美術館「手描き、ひらめき、おもいつき」展が始まりました
	MITAKA CITY NEWS	4c	ジブリ美術館「手描き、ひらめき、おもいつき」展が始まりました
11月24日	DVD&動画配信でーた	4c	宮崎駿のこだわりが詰まった美術館の“裏側”を初公開！
	リセマム（アニメ！アニメ！より）	4c	ジブリ美術館「手描き、ひらめき、思いつき」展レポート
11月27日	産経新聞（東京版）	4c	宮崎作品じっくり見て 新企画展示紹介
	毎日新聞デジタル(web)	4c	毎日新聞デジタル
11月28日	YAHOO!ニュース（毎日新聞デジタルより）	4c	YAHOO!ニュース（毎日新聞デジタルより）
	毎日新聞	4c	ジブリ美術館の裏側見て 新企画展示紹介
	吉祥寺経済新聞(web)	4c	ジブリ美術館で「手描き、ひらめき、おもいつき」展 構想やスケッチを公開
11月29日	YAHOO!ニュース（みんなの掲載新聞より）	4c	ジブリ美術館で「手描き、ひらめき、おもいつき」展 構想やスケッチを公開
	リビングむさしの	4c	新企画展示『手描き、ひらめき、おもいつき』展開催
11月	おすすめコース 東京+横浜	4c	新企画展示『手描き、ひらめき、おもいつき』展開催
	国立天文台ニュース	4c	三鷹の森ジブリ美術館 お泊り会～星空の美術館へようこそ
12月1日	広報みたか	4c	新企画展示が始まりました
		2c	（株）ジブリ美術館 社員の募集
		2c	アニメーション文化講座 募集告知
	J:COM みるみる三鷹(TV)	9：00～	ジブリ美術館「手描き、ひらめき、おもいつき」展紹介
12月3日	TBSラジオ アフター6ジャンクション（ラジオ）	18：00～	新企画展示『手描き、ひらめき、おもいつき』展 西岡純一郎長紹介
12月6日	MDNデザインインタラクティブ(web)	4c	三鷹の森ジブリ美術館は手描きスケッチから始まった～「手描き、ひらめき、おもいつき」展
12月10日	スタジオジブリLINE公式アカウント（LINE）	4c	入場チケット発売告知
12月15日	月刊ローチケ	4c 1p	新企画展示の展示内容を紹介！
	ローソンHPジブリポータルサイト(web)	4c	新企画展示の展示内容を紹介！
	広報みたか	4c	三鷹2019この1年 11月16日 新企画展示始まる
	パンニュース	1c	新企画展示『手描き、ひらめき、おもいつき』展開催
12月23日	春夏秋冬びあ2020-2021	4c	美術館施設紹介
12月25日	芸術新潮	4c	東京のミュージアム100 ジブリ美術館 施設紹介
12月27日	朝日新聞 夕刊	4c	ジブリ美術館 大人へ子どもへ 宮崎駿監督インタビュー
12月	京王ニュース	4c	新企画展示『手描き、ひらめき、おもいつき』展開催
	TEACHER'S LOG NOTE 2020	1c	オススメミュージアム
令和2年			
1月1日	MITAKA CITY NEWS	1c	Ghibli Museum, Mitaka New Special Exhibition
	広報みたか	4c	三鷹市は市政施行70周年を迎えます （美術館2001年開館）
1月7日	朝日新聞 夕刊（大阪版）	4c	ジブリ美術館 大人へ子どもへ 宮崎駿監督インタビュー
1月10日	スタジオジブリLINE公式アカウント（LINE）	4c	入場チケット発売告知
1月15日	月刊ローチケ	4c 1p	企画展示「手描き、ひらめき、おもいつき」展の第1室の見どころを紹介
	ローソンHPジブリポータルサイト(web)	4c	企画展示「手描き、ひらめき、おもいつき」展の第1室の見どころを紹介
1月16日	NTV ヒルナンデス（TV）	11：55～	「中間の観光案内」コーナー内美術館紹介
1月21日	朝日新聞 夕刊	4c	展覧会コーナー 企画展示「手描き、ひらめき、おもいつき」展
1月28日	J-WAVE GOOD NEIGHBORS（ラジオ）	13：00～	新企画展示『手描き、ひらめき、おもいつき』展開催 広報部員による紹介
1月31日	HOT PEPPER 吉祥寺	4c	新企画展示『手描き、ひらめき、おもいつき』展開催
1月31日	こどもとおでかけ365日	4c	美術館施設紹介
1月	日左連	4c 4p	フレスコ画について ジブリ美術館入口の天井フレスコ画
	東京散策乗物ガイド	1c	ジブリ美術館 施設紹介
2月2日	広報みたか	4c 1p	三鷹の森アニメフェスタ2020

掲載・放映日	媒体名	記事の形態または 放送時間	記事タイトルまたは内容
2月6日	こどもとあそぼう首都圏'21	4c 1p	ジブリ美術館 施設紹介
2月7日	るるぶkids (web)	4c	「東京で周辺施設も充実している動物園ならココ」コーナー内紹介
2月10日	スタジオジブリLINE公式アカウント (LINE)	4c	入場チケット発売告知
2月15日	月刊ローチケ	4c 1p	企画展示「手描き、ひらめき、おもいつき」展の第2室の見どころを紹介
	ローソンHPジブリポータルサイト(web)	4c	企画展示「手描き、ひらめき、おもいつき」展の第2室の見どころを紹介
2月11日	東京新聞	4c	新企画展示紹介 ジブリ美術館ができるまで
2月15日	読売新聞 (都民版)	1c	消えた外国人 ジブリ美術館チケット払い戻し
2月17日	吉祥寺経済新聞(web)	4c	「三鷹の森アニメフェスタ」 ジブリ美術館が選ぶ古今東西のアニメーション紹介
2月18日	まっふる東京観光'20家族でおでかけ関東周辺	4c 1p	ジブリ美術館 施設紹介
2月19日	朝日新聞 (むさしの版)	1c	ジブリ美術館 新型肺炎で払い戻し
2月20日	朝日新聞 (むさしの版)	1c	三鷹3 美術館紹介 安西館長インタビュー
2月22日	朝日新聞デジタル(web)	4c	ジブリ美術館、3月17日まで臨時休館 新型肺炎拡大で
	THE SANKEI NEWS(web)	4c	ジブリ美術館が臨時休館へ 新型肺炎拡大防止で
	読売新聞オンライン(web)	4c	ジブリ美術館、感染拡大受け臨時休館…25日から3月17日
	YAHOO!ニュース (朝日新聞デジタルより)	4c	ジブリ美術館、3月17日まで臨時休館 新型肺炎拡大で
	YAHOO!ニュース (読売オンラインより)	4c	ジブリ美術館、感染拡大受け臨時休館…25日から3月18日
	gooニュース (朝日新聞デジタルより)	4c	ジブリ美術館、3月17日まで臨時休館 新型肺炎拡大で
	livedoor!NEWS (読売オンラインより)	4c	ジブリ美術館、感染拡大受け臨時休館…25日から3月17日 *シェア多数
	niftyニュース (読売オンラインより)	4c	ジブリ美術館、感染拡大受け臨時休館…25日から3月17日
	SankeiBiz(web)	4c	ジブリ美術館が臨時休館へ 新型肺炎拡大防止で
	SANSPO.COM(web)	4c	ジブリ美術館が臨時休館へ 新型肺炎拡大防止で
	スタジオジブリLINE公式アカウント (LINE)	4c	ジブリ美術館ものがたり 写真展 開催告知
2月23日	朝日新聞 (東京版)	1c	ジブリ美術館休館 25日～来月17日
	読売新聞	1c	三鷹・ジブリ美術館 25日から休館
	東京新聞	1c	三鷹・ジブリ美術館 25日から臨時休館
	NEWS (MX1)	18:00～	臨時休館 三鷹の森ジブリ美術館
	Sponichi Annex(web)	4c	東京・三鷹市「ジブリ美術館」25日から臨時休館 事前予約チケットは払い戻し
	毎日新聞(web)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、25日から臨時休館 新型肺炎感染防止で
	映画ナタリー(web)	4c	ジブリ美術館が3月17日まで臨時休館、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため
	excite.ニュース (毎日新聞)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、25日から臨時休館 新型肺炎感染防止で
	YAHOO!ニュース (映画ナタリーより)	4c	ジブリ美術館が3月17日まで臨時休館、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため
2月24日	テレビ朝日 グッド！モーニング (TV)	4:55～	ジブリ美術館 明日から臨時休館へ
	MX1 NEWS (TV)	18:00～	臨時休館 三鷹の森ジブリ美術館 コロナ防止で
	ハフポスト日本版(web)	4c	「三鷹の森ジブリ美術館」臨時休館へ 新型コロナウイルスの感染拡大を受け
	JAPAN TODAY(web)	4c	Ghibli Museum to close through March 17 due to coronavirus
	YAHOO!ニュース (ハフポストより)	4c	「三鷹の森ジブリ美術館」臨時休館へ 新型コロナウイルスの感染拡大を受け
	YAHOO!ニュース (TOKYO MXより)	4c	臨時休館 三鷹の森ジブリ美術館 コロナ防止で
2月25日	TBS ゴゴスマ (TV)	13:55～	三鷹の森ジブリ美術館 臨時休館 生中継
	MX1 NEWS (TV)	18:00～	臨時休館 三鷹の森ジブリ美術館 住民/三鷹市大朝部長インタビュー
	J:COM デイリーニュース (TV)	18:00～	【臨時休館のお知らせ】三鷹の森ジブリ美術館
	三鷹市HP	1c	【臨時休館のお知らせ】三鷹の森ジブリ美術館
	吉祥寺経済新聞(web)	4c	「三鷹の森アニメフェスタ」 中止
2月26日	いこーよ(web)	4c	新型コロナウイルスの関係で一時休館に
	JRおでかけネット(web)	4c	<2020年2月25日～3月17日まで臨時休館>三鷹の森ジブリ美術館
	JR東日本観光スポット・イベント情報(web)	4c	<2020年2月25日～3月17日まで臨時休館>三鷹の森ジブリ美術館
	セブンネットショッピング(web)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、臨時休館のお知らせ
	Business Insider Japan(web)	4c	ジブリ美術館、新型コロナ対応で臨時休館。いつまで？払い戻し方法は？
	シネマトゥデイ(web)	4c	ジブリ美術館、3月17日まで臨時休館 新型コロナウイルス感染拡大防止のため
	ORICON NEWS(web)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、臨時休館 新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため
	TimeOut(web)	4c	コロナウイルスにより中止、延期となったイベント情報
	MSN.com (Business Insider Japanより)	4c	ジブリ美術館、新型コロナ対応で臨時休館。いつまで？払い戻し方法は？
	YAHOO!ニュース (シネマトゥデイより)	4c	ジブリ美術館、3月18日まで臨時休館 新型コロナウイルス感染拡大防止のため
	modelpress (シネマトゥデイより)	4c	ジブリ美術館、3月19日まで臨時休館 新型コロナウイルス感染拡大防止のため
	YAHOO!ニュース (ORICON NEWSより)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、臨時休館 新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため
	北海道新聞電子版 (ORICON NEWSより)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、臨時休館 新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため
	福井新聞ONLINE (ORICON NEWSより)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、臨時休館 新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため
	徳島新聞電子版 (ORICON NEWSより)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、臨時休館 新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため
	山陽新聞digital (ORICON NEWSより)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、臨時休館 新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため
2月27日	gotokyo (訪日観光客向けサイト)	4c	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一次休館中です
	guidoor (訪日観光客向けサイト)	4c	三鷹の森ジブリ美術館は、2月25日(火)から3月17日(火)まで臨時休館することに

掲載・放映日	媒体名	記事の形態または 放送時間	記事タイトルまたは内容
2月	Japan Highlights Travel (web)	4c	美術館施設紹介
	The Expat's Guide to Japan(英)	4c	美術館施設紹介
2月29日	美術手帖(web)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、臨時休館 新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため
3月1日	広報みたか	2c	三鷹の森ジブリ美術館臨時休館のお知らせ
3月3日	レッツエンジョイ東京(web)	4c	2020年2月25日(火)～3月17日(火)まで臨時休館
	Google Map(web)	4c	Temporarily closed 表示
3月1日	広報みたか	2c	三鷹の森ジブリ美術館臨時休館のお知らせ
3月3日	全国 大人になっても行きたいわたしの絵本めぐり	4c 2p	トライホークス紹介
3月5日	るるぶ東京'21	4c	美術館施設紹介
	美術館公式Twitter	4c	ジブリ美術館ものがたり 写真展 開催告知
3月6日	スタジオジブリLINE公式アカウント (LINE)	4c	ジブリ美術館ものがたり 写真展 開催告知
3月8日	シネマトゥデイ (web)	4c	ジブリ 鈴木Pが明かす、ジブリ美術館初の公式写真集を実現させた不思議な縁
	YAHOO!ニュース (シネマトゥデイより)	4 c	ジブリ 鈴木Pが明かす、ジブリ美術館初の公式写真集を実現させた不思議な縁
3月9日	スタジオジブリLINE公式アカウント (LINE)	4c	4月入場分のチケット販売を延期
3月10日	att. JAPAN (英/韓/中)	4c 1/2p	ジブリ美術館 施設紹介
	読売新聞 武蔵野版	1c	4月入場分のチケット販売を延期
3月13日	映画ナタリー(web)	4c	ジブリ美術館が臨時休館を延長、再オープンは4月29日予定
	シネマトゥデイ(web)	4c	ジブリ美術館、4.28まで休館延長 新型コロナ対策とメンテナンスのため
	オリコンNews(web)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、4・28まで臨時休館延長
	Business Insider(web)	4c	ジブリ美術館、4月28日まで休館延長「安心して来館して頂くため」
	Fashion Press(web)	4c	東京都内の美術館・博物館情報 (他施設の休館情報とあわせて紹介)
	アニメ！アニメ！(web)	4c	「三鷹の森ジブリ美術館」臨時休館延長へ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
	三鷹市HP	4c	【臨時休館延長のお知らせ(4月28日まで)】三鷹の森ジブリ美術館
	livedoor NEWS (シネマトゥデイより)	4c	ジブリ美術館、4.28まで休館延長 新型コロナ対策とメンテナンスのため
	modelpress (シネマトゥデイより)	4c	ジブリ美術館、4.28まで休館延長 新型コロナ対策とメンテナンスのため
	BIGLOBEニュース (オリコンより)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、4・28まで臨時休館延長
	excite.ニュース (オリコンより)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、4・28まで臨時休館延長
	gooニュース (オリコンより)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、4・28まで臨時休館延長
	デジタル毎日 (オリコンより)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、4・28まで臨時休館延長
	西日本スポーツ (オリコンより)	4c	三鷹の森ジブリ美術館、4・29まで臨時休館延長
	YAHOO!ニュース (シネマトゥデイより)	4c	ジブリ美術館、4.28まで休館延長 新型コロナ対策とメンテナンスのため
	YAHOO!ニュース (映画ナタリーより)	4c	ジブリ美術館が臨時休館を延長、再オープンは4月29日予定
	YAHOO!ニュース (アニメ！アニメ！より)	4c	「三鷹の森ジブリ美術館」臨時休館延長へ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
	msnニュース (Business Insiderより)	4c	ジブリ美術館、4月28日まで休館延長「安心して来館して頂くため」
	Ghibliotheque(Podcast/英)	35min	ジブリ美術館訪問記 Tokyo Stories Pt2
3月14日	朝日新聞 (東京版)	1c	4月28日 (火) まで臨時休館延長
	読売新聞 (都民版)	1c	4月28日 (火) まで臨時休館延長
	東京新聞	1c	「新型コロナ」イベント中止など (他施設の情報とあわせて紹介)
	毎日新聞 (多摩版)	4c	三鷹の魅力 英語地図に 都市観光協会
3月15日	月刊ローチケ	4c 1p	企画展示「手描き、ひらめき、おもいつき」展のギャラリーの見どころを紹介
	ローソンHPジブリポータルサイト(web)	4c	企画展示「手描き、ひらめき、おもいつき」展のギャラリーの見どころを紹介
3月17日	吉祥寺経済新聞(web)	4c	「ジブリ美術館」、4月末まで臨時休館 メンテナンス繰り上げ、28日に再オープン
3月18日	ハフポスト日本版(web)	4c	ジブリ美術館、とうとう初めての写真集を発売へ。
	スタジオジブリLINE公式アカウント (LINE)	4c	4月28日 (火) まで臨時休館延長
	スタジオジブリLINE公式アカウント (LINE)	4c	公式写真集「ジブリ美術館ものがたり」発売開始
3月20日	【旅色】吉祥寺ブック (web)	4c	美術館施設紹介
3月27日	Ane♥ひめ	4c 2p	ジブリ美術館 どきどき潜入レポート
3月31日	初夏びあ	4c	ジブリ美術館 施設紹介
	女性自身	4c 1p	公式写真集「ジブリ美術館ものがたり」
3月	連雀学園コミュニティ・スクールガイド	4c	ジブリお泊り会 紹介
	初夏びあ	4c	美術館施設紹介
	都道府県別日本地理	4c	東京都 三鷹の森ジブリ美術館

8 : 令和元年度決算報告

貸 借 対 照 表 令和 2 年 3 月 31 日現在

(単位 : 円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産	273,829,590	297,269,843	△23,440,253
2.固定資産			
(1)基本財産	533,161,337	533,161,337	0
(2)特定資産	1,242,754,000	1,242,754,000	0
(3)その他固定資産	129,052,575	134,462,601	△5,410,026
固定資産合計	1,904,967,912	1,910,377,938	△5,410,026
資産合計	2,178,797,502	2,207,647,781	△28,850,279
II 負債の部			
1.流動負債	35,837,206	64,429,365	△28,592,159
負債合計	35,837,206	64,429,365	△28,592,159
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	1,153,161,337	1,153,161,337	0
2.一般正味財産	989,798,959	990,057,079	△258,120
正味財産合計	2,142,960,296	2,143,218,416	△258,120
負債及び正味財産合計	2,178,797,502	2,207,647,781	△28,850,279

正 味 財 産 増 減 計 算 書

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	4,346,703	4,346,353	350
事業収益	729,767,038	804,324,246	△74,557,208
受取寄付金	10,000,000	0	10,000,000
雑収益	2,072,557	1,519,203	553,364
経常収益計	746,186,298	810,189,802	△64,003,504
(2)経常費用			
事業費	736,446,363	746,106,074	△9,659,711
管理費	5,901,855	6,395,802	493,947
経常費用計	742,348,218	752,501,876	△10,153,658
当期経常増減額	3,838,080	57,687,926	△53,849,846
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
固定資産受増益	0	716,251	△716,251
経常外収益計	0	716,251	△716,251
(2)経常外費用			
固定資産除却損失	0	3	△3
経常外費用計	0	3	△3
当期経常外増減額	0	716,248	△716,248
他会計振替繰入額	14,321,506	14,706,786	△385,280
他会計振替繰出額	14,321,506	14,706,786	△385,280
税引前当期一般正味財産増減額	3,838,080	58,404,174	△54,566,094
法人税、住民税及び事業税	4,096,200	4,381,300	△285,100
当期一般正味財産増減額	△258,120	54,022,874	△54,280,994
一般正味財産期首残高	990,057,079	936,034,205	54,022,874
一般正味財産期末残高	989,798,959	990,057,079	△258,120
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	4,346,703	4,346,353	350
一般正味財産への振替額	△4,346,703	△4,346,353	△350
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,153,161,337	1,153,161,337	0
指定正味財産期末残高	1,153,161,337	1,153,161,337	0
III 正味財産期末残高	2,142,960,296	2,143,218,416	△258,120

【巻末】

アニメーション文化に関する調査研究報告

アニメーションの背景美術に関する研究

「日本のセル・アニメーションとスタジオジブリ作品における手描きの美術表現」

事業課学芸係 学芸員 伊藤望

序文

アニメーションの芝居を担当するのが動画とすれば、背景美術はアニメーションの舞台を作るのが役割である。しかし東映動画が誕生した時代まで遡ると、美術は背景を描くばかりでなく、絵全体についてもデザインし、舞台のディテールを作り出し、キャラクターの色彩も設計していたことがわかっている。また、背景はキャラクターがいる場所や状況を表すだけでなく、空間を表現したり、空気や温度を感じさせたりするなど、架空の世界にリアリティをもたらすはたらきがある。

近年では、コンピューターが導入され、手描きでは不可能だった背景画の大きな修正や原版を保存した上でのアレンジが自在にできるほか、背景画のタッチを損なわずに空間・立体を正確に表現することも困難ではなくなった。かつては手描きの専売特許だった風合いや温かさも、描画ツールの飛躍的な進歩により、鉛筆のかすれや水彩画のにじみにさえ肉薄した表現を獲得しつつある。

短時間で低コストながら高密度の背景画制作を可能にしたことから、現在コンピューターはアニメーション制作会社にとって無くてはならないものとなっており、背景画をすべて手作業で描く作品は数えるほどになった。今や手描きの美術と言えば、一部の人々が持つ特殊技能を意味するのである。

日本のアニメーション美術の手法や役割はどのように生まれ、変わってきたのだろうか。セル・アニメーションを作り始めた出発点からスタジオジブリ作品へと続く美術の概念や描法の移り変わりを受け継がれてきたものを調べ、今日あるアニメーション美術を築き上げたプロセスと組成、および手描きのアニメーション美術の持つ意義について考察を行った。

1. アニメーション美術を描く手法

(a) 様式と描法

昨年の「アニメーションの色彩に関する調査研究」でも触れたが、日本のアニメーション作品のほとんどは、セルの時代から今まで、色面で立体的に描写された背景と、線で平面的に描かれたキャラクターという、異なる二種の絵画で構成されている。これらは本来調和しないもの同士である。作品によっては、背景を動画のような描画線を生かして描くことで動画と馴染み、一つの絵画として違和感なく見えるように出来ているものもあるが、例外的と言ってもいい。

また、現代のアニメーション作品を美術に注目して見た時、絵画的であることより写実性が追及されることが多く、非常に密度の高いきめ細かな描写が為されていることがわかる。これについては様々な理由が考えられるが、劇場の大スクリーン化と映像の高精細化が理由の一つに挙げられる。リマスターされたセルの時代の作品のブルーレイディスクを家庭用のテレビで見た時、動画セルと背景画の隙間が作る影まで映してしまっているのに気づくこともある^{註1}。

しかし、「漫画映画」と呼ばれたかつてのアニメーションの美術は、作品ごとに新しいデザインと描き方が施された絵画であった。風景や建物は大胆にデフォルメ^{註2}され、その規則性で小道具も統一して描画された。今より密度こそないが、キャラクターの背後に存在するものという消極的なものではないものも多かったのである。

(a)-1. 日本のアニメーション美術のはじまり

今日ある水彩画で美術を描く従来のスタイルは、1956年に誕生した東映動画がわが国特有のアニメーション美術を確立したことが大きい。ディズニーをはじめとする欧米のアニメーション美術は製図台に似た傾きのある画板の上で絵を描かれたが、これに対して芸大・美大の日本画科出身者が多く採用された東映動画の美術は、画用紙をパネル、あるいは平らな画机に直接水張りして、平置きの状態のまま地塗りを施してベースとなる大まかな色調と明暗を置き、細部を書き込んで完成させた。この方式は、手順としては日本画そのものである。東映動画の美術が、初期のディズニーの長編作品の美術よりも平面的かつ絵画的であったのは、日本画の描法が基盤になっていたことと無関係ではなさそうである。東映動画以降、これが日本のアニメーション美術の独自の方式として継承されていく。

また、前回の調査研究でアニメーションの大半は、セルの時代から現在に至るまで、立体的な背景と平面的なキャラクターという異なる素材を、動画に適切な配色を施して可能な限り一つの絵として完成させるのが仕上であることにも触れた。

しかし黎明期に色彩の設計を行っていたのは美術だった。東映動画では当初、美術監督は回り持ちで色彩設計を担った。色彩は段階的に仕上スタッフが担う機能としてシフトしていき、その後保田道世氏、小山明子氏らのような最初の色彩のプロフェッショナルを生み出すのである。

(a)-2. 画材と描画方法

日本のアニメーション美術では画材にポスターカラーという不透明水彩を主体として用いる。この絵具は上から載せた色が下の色をほぼ見えなくすることができ、特性としては油絵具やガッシュに近い。よって色を幾度も塗り重ねて色面を作り出す透明水彩とは全く違う機能を持つことを意識して使わなければならないが、少ない筆使いでもしっかりした色面で描くことが可能であり、立体・空間の表現や質感、重厚感の描写にも向いている。

一方で、日本画的手法も生きている。描きはじめに地塗りでベースとなる中間色を置き、そこに明るい色と暗い色を描き足すことで、絵全体の色調の統一感を持たせるのと同時に、作業の効率化を図ることができる。また、地塗りの絵具のにじみやかすれを用いて、それらをマチエール^{注3}として生かしつつ、薄く色付けしてそのまま仕上げることもある。

日本画がこうした少量の絵具で描くスタイルを併せ持つのは、その一部に水墨画を取り入れているからである。



図1. 松林図屏風 右隻 長谷川等伯（安土桃山時代 紙本墨画 六曲一双 東京国立博物館 国宝）^{注4}

水墨画とは、中国の唐の時代に生まれた墨で描かれる絵の様式で、墨を線だけでなく、色面としても利用し、ぼかしで濃淡や明暗も表現することが特徴であるが、古くから日本画家^{注5}が表現技法と

して模索を行うこともあり、日本画との関わりは深い。スタジオジブリ作品でも活躍している男鹿和雄氏は水墨画を理想の一つとしていて、同氏の背景画にはこうした表現が随所に見られ、大きな特色となっている。

2. 日本のアニメーション美術の特徴

様式や技法の他にも日本のアニメーション美術を特徴づけているものがある。

(a) 写実とデザイン

舞台美術とは対照的に、アニメーション美術の大半は写実的に描かれる。デザイン性の強いものもあるが、動画と同じデザインとタッチで描かれた美術は少数である。画風や技法は作品によって、あるいは演出によって変わるものであるが、テレビアニメーションの現場では時間も予算も限られているため、別の作品と大きな差異が見られない背景画も多く、また年代によって似た傾向を持っている。

(b) パンフォーカス

ほとんどの場合、手前にも奥にもすべての人や物、背景にピントが合っている。実写で言うところのパンフォーカスだが、日本のアニメーションはカメラワークに伴う背景画の適切な速度の移動により、空間の広がりや手前と奥を行き来できるような立体的な構造を表現することも可能である。

(c) 作品の質を決める

“画面の7割を占める”とも言われるアニメーション美術は、作品のクオリティの決め手として見られることが多い。高解像度で上映・放送が行われる現在では、観る人は一瞬の映像でも細部まで鑑賞することが可能であるため、どのように描くかは重要度が増す一方である。

(d) 作品の中のはたらきの多様化

アニメーション美術は単に登場人物の背後を埋めるものから、次第に絵画として完成の度合いを高めながら、空間の広がりや立体感を持ち、その中を人物が自由に出入りできるようになった。それから徐々に、光の強弱や方向で時間帯や季節を示して状況を正しく伝えるものになり、時代性や地域性、さらには登場人物の心象風景をも表現するものとなっていく。

3. 初期の日本のアニメーション美術

(a) 書割的手法

日本でアニメーション制作がスタートした時、美術で表現したことというのは演劇でいうところの舞台装置、つまり書割と背景画で表現されたシンプルな空間であり、作品世界を示す象徴であった。特色としては、平面的に描かれていて立体をあまり感じさせず、簡潔に色面で描かれ、記号的な描画によるデザイン重視のものが大多数だった。

それが、政岡憲三、瀬尾光世らの作品が出現したことで、アニメーション表現は飛躍的に発展する。

政岡憲三は1943年に日本初のフルセルアニメーション作品「くももちゅうりっぷ」を制作。オペレッタ作品としても知られるこの短編映画の美術は、木の枝が立体的に描かれて空間を作ったり、バラの葉が陽の光を受けて虫のシルエットを映し出したりしながら、その上を虫たちが細やかな動画で音楽に合わせ歌い踊った。部分的には写真や動画セルを重ね、ピントを僅かずつぼかすことによって手前や奥にあるという位置関係を示したり、対象の物理的な大きさ（または小ささ）とカメラとの距離を表現したりした。

また、瀬尾光世は、ディズニーの「白雪姫」(1937 年)のマルチプレーン技術^{註6}による奥行きのある映像表現に衝撃を受けて撮影台を自作し、政岡と共に制作した「桃太郎 海の神兵」(1945 年)でセルに描いた背景面を何層も重ねて動かすことによって背景の深い奥行きと広がりを実現した。特に飛行シーンの雲海は機内にいる落下傘部隊の兵士たちの視点で描かれ、上空の広大な空間を高速で移動する臨場感を観客に味わわせた。ピントの合わせに拠らず、背景で幾つもの物体がそれぞれの速度や向きで動く多層構造が実現したのである。

しかし、当時のアニメーション制作の組織はまだごく小さいもので、今で言う研究室やアニメーション作家ともいえるべき規模であったため、資金が少ない上に技術も道半ばであり、スタッフの創意工夫とマンパワーが作品の質を支えていたと断言できる。

(b) 東映動画

(b)-1. 設立から 60 年代後半まで

東映動画株式会社は 1956 年、母体であった日動映画のノウハウに加え、長編作品「白蛇伝」の制作のため直ちに稼働すべく急ピッチで作られた巨大なアニメーション工房である。政岡、瀬尾の時代から見ると、美術は絵画として完成されたスタイルを持ち、背景はより緻密に描き込まれるようになる。空間表現や動画との調和という意味合いにおいてはまだ途上にありつつも、背景の上にキャラクターが載っているだけでなく、セルクミを用いた動画と背景の組み合わせも巧みになり、ブックを用いてより正確で複雑な構造を作り出すようになった。また、美術は美術監督がスタッフの描いた絵に修正を施してイメージの統一を行うのと同時に、この頃すでに準備段階で美術ボードを描くことで物語の世界を細部にわたってデザインし、画面全体の印象を一枚の絵として表現するシステムが確立している。誰が始めたという記録もないことから、1957 年にスタッフがディズニースタジオを視察したことにより、制作工程自体が導入されたらしいことが見て取れる。

だが総人数 500 人を超える大所帯では、動画、美術、仕上げ、撮影、演出らメインスタッフはお互いの仕事をよく理解していなかったらしい。人によっては他の部署の部屋を訪れたことが無い、あるいは他の部門のスタッフとおおよそ話もしたことが無いなどという証言もあり、1961 年に労働組合が結成されて異なる部門の人同士が盛んにコミュニケーションを取り始めるまでは、各々の部の事情でやり方を考え、ごくシステマティックに制作が行われていたというのが実情だったようである^{註7}。ディズニーは「白雪姫」制作時に、作業の分業機械化を徹底することによって能率を高めたが、東映動画は良くも悪くもディズニーに倣っていたと見るべきであろう^{註8}。

(b)-2. 「太陽の王子 ホルスの大冒険」

初期の代表作の一つに高畑勲監督の「太陽の王子 ホルスの大冒険」(1964 年)があるが、この作品の制作はすべてのスタッフにとってかつてない変化をもたらすことになった。「わんぱく王子の大蛇退治」から少しずつ始まっていたことだが、「ホルス」の制作ではセクションの垣根を越えて誰もがアイディアを出し合い、ボードを描き、良ければチャンスを与えられるなど、各部各人の担務について大幅な見直しと置き換えが行われたのである。

「ホルス」でイメージボードと呼ばれる鉛筆と水彩のスケッチを大量に描き、作品の創造性を支えたのが宮崎駿氏である。新人とは思えない宮崎氏の画力とイメージネーション、そしてエネルギーがあれば、「ホルス」は全く別の映画になっていたに違いない。制作に入った時、入社仕立ての動画マ

ンに過ぎなかった宮崎氏が抜擢されたのは、登場人物や舞台、物語について誰でもアイディアを壁に貼り付けて良いというシステムが導入されていたことと、それらを柔軟に作品に取り入れることを良しとしたのが高畑監督であったからに他ならないが、元々イメージボードは美術の仕事であった。合理的とはいえ、この組織構造のシフトは美術スタッフには厳しい判断であったろう。だが宮崎氏はイメージボードだけでなくレイアウトも数多く描き、構図だけでなく絵のタッチやフォルムまで背景面に色濃く反映され、美術全体の印象も形成している。

「東洋のディズニー」を目標に掲げて船出した東映動画だったが、1971 年から始まった激しいリストラを境にテレビシリーズ制作へとシフトしていき、劇場長編が中心ではなくなっていく。

4. ディズニーの写実主義と高度な空間・立体表現

日本のアニメーション美術の成り立ちを知る上で避けては通れないのがディズニー映画による影響である。大戦前～後にかけて、米国に誕生したアニメーション制作集団、特にディズニーの美術は、絵画として優れたものでありながら立体的で写実的な背景を描くと同時に、空間の構造を高度で複雑なものにしていた。

(a) 理想としたディズニー作品

日本では戦後、海外のアニメーション作品が観られるようになり、特にディズニー映画を意識した様式美と、リアリティとを併せ持つ美術が生まれる。東映動画が完成した新社屋に移った 1957 年、赤川孝一プロデューサーと藪下泰司監督は渡米してディズニーをはじめとする 16 ものプロダクションで視察を行った。^{注9} 彼らは現場と実物資料を見ることができたが、制作に必要な素材・画材については独自に調べて選定し、またはセル絵具のように新たに開発しなければならなかった。

背景画には主に不透明水彩であるポスターカラーが用いられた^{注10}。描画法は西洋絵画のように隙間なく塗りこめ、日本画で紙の地の色を白として用いる、いわゆる紙白^{かみしろ}を利用しないものであった。

東映動画の劇場長編は日本やアジアを舞台にした古典的作品がしばらく続く。これは「西遊記」（1960 年）の演出の白川大作が後年「ディズニーが圧倒的に強かった時代なんですよ。下手に自分達が西洋物をやったって、上手くいくはずがないと思われるわけだね」^{注11} と話したことからもわかるが、ディズニーを常に意識して先達に多くを学びつつも、日本人の持つ文化や特質、技法を生かした物作りを目指していたと考えられる。その後、東洋的で古典的なテーマから徐々に脱却して、西欧が舞台になったり、時代が現代になったりしていく。例えば「ガリバーの宇宙旅行」（1965 年）の美術は、シーンによって画風自体を変えて、実験的に透明水彩の透かしや滲み、切り絵やペン画のようなタッチなど技法を混合して描いている。この作品は当時全世界的に起こっていたカウンターカルチャーを発端とするアートやグラフィックデザインのムーヴメントが作用していたと見られ、他の作品とは違う美術的創作と時代性を持っていると言える。

(a)-1. ディズニー初期の長編作品の美術

「白雪姫」（1937 年）、「ピノキオ」（1940 年）、「ファンタジア」（1940 年）、「ダンボ」（1941 年）、「バンビ」（1942 年）など、これら初期の作品群において、アニメーターが描き出したキャラクターの芝居の素晴らしさは言うまでもないが、美術もすでにかかなりの表現力に達しており、それぞれの様式、画風によって作品の世界を美しく作り上げている。

繊細で写実的な描写は、自然現象や季節、時間帯を表現した。また、マルチプレーンを活用して幾

重にも描き分けた背景画は空間の広がりのみならず、街並みや森の木々などの複雑な位置関係を伝えることができた。そして油画のような精緻な筆遣いによって金属製・ガラス製・木製・陶器など物の質感、量感も正確に描き分けた。アメリカの大学や専門学校の美術科の水準の高さが窺い知れるが、その徹底した統一感からスタッフがこなしたであろう膨大な仕事量もまた想像される。

(b) メアリー・ブレアとコンセプトアート

ところが、当時これらの作品は興行的には失敗した。伝記作家ニール・ゲイブラーによれば、作品ごとに新たな表現に挑んで世間を賑わせていたディズニーも、「バンビ」公開時には人々の目に古びた表現として映るようになっており、人気に翳りが見えていたのである。ウォルト自身はそれを第二次世界大戦中であることを強調したが、戦後もディズニー社の経営危機は続き、負債は400万ドルを超えていたため、長編作品の制作から一旦手を引かざるを得なくなった^{註12}。

おそらくウォルト・ディズニーによって美術の要職にメアリー・ブレアが抜擢されることが無ければ、「シンデレラ」(1950年)は今日あるあの映画にはならなかったであろう。それまで築き上げられたアニメーターの力に加え、“カラー・アンド・スタイリング”を担当したブレアによる新しい概念の美術が功を奏したのである。ブレアが描いたコンセプトアートを見ると、色彩だけでなく、狭苦しい屋根裏部屋、壮麗な宮殿、夜の闇を疾走するかぼちゃの馬車に至るまで様々なイメージを作り上げ、それまで写実に偏りがちだった美術をスタイリッシュで印象的なものに一変させている。

「シンデレラ」は起死回生のヒットとなり、ブレアは「不思議の国のアリス」(1951年)、「ピーターパン」(1952年)と続けて参加して類稀なセンスを大いに発揮した。

準備期間で多数のイメージ画を描き、デザインを重ねて本編の制作に入るこの方式は、その後ディズニー作品に無くてはならない工程となる。ブレアの登場は、映画においてまず動画と美術を分けて全体を描き出すことの重要性をあらためて認識させたと言っていい。東映動画のスタッフがディズニーを視察した時、この工程は定着しており、作品の制作に入る前にまず美術が全体をデザインすべきという発想になったことが考えられる。



図2. ブレアによるコンセプトアート^{註13}



図3. 「シンデレラ」本編^{註14}

図2と図3を見比べると、ブレアの絵は美術の参考になっているといった程度のもではなく、スタッフがブレアの絵の印象を可能な限り本編に投影しようとしていたことが見て取れる。ブレアのコンセプトアートは今でもディズニーのデザイナーたちに絶大な影響を与えており、尊敬するアーティストとしてブレアの名を挙げる人も多い。

5. 様式の多様化と心理表現

日本のアニメーション美術は大きく考えれば2派に分けることができる。東映動画の流れを汲む美術と、小林プロダクションの流れを汲む美術である。東映動画は当初、ディズニーのリアルな美術を目標にして発展してきたため、どの作品においても余白を残すことを良しとせず、きっちりと描き込む絵を主流としていた。このため、作品ごとに新しい表現を目指しながらも、完全な自由ではなかったと言える。東映動画から引き抜きによって作られた虫プロダクションやタツノコプロ、また虫プロから独立して設立されたサンライズ、マッドハウスもこの系統である。

一方、小林プロは絵のポイントを絞って効率を上げることを推奨し、作品ごとに動画を含む全体の印象を考え、簡略化や余白の利用も可能とした。この柔軟な姿勢が制作会社や演出家も受け入れやすかったものと思われる。主流によって描き方がコントロールされた東映動画とは対照的と言える。

(a) 小林七郎

美術監督それぞれの持ち味があるが、絵画的な迫及というテーマにおいて小林七郎氏の存在を抜きに語ることはできない。小林氏は東映動画を出て 1968 年に小林プロダクションを設立するが、そこから巣立った数多くの美術監督が日本のアニメーション美術の一翼を担うことになった。大野広司（スタジオ風雅、以下敬称略）、石垣努（石垣プロダクション）、柴田聡（スタジオフォレスト）、秋山健太郎（studio Pablo）、水谷利春（ムーンフラワー）、小倉宏昌（小倉工房）、中村豪希（スタジオ心）、木村真二、青木勝志など枚挙に暇がない。また、美術を志す人たちのために『アニメーション美術』を出版し、基礎から応用までをまとめた唯一とも言える指南書になったことから、小林プロを学校に、小林氏を先生に準えて話す人も多い。

主にテレビシリーズの現場で活躍した同氏の美術の特性は、良い作品にするために飽かず発想し、妥協することなく絵画を追及することである。それは時間や予算が少ないなど、限定された条件下においても遺憾無く発揮された。「ど根性ガエル」のようにギャグ漫画が原作の時には、舞台である下町の情景を簡略化することにより、作品の世界が伝わりやすくなっているのと同時に、美術スタッフが描きやすい密度と画風になっている。街並みから小物まで軽やかなリズムで愛らしく描かれ、昭和という時代の市井の人々の暮らしを直に知らない人々にも懐かしく迫ってくる背景画となっている。



図 4. 「ガンバの冒険」 注 15

(a)-1. 「ガンバの冒険」(1974 年、東京ムービー)

また、「ガンバの冒険」では、ネズミの主観で見た世界を独特なタッチと色彩で描いた。人が暮ら

す都市は序盤だけで、あとは密航した船や廃墟と化した軍艦（図4）、住処にした森と洞窟、火山島のゴツゴツした岩肌、そして大海原であり、単調な配色になりがちな舞台を、小林氏は様々な色を使って豊かに表現し、主人公たちの冒険と宿敵との長い壮絶な戦いを彩っている。状況によって図4のようにビビッドな配色とポスト印象派のような筆致で、積極果敢な絵画的描写も行い、作品のイメージをより一層力強くした。

男鹿和雄氏も小林プロの門下生の一人であるが、見せるべきポイントは強調してしっかり描き、目の届かない部分は省略してすっきり描く、いわゆる“整理された無駄のない絵”の描き方を学んでおり、水墨画的な手法と共に同氏の大きな特徴となっている。

(b) 井岡雅宏

テレビシリーズ「名作劇場」の代表的作品「アルプスの少女ハイジ」と「赤毛のアン」は高畑勲氏が演出を務めた作品であるが、この2作品の美術はいずれも井岡雅宏氏によるものである。井岡氏は東映動画に約5年間在籍した後、美術監督としてテレビシリーズの現場に身を置いたので、画風はどちらかといえば東映動画の一派であると言える。「太陽の王子ホルスの大冒険」にも参加しているが、この頃から同氏の技術はすでに卓越しており、上手さや速さだけでなく、一度に複数枚の背景画を描き上げたり、両手に筆を持って描くなどの超絶技巧の持ち主だったという証言もある。

(b)-1. 「アルプスの少女ハイジ」（1974年、ズイヨー映像）

スポ根やロボットアニメ全盛の時代に、日常芝居をまともに描こうという困難な課題に取り組んだテレビアニメーション「アルプスの少女ハイジ」で、人物の演技を描き切ったアニメーター達の力量と共に高く評価されているのは井岡氏の美術である。「ハイジ」の美術で描くべきものは多数あり、そのどれもが非常に扱いにくい要素だった。海外が舞台であり、時代は約90年前（当時）、広大な空間と澄み切った空気、そして四季、時間帯によって多様に変化する色彩である。演出の高畑勲氏、場面設計・画面構成を担った宮崎駿氏、キャラクターデザイン・作画監督の小田部羊一氏らメインスタッフはこれらの課題を克服すべく、テレビシリーズには珍しいロケーション・ハンティングを敢行した。その結果、「ハイジ」は豊富なディテールでスイス山岳地帯の生活をありありと描き出して見せることになった。だが、井岡氏は途切れのない仕事で都合がつかずロケハンに行っていない。ハイジの背景の完成には高畑氏と宮崎氏との連携が無くてはならなかった。

この作品の美術を特徴づけているのは、強調された輪郭線である。場面設定と画面構成を担当した宮崎氏が全編にわたってレイアウトを描いており、演出の高畑氏がそのレイアウトを描線と共に強く反映させたかったからだが、背景において描線をどのように受容するかは本来は美術の領分であるはずであり、美術スタッフとしては自身の得意とする画風や持ち味に抵触しかねない難題である。井岡氏は通常背景画を描く際、油絵のように厚めの絵具でしっかりと塗り重ね、対象を色面で描く人で、鉛筆の線を絵の構成要素として好んで用いる人ではなかったのだが、同氏はこの条件を呑むのである。

しかし「ハイジ」で描かれた背景は紛れもなく作品に欠くことのできない魅力となった。この作品で美術に課せられた命題は、空間の大きさと空気の透明感を描くと同時に、山から遠く離れ都市での生活を余儀なくされたハイジが懐かしんで余りある美しい自然の表現だが、井岡氏が苦心しながら描いたアルプスの山々は優美で圧倒的なスケールであった。さらに山は晴天だけでなく、雷雨や濃霧、雪などで劇的に姿を変えたり、あるいは沈みゆく夕陽の高さによって色彩が刻々と移ろったり、今以

て脳裏に焼き付くほどの素晴らしい美術表現の数々を結実させている。



図 5. 「アルプスの少女ハイジ」^{注16}

数多くのアニメーション美術の画集を編集し、「井岡雅宏画集」も監修した野崎透氏によれば、井岡氏の技術は特筆すべきものであったと同時に、視聴者にとってのアニメーション美術の存在がこの時を境に一変したという。「ハイジ」では、動画が劇場長編並みの膨大な動画枚数で迫真の芝居を描いたのと同時に、美術そのものの力が観る人を突き動かし、舞台に臨場感をもたせ、一層物語の中へと没入させた。またその結果、モデルとなった舞台をこの目で見たいと日本人のみならず世界中の多くのファンがスイスのマイエンフェルトを訪れることになった。今日でこそ珍しくないアニメの聖地巡礼がまだ存在もしていない当時、他より多めだったとはいえ、限られた予算と時間で制作されたテレビアニメーションがそのような力を持つなどおよそ考えられないことであった。

(b)-2. 「赤毛のアン」(1979年、日本アニメーション)

高畑勲監督が後に井岡氏の代表作の一つと書いた通り、「赤毛のアン」は技術的、絵画的な達成であり、テレビアニメーションの美術に新たな光が差した作品だった。色彩設計の保田道世氏に決定的な影響を与えたことでも知られるが、井岡氏の美術は光と陰ではなく、色の構成で描いた。陰に黒を用いず、グリーンを用いることで透明感を出すことや、色を組み合わせることでそこに描かれていない色を呼び起こす錯覚を利用するなどの研究もしており、この方法を学んだ保田氏は後に自身が色彩設計を務めた作品で大いに活用している。

また、「赤毛のアン」で達成したことには、アンという夢見る少女から見た風景を描くものであったということも外すことができない。井岡氏は「ハイジ」の時と同様に、別の作品に参加していて「赤毛のアン」のロケハンに行っていない。井岡氏はプリンスエドワード島に気候が似ている自身の故郷の北海道のように描いたというが、同作の背景は、筆跡が残るほど荒々しく、陰にまで色彩が溢れながら、季節や時間帯、植生といった状況を描くことを超えて、そこにいる人物の心情まで伝わってくるものであった。しかも意欲的で実験的なものでありつつ、アニメーション美術の役割を少しも逸脱していない。高畑監督は「その出来栄えに驚嘆」し、「随所にいい絵があって見惚れてしまい、そこで大気を呼吸したくなるほどだった」と絶賛している^{注17}。野崎氏が指摘するように、背景美術において最も大切なのはどのように描くかである。それを人一倍考え、追求していた井岡氏の早逝は、高畑氏や宮崎氏らにとっても、日本のアニメーション界全体にとっても大き過ぎる打撃であった。



図 6. 「赤毛のアン」 注 18

東映動画以降の美術監督

(c) 棕尾篁

棕尾篁氏は劇場版「銀河鉄道 999」（1979 年、東映動画）や「幻魔大戦」（1983 年、角川映画 マッドハウス）などの SF 作品で宇宙空間や未来の都市を描き、名を馳せた人である。「銀河鉄道 999」を挟んで 2 度、高畑勲監督作品に参加している。その「母をたずねて三千里」と「セロ弾きのゴーシュ」も高畑監督のフィルモグラフィにおいて無しには語れない代表作である。

(c)-1. 「母をたずねて三千里」（1976 年、日本アニメーション）

原作「クオレ」の中で語られるごく短い挿話を、高畑勲監督と脚本の深沢一夫氏の創作により数々の個性豊かなキャラクターを登場させ、壮大なスケールの物語として描かれた「母をたずねて三千里」では、棕尾篁氏が美術監督を務めた。この時のロケハンには棕尾氏も同行し、イタリアとアルゼンチンへ赴いて得た鮮烈なイメージそのままに描かれている。地中海沿岸の強い陽射しにより光と影の強力な明暗比で切り取られたイタリアの市街と、アルゼンチンの何も無くどこまでも続く荒涼とした冬のパンパ、この対照的な二つの風土を描くことは、「三千里」を映像化するのに不可欠であった。



図 7. 「母をたずねて三千里」 注 19

(c)-2. 「セロ弾きのゴーシュ」（1981 年、オープロダクション）

自主制作である「セロ弾きのゴーシュ」は、期限が無い代わりに質の高さを必要とする作品であり、棕尾氏によると美術をやらないかという話をもらった際、大変だと思ったそうである注 20。高畑監督

の要望は「時代性と日本特有の雰囲気」だったため、椋尾氏は淡彩で水墨画的に描くことを決めるのだが、油絵科出身であり、対象を簡潔に描いたことがあまり無かった同氏にとって大いなる挑戦であった。作品を見ると、美術は鉛筆のアウトラインがなく、水彩の線と色面のみによって構成されており、自然や家屋、室内と小道具を描き出した独特なタッチは、才田俊次氏が作画したキャラクターの柔らかい描線に非常によくマッチしている。月明りに照らされた夜の背景は、描き込みを控えながらも、ひと昔前の日本の夏の空気の湿り気や、樹木や草花が勢いよく繁茂している様子、そして電灯も少なく暗かった時代の静けさをも感じさせ、主人公が奏でるチェロが響き渡るようである。場面場面で、淡彩画が持つ特性を存分に発揮した絵画であるのと同時に、無くてはならない多くの役割を成し遂げた稀有なアニメーション美術となっている。

同氏は惜しくも 1992 年に夭折したが、他のセクションに比べると目立たなかった美術が脚光を浴びるきっかけを作った一人であり、今もファンから“光と影と質感の詩人”と呼ばれ慕われている。

(d) 山本二三

美術監督となった最初の作品「未来少年コナン」で、宮崎駿監督と色彩設計の保田道世氏と組むことになった山本二三氏は、それから度々二人と関わりを持ち、スタジオジブリ作品でも活躍している。同氏の特色は繊細で粘り強い筆使いと、それによってもたらされる光や質感、空間の広がり、スケールの表現である。高畑勲監督作品では「じゃりン子チエ」「火垂るの墓」で美術監督を務めており、それぞれ作品に相応しい画風と高い密度で背景美術を作り上げた。

(d)-1. 「未来少年コナン」(1978 年、日本アニメーション)

山本氏だけでなく、宮崎監督が初演出、保田氏も事実上初の色彩設計という初物尽くしだった作品である。厳しいスケジュールで大変な作業量になったが、皆やる気に満ち溢れ、失敗もしながら得るものも多かったことは保田氏がインタビューの中で語っている^{注 21}。全 26 話の中で、山本氏は、最終戦争による世界の「大変動」で滅んだ前時代の文明の残骸や、支配階級によって階層化された居住区を持つ都市、破壊を免れ豊かな生活が残る島、南洋のうっそうとしたジャングル、市街や船が沈む海底など実に様々な舞台を描いた。また、最終戦争で使用された巨大な爆撃機「ギガント」を、ハーモニーと呼ばれる技法で金属製の機械の材質やスケール、量感を表現し、宮崎監督の作品の最大の特徴の一つを確立させた。ハーモニーについては 6. の項で解説する。

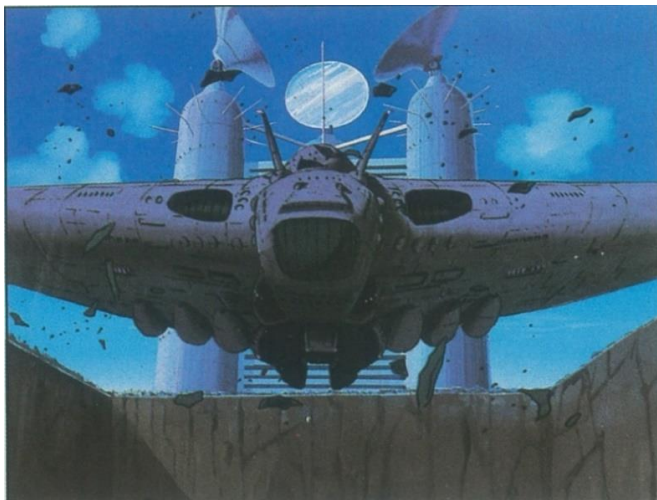


図 8. 「未来少年コナン」^{注 22}

(d)-2. 「天空の城ラピュタ」(1986 年、スタジオジブリ)

宮崎監督オリジナルの物語で、舞台は産業革命期のヨーロッパ、とくにイギリスをモデルにした架空の世界である。野崎俊郎氏と山本氏が共に美術監督を務めたが、プロデューサーを務めた高畑監督によると、この時の美術は当時最強の布陣だったという^{註 23}。山本氏は「二三雲」とも呼ばれる躍動的な雲の描き方により、「天空の城ラピュタ」に奥行きのある空とラピュタ城の広大さを際立たせ、「コナン」で培った表現を深く掘り下げた。また、山本氏は高屋法子氏と共同でハーモニーによってロボット兵を描き、金属でも粘土でもない不思議な質感を出すことに成功している。

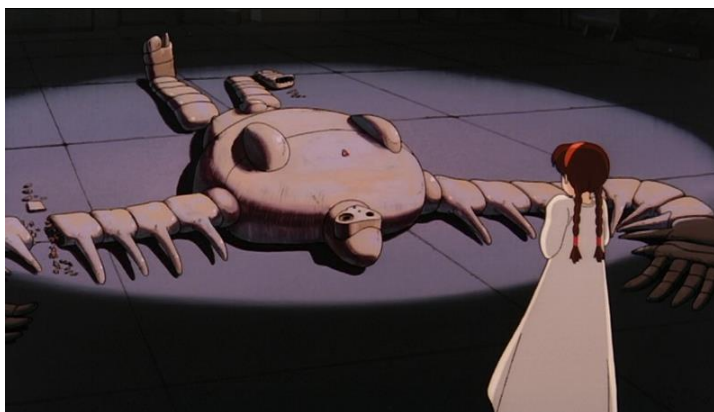


図 9. 「天空の城ラピュタ」ロボット兵

6. スタジオジブリの美術

スタジオジブリでは主に高畑勲・宮崎駿両監督の作品を制作してきたが、美術の果たしてきた役割はそれぞれ違う。

(a) 高畑勲監督作品

高畑勲監督にとってアニメーション美術は、先に述べた「アルプスの少女ハイジ」や「母をたずねて三千里」、「赤毛のアン」での美術が基盤になっていることは言うまでもない。しかしそれは同時に、美術の成すべき機能の大きさを示すものであり、美術スタッフが相当の画力を持ち、妥協の無い絵画への追及をすべての場面で求められることもまた意味していた。

高畑監督は十分な制作期間を取り、入念な取材と緻密な設計をする。原作が存在する際にも、忠実な部分と自身の創作が混在し、そのまま映像化するのとは異なる。また映画の他に、絵画、音楽、文学などにも造詣が深く、作品に多々取り入れられるなどの特徴が挙げられる。

(a)-1. 「おもひでぽろぽろ」(1991 年)

美術監督は男鹿和雄氏である。“思い出編”では、原作の白っぽい印象と、記憶の底にあるようなどこかおぼろげな感じを描き出すため、背景を白っぽい淡彩画で描くことが選ばれている。

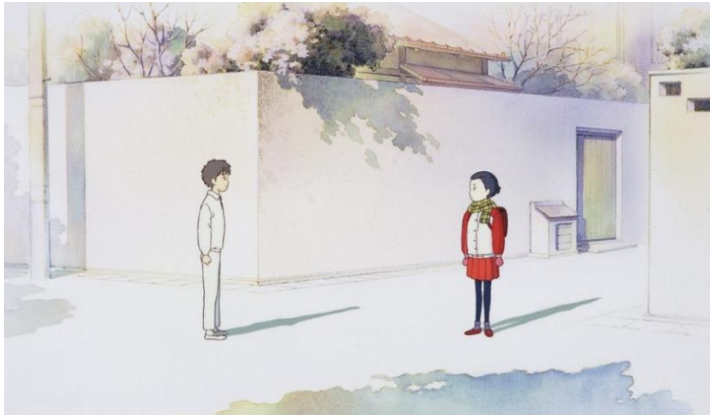


図 10. 「おもひでぽろぽろ」 “思い出編”

また、原作にはない“山形編”では準備に当たって、高畑監督は演出、作画、美術の総勢 10 名以上のメインスタッフと共に大規模なロケハンを取行、山形県の農家まで紅花摘みに行った。実際に体験したことで、朝露の冷たさや朝日の暖かさ、写真では伝わらない空間や距離感を掴み、霧がかかるなどのように変化するかも観察することとなった。かつてない密度をもって描かれた美術は、厳しい日本の農業の現実も描いた後半で、物語に更なる説得力をもたらすことになった。



図 11. 「おもひでぽろぽろ」 “山形編”

“山形編”の美術は高い評価を得たが、男鹿氏自身はその時を振り返り、「必要以上に描き過ぎるようになったんです。リアルということを勘違いしていたんでしょうね。細かく描けばリアルになる訳でもないのに、いかにも有りそうな状況を再現できたらそれでいんですよ」^{註 24} という後悔を口にしている。男鹿氏にとって、アニメーション美術はあくまで絵画であり、写真と差し替えが可能なものでは決してないのである。

(a)-2. 「平成狸合戦ぽんぽこ」(1994 年)

男鹿氏はこの作品で自身がよく知る多摩丘陵を強い思い入れを持って描いている。野山や木々は要所できちんと描き込まれつつ、程よく空間が抜ける場所もあって、日本人に親しみのある風景画になっている。主人公である狸たちは背景によく馴染んで、転がって遊ぶシーンはいかにも心地良さそうである。だが、画集で背景画のみを見た時、一枚の絵画としても完成されたものであることに気づく。「おもひでぽろぽろ」の時と異なり、男鹿氏が絵画として追求し、にじみやかすれ、筆跡の勢いが残っている。しかしそれでいて、男鹿氏の背景画は過度な主張をすることなく、慎ましく穏やかで、物語の進行を妨げることがない。



図 12. 「平成狸合戦ぽんぽこ」

高畑監督が「狸という非常に地味な、枯れた草に紛れ込んでしまうような生き物ですよね、そういう生き物がいるところに相応しい、茅葺の屋根、鐘楼とか、狸が持っている同じような気分が必要なわけですね—中略—タブローとして、または現実そっくりに描いて『これが俺の世界だ、すごいだろう！』というのではない、里山のように現実にある魅力的なものを媒介する人として素敵な力を持っている人だと思います」と評した通り^{註25}、アニメーション美術の役割に徹しているのである。

(a)-3. 「かぐや姫の物語」(2013 年)

全編に亘り、どの場面を取って見ても動画と美術とが一枚の絵を成しているように描かれたのがこの作品である。美術を務めた男鹿氏は高畑監督の求めにより、線を潰さないように透明水彩を用いて、可能な限り削ぎ落とされた筆使いで背景画を描かなければならなかった。それを追求していく中で、男鹿氏は「自然な余白を残すように描いた、浅すぎず軽すぎない“あっさり感”のある背景」へとたどり着く^{註26}。



図 13. 「かぐや姫の物語」

この場面でも、筆使いはほぼ一度か二度載せたきりで描き出されているが、ヒロインに掛けられた布団と床材の竹や藁藎が上手くマッチしていてほとんど違和感がない。こね鉢は使い込まれて艶があり、奥の竈は乾いた硬い土の材質に見えるなど、個々のモチーフを表現しており、光が当たっている部分はほぼ紙白である。

【補足】川合玉堂の墨画的表現

男鹿氏が理想とする画家の一人に、川合玉堂がいる。墨画的な絵具の使い方、描写のほかに、紙白を色面の一つとして多く使った^{註27}。



図 14. 川合玉堂「吹雪」(1950 年 紙本着色) 注 28

この作品は雪を支持体である和紙の地の色で表現している。下部に静かな佇まいで並ぶ家々、その上で雪煙を上げる屋根、奥で風に煽られて勢いよく枝を広げている木々、いずれも白い絵具で描くことなく雪を被っていることが描かれている。油絵で描くように上から絵具を重ねていくのと違い、始めから雪の部分进行を想定して描き進める必要があり、各所に絵具を載せずに描くことの難しさがあったことがわかる。

玉堂の絵は、必ずしも絵具を塗り重ねることが描くことを意味しないことを如実に伝えるものである。特に背景の森林のぼかしとかすれの表現は、大きな空間と雪の粒を孕んだ冷たい空気を感じさせ、手前で移動している小さな人物と馬の柔らかな描写に比してくっきりとしたコントラストになって荘厳でさえあるが、描き込みは驚くほど抑制されている。これは“調子”と呼ばれ、一つの色の強弱のみで対象が表現されているのである。また、玉堂は水墨画的な手法ばかりでなく、迫力のある水流や岩肌を線で表現した「行く春」などにも見られる通り、多種多様で卓越した技術を持った画家であり、男鹿氏が絵の理想とする要素をそこかしこに見出すことができる。

(b) 宮崎駿監督作品

宮崎監督はファンタジーを中心に制作する監督であり、作品の舞台は架空の国であったり、異界へと繋がる世界であったりして、美術にはかなりのイマジネーションが要求される。監督自身の家の近所で見つけたバス停や、スタッフの子どもなど、身近なところで出会ったものを元にして想像を具体化し、多数のイメージボードを描くことによってスタッフとイメージの共有を図る。また、監督はこれからの世代の子どものために何を作るべきかを考えており、夢を見るような冒険に誘って憧れを掻き立てる時あれば、魔界や戦火の中に入り込んで慄然とさせられることもあるが、皆どこか現実の社会と通じていて、結果的にそれらは「世界は常に美しいものを持っている」という密やかなメッセージに繋がっていることが多い。

(b)-1. 「となりのトトロ」(1988 年)

背景は全体的に緻密にしっかり描き込まれている印象があるが、屋外の奥のほうは滲んで空と溶け合っている箇所も少なくない。全体を隈なく描かなくても絵として成立しているのである。そこには

監督が「日本の優しい自然への恩返しとして作った」と語っている通り、温暖湿潤で植物の再生が速い、日本らしい空気と緑を見て取ることができる。男鹿氏は監督から「田園風景や草木や花によく目を向けて描いてほしい」というオーダーを受けて、木々や植物の種類、時間帯とその光線によって変化する風景の多様な表情を描き出した^{註 29}。終盤、迷子になったメイをサツキが探すシーンでは、時間が経過して夕方、日没、夜へと光と色彩が変化してゆく過程が背景によって描かれている。



図 15. 「となりのトトロ」

「となりのトトロ」のようにぼかしや滲みを利用して、湿度や雰囲気表現するものもある(図 15)。タッチを重ねてしっかり描き込まれている手前と、大胆にぼかされ空や大気と溶け合っている奥とが、立体を感じさせながら広い空間を生み出していることがわかる。

(b)-2. 「千と千尋の神隠し」(2001 年)

舞台は宮崎駿監督オリジナルの世界である。トンネルを抜けると不思議なほど青く澄んだ空が現れ、看板建築^{註 30}の飲食店街は歪んだ屋並びでけばけばしく彩られている。夜の闇が迫れば、無数の提灯、灯籠、橋の欄干などの強烈な赤が浮かび上がり、高くそびえる擬洋風^{註 31}の湯屋の内部は、立ち並ぶ鳥居のような柱と巨大な古伊万里の壺、湯婆婆の部屋の極彩色のインテリアなど、人の踏み込むべき場所でないことが一目瞭然である。この異界への適応を強いられるヒロインがどれほどの恐怖を感じたかが、嫌というほど伝わってくるだろう。

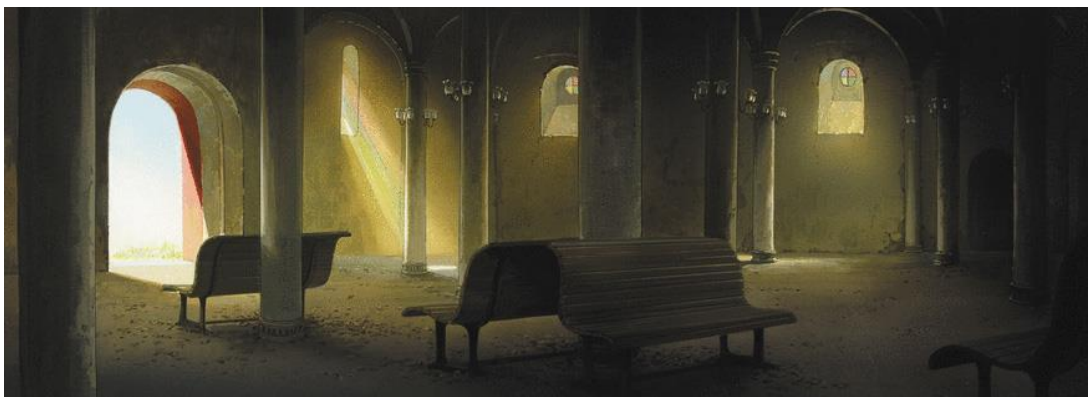


図 16. 「千と千尋の神隠し」

しかしよく見れば湯屋は格式張らない日本家屋であり、住み込みで働く奉公人達の大部屋、ガラス窓が張り巡らされた回り廊下など、どこか懐かしさを感じずにはいられない。美術監督の武重洋二氏は「On Your Mark」、「もののけ姫」でも、架空の世界の空間や建造物の重厚感を描いているが、同氏によると「千尋」は宮崎監督自身が「これまで見たり体験してきたことがいろいろ混ざり合って」出

来た世界であり、イメージの具体化が非常に難しい作品の一つとなった。

この作品でもう一つ注目すべきなのは構図である。建造物など上下に長い物体を構図に収め、なおかつそのスケールを感じさせるのは至難の業である。こうした場合は広角レンズで物を捉えて描くのが一般的で、絵の縁の方は線や形に歪みが生じるものである。

ところが、図 17 および図 18 のような絵を見た時、カメラであれば中心から遠ざかるほど物が歪んで見えるはずがそうはなっていない。監督によると、人間の水平・垂直・直線の感覚は鋭く、曲がって見えることには強い違和感を覚えるものであるため、可能な限り曲げず、歪ませずに描くのが望ましいという。これらの絵では上に行くに従って小さくなるように見えているが、実際は直線で構成された各部が少しずつ角度を変えて描かれているのである。このように映るレンズは現実には存在しないが、監督が言うところの「気分が合っている」ため、観ている人がその矛盾に気づくことはほとんどない。



図 17. 「千と千尋の神隠し」湯屋外観



図 18. 「千と千尋の神隠し」湯屋内部

例外的と言ってもいいのが「紅の豚」(1992 年) のコクピットである(図 19)。広角でないと操縦するポルコ・ロッソを含めた船内の様子が画面に入らないから用いたと思われるが、実写映画でもよく見られる操縦士の頭の後ろから描くのではなく、足元から見た構図にしたところが目新しい。実際このようにカメラを配置して機内と人物を構図に収めることは非常に困難で、思い描いたことをそのまま絵にできるアニメーションだからこそ可能な表現である。このカットは高屋法子氏のハーモニーによって描かれている。



図 19. 「紅の豚」

(b)-3. 「崖の上のポニョ」(2008 年)

宮崎駿監督作品の中で、「崖の上のポニョ」は最も絵画的で独創的な背景美術の一つである。



図 20. 「崖の上のポニョ」

「ポニョ」は海に穴が開き、破滅しかけた世界に少年と少女が立ち向かう物語であり、そこで起きるのは「風の谷のナウシカ」の大海嘯のように途方もない規模の恐ろしい現象である。主人公の周囲は現実そのもので、漁船が底引き網で猛然とゴミを掬い、幼稚園の傍のデイサービスでは車椅子の老人たちが静かに人生を終えようとしている。そこへ嵐がやってきて、町のほとんどを海に沈めていく。

しかし、美術監督の吉田昇氏はそれらをまるで小さい子どもが読む絵本のように描いた。背景は全編に亘って直線・直角が一切存在せず、極めて有機的で丸みのある造形が為された。滑り落ちそうな崖の上に立つ家はふっくらとして洋菓子のようなものである。逆説的とも言えるこの思い切った表現は、リアリズムで災害の悲惨さを描くより、無慈悲で残酷な面も併せ持つ世界の美しさをあらためて感じさせ、人の心に残るものであったと考えられる。

【補足】ハーモニーという表現

手描きのアニメーション美術において、また宮崎駿監督作品においても無くてはならない表現の一つとして、ハーモニーを取り上げておかなければならない。先に述べた山本二三氏が描いた「未来少年コナン」のギガントや「天空の城ラピュタ」のロボット兵がそれであり、その他はほぼ全て高屋法子氏が担当している。

「あしたのジョー」に見られるような絵画的な人物の静止画もハーモニーと呼ばれるが、それらは画用紙に描かれた背景画の輪郭を動画線で強調し、動画と調和させたもので、技法も目的も異なる。

宮崎監督の場合、ハーモニーはセルに転写した動画線に美術の描画を施すことを指し、セルに絵具を定着させるためポスターカラーとセル絵具を混合し、裏から描かれる。前者と区別するため、セル・ハーモニーと呼ばれることもある。その利点は、仕上によって彩色された動画セルと違って、背景のように情報量が多く、様々な質感や立体感、量感、細部の表現が可能になり、動きをつけることもできることである。宮崎監督は主に飛行機械などの動きを持つ物体の描写に活用してきた。前述の「天空の城ラピュタ」のロボット兵をはじめ、「風の谷のナウシカ」(1984 年)の王蟲、「紅の豚」(1992 年)のコクピット(図 18)や交戦前のイタリア、オーストリア両海軍の戦闘艇、「ハウルの動く城」(2004 年)の城、「風立ちぬ」(2013 年)のユンカース社製飛行機などがあり、ハーモニーを用いた対象が作品の中に占める存在の大きさを示している。コンピューター導入とセルの製造終了をきっかけにセル・ハーモニーは激減し、現在新規で制作される作品においてこの技法を使うことはほとんど無いが、デジタル表現としてのハーモニーは様々な形で描かれ続けている。

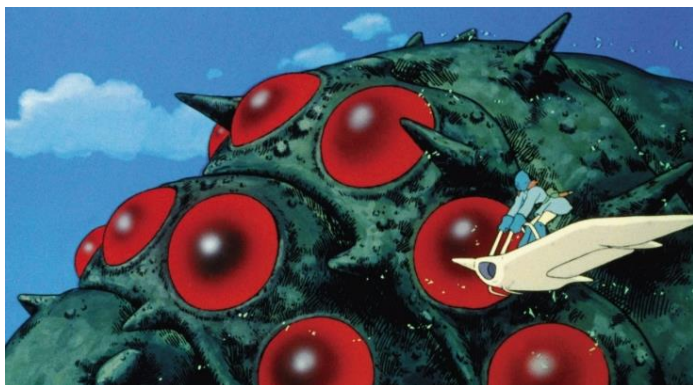


図 21. 「風の谷のナウシカ」



図 22. 「ハウルの動く城」



図 23. 「風立ちぬ」

7. 手描きの美術の現在

冒頭でも書いたが、コンピューターによる美術制作が可能になったことは、予算と時間両面で制作会社を助けた。映像媒体の発達によって、アニメーション美術にはますます写実的で、緻密になっていくことが求められ、絵画的で平面的なものはマイノリティになっていくようである。だがコンピューターは、まだ手描きの美術表現に完全にとって代わるほどに達していないことも事実である。

株式会社でほぎやらりー^{注32}はアナログで描き続けることを選択して2015年に誕生した背景美術スタジオであり、手描きの美術表現を追及し続けている^{注33}。「この世界の片隅に」(2016年)、「メアリと魔女の花」(2017年)、「未来のミライ」(2018年)など幾多の作品で美術監督や背景を務め、活躍のフィールドを広げていて、新人も採用し育成している。予算も手間もかかる手描きの美術の需要はまだ厳然と存在するのである。何故なのだろうか。

男鹿和雄氏が「となりのトトロ」に参加したある時、監督が絵の一部のにじみを見て、「幸せな色だね」と言ったという。生身の人間は、絵の具が偶発的に起こすにじみやかすれ、複数の絵具が溶け合って現れた予期せぬ色彩に驚き、楽しさを覚える。絵画の一部であるそれは、まぎれもなくアニメーション美術の一部でもあるのである。本稿の調べを行う中で、いよいよ手描きのアニメーション美術の魅力を見つめ直すこととなった。

8. セル時代の背景美術が残すもの

美術監督の仕事は、セル・アニメーションが誕生してからこれまでの間、監督の表現したいイメージを、より具体的に、持てる技術や感覚を駆使して一枚の絵にすることであった。男鹿氏は描いた絵が「写真のようだ」と評価された時、自分はまだまだだと捉えるそうである。男鹿氏が目指すものは絵画であり、作品の中でアニメーション美術が果たす役割だからである。

美術をすべてコンピューターで描くようになって、よすがとするものはセルの時代から連綿と続けられてきたどのような絵画にすべきかという発想と追求の積み重ねである。多くのスタッフにとって、セルの時代まで遡って作品に学び、触発されることは、現在のアニメーション美術をよりよく知ることにもなるのである。コンピューターのもたらした技術によって、作業は効率的になり、リスクも少なくなったが、同時に作品の中における美術の機能は多様化し、可能性もまた増したとすることができる。「かぐや姫の物語」も、正にコンピューターが無ければ実現しなかったかつてない表現の一つであった。

将来、アニメーション制作は手描きの美術表現をさらに限定的なものにしていくかも知れない。あるいは欧米や中国、韓国がそうであるように、日本のアニメーションも絵画自体から離れ、コンピューターの立体的な表現へと大きく舵を切る日が来ることも考えられる。だがその時も手描きの時代のアニメーション美術は、新たな表現に挑む人たちを大いに刺激し、地平を拓く助けになり続けていくにちがいない。

注

1. スタジオジブリの作品はDCP上映やブルーレイ化に対応してリマスターが行われたが、作品が完成して最初の試写を最良のものと考え、過剰な修正が施されなかった。(ぴあ「スタジオジブリの過去作はどのように“デジタル化”されたのか? スタッフが語る」2020年2月12日 <https://1>

p.p.pia.jp/shared/cnt-s/cnt-s-11-02_2_92c8b81b-ec0f-4aa2-92bb-4263532d55e3.html)

2. 対象を変形や歪曲、誇張して表現すること（仏：déformer、動詞）。
3. 絵具や絵に使う材料、またはその使い方がもたらす絵肌、材質感のこと（仏：matière、名詞）。
4. 『週刊アーティスト・ジャパン No. 25 長谷川等伯』（1992 年、同朋舎出版、782 頁）参照。
5. 室町時代に狩野派が水墨画に大和絵の画法を取り入れたことがその後の日本画全体に大きな影響を与えている。江戸時代では歌川広重や葛飾北斎などの浮世絵師が多数の墨画を描き、戦後は東山魁夷や加山又造らが盛んに水墨画に取り組んだ。
6. セル・アニメーションの制作で使用された、複数の背景画やセル画を間隔を空けて配置し撮影する方法。被写界深度の異なる奥の背景画や手前のセル画は像を結ばないため、直接目で見た時のような空間の表現が可能になる。（←→パンフォーカス）
7. 大塚康生著『作画汗まみれ』（2001 年、徳間書店、84 頁）より。
8. 今村太平著『漫画映画論』（2005 年、徳間書店、179 頁）より。
9. 『東映の軌跡』（2016 年、東映株式会社、84 頁）より。
10. ディズニーの美術は Winsor & Newton 社などの透明水彩を主に用いていた。
11. Web アニメスタイル「東映長編研究 第 10 回 白川大作インタビュー(2) 手塚治虫と『西遊記』」(http://www.style.fm/log/02_topics/top041115.html)
12. 『ウォルト・ディズニー』 第 3 章 戦争と混乱の時代（2015 年、SARAH COLT PRODUCTIONS/WGBH 制作）より。
13. 『メアリー・ブレア展』図録（2009 年、日本テレビ放送網株式会社、127 頁）参照。
14. 『ディズニー・アート展』図録（2006 年、日本テレビ放送網株式会社、168 頁）参照。
15. 『小林七郎画集 空気を描く美術』（2002 年、徳間書店、4 頁）参照。
16. 『井岡雅宏画集』（2001 年、徳間書店、47 頁）参照。
17. 『井岡雅宏画集』高畑勲「わたしの知る井岡さんの画業」（2001 年、徳間書店、4 頁）より。
18. 『世界名作劇場「赤毛のアン」メモリアル・アルバム』（2005 年、河出書房新社、34 頁）参照。
19. 『棕尾篁アニメーション美術画集』（2004 年、アニドウ・フィルム、14 頁）参照。
20. 『棕尾篁アニメーション美術画集』（2004 年、アニドウ・フィルム、145 頁）資料より。
21. 『アニメーションの色職人』（1997 年、徳間書店スタジオジブリ事業本部、93 頁）より。
22. 『未来少年コナン ロマンアルバム』（2003 年、徳間書店、55 頁）参照。
23. 叶精二「高畑勲・宮崎駿作品研究所」(<http://www.yk.rim.or.jp/~rst/index.shtml>) より。
24. 『男鹿和雄画集』（1996 年、徳間書店、75 頁）より。
25. ジブリがいっぱいコレクション「男鹿和雄展」高畑勲コメント（2007 年、スタジオジブリ）より。
26. 『ジ・アート・オブかぐや姫の物語』（2014 年、徳間書店、64 頁）より。
27. 『川合玉堂 山村余情 巨匠の日本画』（1994 年、学研プラス、85 頁）より。
28. 『川合玉堂展』（1982 年、読売新聞社、48 頁）参照。
29. 『男鹿和雄画集』（1996 年、徳間書店、52 頁）より。
30. 関東大震災で江戸時代から続いていた町屋と呼ばれる家屋が倒壊焼失し、その後下町を形成した店舗併用住宅。
31. 明治時代初期に多く設計・施工された、木造日本建築に西洋建築のデザインを混合した建築。

32. でほぎやらりー公式サイト (<http://dehogallery.co.jp/about/>) より。
33. BuzzFeed「ジブリの美しい背景美術がいま、消えようとしている」(2017年4月13日、<https://www.buzzfeed.com/jp/yuikashima/studioponoc-dehogallery>) より。

〈謝辞〉

最後に、本調査では下記の方々に多大なご協力を頂きました。あらためて感謝申し上げます。なお、敬称は省略させて頂きました。

小林七郎

男鹿和雄

武重洋二

吉田昇

高屋法子

野崎透

鈴木勝雄（東京国立近代美術館）

掲載スタジオジブリ作品○リスト

風の谷のナウシカ ○ 1984 Studio Ghibli

天空の城ラピュタ ○ 1986 Studio Ghibli

となりのトトロ ○ 1988 Studio Ghibli

おもひでぽろぽろ ○ 1991 岡本螢・刀根夕子・Studio Ghibli・NH

紅の豚 ○ 1992 Studio Ghibli・NN

平成狸合戦ぽんぽこ ○ 1994 畑事務所・Studio Ghibli・NH

もののけ姫 ○ 1997 Studio Ghibli・ND

千と千尋の神隠し ○ 2001 Studio Ghibli・NDDTM

ハウルの動く城 ○ 2004 Studio Ghibli・NDDMT

崖の上のポニョ ○ 2008 Studio Ghibli・NDHDMT

風立ちぬ ○ 2013 Studio Ghibli・NDHDMTK

かぐや姫の物語 ○ 2013 畑事務所・Studio Ghibli・NDHDMTK

※当論文中に引用した図版のうち、個別に引用元の記載が無いものについては、当財団が株式会社スタジオジブリより寄託を受けている資料等より引用した。

アニメーション美術監督の土田勇氏と小林七郎氏への取材報告

事業課学芸係 学芸員 北山萌夏

本調査研究は、2001 年より全八回に渡って報告した「日本のアニメーション・スタジオ史」を先行研究とし、高畑勲氏、宮崎駿氏が創り出してきたアニメーション、およびそのルーツの作品やスタジオを対象とするものである。前年度に引き続き、当財団の普及啓発活動の一環であるアニメーション文化講座と関連して、今回は“手描きのアニメーション美術”にテーマを絞って聞き取り調査を行った。

アニメーション美術のキャリアを東映動画からスタートさせた土田勇氏、小林七郎氏に、ご本人のご経歴に沿ってお話を伺った。その際両氏には、両氏から見た東映動画の美術、高畑氏、宮崎氏との関わり、ハーモニー方式についてお聞きするよう心掛けた。

次頁からは、数回にわたって取材した内容をインタビュー形式で再構築し、ご本人に了承を得たものを報告する。

また、それぞれ初回の取材時に、土田氏への取材の際は小田部羊一氏、小林氏へ取材の際は野崎透氏にご同席いただいた。

なお、前年度の報告『『色彩設計』その誕生と役割の変遷』の補足として、以下の報告を行ないたい。

土田氏は東映動画で、クレジットには記載されていないものの、「太陽の王子 ホルスの大冒険」及び「長靴をはいた猫」の色彩設計を担当された。数パターン用意したものをテストし、美術監督の浦田又治氏とそれぞれの演出である高畑氏、矢吹公郎氏が最終的な判断をしたという。その後も東映動画では土田氏が在籍された 1992 年頃まで、基本的な色彩設計は美術スタッフが、背景を描きつつ行なったとのことだった。

また土田氏によると、東映動画社内には遅くとも「龍の子太郎」（1979 年）までは、セル絵具の調合、管理を行っていた「調色」を行なう部屋があったといい、量産型のセル絵具にはない渋めの色を必要とした同作では、社内にあった絵具を調合して新色を作り出したとのことである。

土田勇氏への取材報告

——今日は、土田さんから見た東映動画の美術から、ご経歴に沿ってお話を伺えたらなと思っております。よろしくお願いいたします。

まず東映動画に入社された頃のお話をお聞かせいただけますか。

私は昭和 38 年に入社しまして、美術課にはもう一人中野さんという女性がいましたが、この方はしばらくして結婚なさってお辞めになりました。アニメーターの人はたしか 5～6 人いて、その中には宮崎駿さんや、「長靴をはいた猫 80 日間世界一周^{注1}」の作画監督をやられた角田紘一さん、それから「魔法使いサリー^{注2}」の作画監督をやられた高橋信也さんがいました。仕上も 5～6 人いたんでしょうか。本社の試験を受けて毎年 4 月に入社する定期採用は翌年で最後だったと思います。もう少し正確に云うと、演出が二人、不定期で社員として入ってきましたが、定期的な社員採用はその年で終わりでした。

アニメーターには研修期間があり、先輩から教わったり、スケッチに行ったりして、いろいろな方法で研修を受けていましたが、私たち美術は、その頃やっていた「わんわん忠臣蔵^{注3}」の背景美術を模写することから始まりました。次作の「ガリバーの宇宙旅行^{注4}」では、練習という前提で原図を渡され、美術監督がこれは使えるなと思ったら採用してくれました。そんなことを通して、本番でもちよっとずつ使われるようになって、最後はスタッフとして入れてもらった、ということを覚えてますね。この頃は、先輩が描いた絵にいかにか近づけるかということを考えて、必死に描いていました。



図 1. 「ガリバーの宇宙旅行」^{注5}

——この頃の美術の方は、日本画科出身の方が多かったとお聞きしていますが、会社として意図的にそういう採用があったんでしょうか。

どうでしょうか。私の感想では、もともとアニメーションに興味があって来ているアニメーターの人とは違って、画を描いて食べていくのが大変だったからじゃないかなというのが正直なところですね。美術課は一枚の完結した絵を描きたい人が多くて、シーン何十枚をこつこつ描くタイプは少なかったと思いますし、最後までアニメに残った方もほとんどいないんじゃないでしょうか。

アニメーターの人たちのような団結は、美術課の人の間にはほとんどなかったですね。各々がデザイナーですから、職場内でなかなかそういう関係にはならなかったです。むしろ苦勞を共にした外注

さんとの付き合いが深くなって、いまでも会って食事会をすることがありますね。

——土田さんが入られた頃は、美術課は3階、作画課は2階というようにフロアも違ったそうですね。

はい、美術課とアニメーターの部屋は別々でしたね。同じ作品を作っている、よほど用事がなくてはアニメーターのところに行かない人もいました。美術課は、ときどき一仕事終わったら、お茶を飲んで喋るくらいでしたが、アニメーターはいつも仕事の話や冗談話で熱気がすごいんですよ。メンバーを見れば分かると思います（笑）同期の仲間もアニメーターしかいなかったのも、私はよく足を運んでいましたね。

——そして「太陽の王子 ホルスの大冒険^{注6}」に参加されるんですね。

この映画は入社後、初めてスタートから参加した作品ですから、私には経験するものすべてが新鮮でしたね。

高畑勲監督を中心に、シナリオ検討会が始まり、いろいろ意見が交わされるなか、ぽつぽつとキャラクター案やイメージ画が貼り出され、増えていくんですが、毎日、誰がどんなものを出してくるか楽しみでした。ここで大塚康生さん、森康二さん、小田部羊一さん、奥山玲子さん、宮崎駿さん初め、スタッフの個性や人柄が分かり刺激的でした。ふり返ってみると、この頃が一番おもしろい時間でしたね。

さて制作に入るとそう甘くはないようで、監督を初め、さきほどの中心メンバー、それに美術監督の浦田又治さんなどは、毎日侃侃諤諤やっていて、作品に対して真剣にやりとりする空気が伝わって来ましたね。後半になるとスケジュールの遅れもあり、緊迫した重い空気も漂っていましたが、それでもスタッフ全員、高畑さんを中心に団結していて、職場の中は活気があり、粘り強く頑張っていました。

高畑さんはこの状況をのちに「あらゆる困難をのりこえて、技術と能力の限りをつくしてくれたスタッフの結集の力」と云っています。確かにそうだったと思いますが、私などはただただ毎日自分のことでいっぱいでした。

美術については、美術監督の浦田さん初め、井岡雅宏さん、内川文広さん、土田の四人が背景を担当しました。やり方は、浦田さんからシーンを割りふられ、それぞれが試作画を描き、高畑さんの評価を待ち、OKをもらったら本番に入りますが、私はヘタなので時にはNGをもらっていました。のちに「ハイジ^{注7}」をやられる井岡くんという人は、ほとんどNGもなく実に見事な仕事をしていました。どれほど優れていたかという、当時我々は、一枚ずつ背景を仕上げていましたが、彼は二枚同時並行で描いていました。それも両手を使って、迷うこともなくすらすらと。達者な人でしたね。それはもうヘコみました。あとあとまで引きずっていました。

そんな私を唯一救ってくれたシーンがあったんです。悪魔の娘ヒルダとホルスが初めて会う、朝の湖のシーンですが、このシーンの数枚の背景が思いのほか良くできたのです。もともと宮さんの設定図が素晴らしかったのはもちろんですが、高畑さんも思い入れの強いシーンだったらしく、ちょっと力を入れて、何度かやり取りをしてテストを重ねました。それで、高畑さんからいいね、それで行きましようとなりました。そのとき描いた数枚は、水はブルーで、朝の光があつて、ごちゃごちゃさせ

ないで、空はすきっとしていて、とそういう映像しか浮かんでこなかったんです。だから不思議と迷いがなく、描いている自分を引いて自分で見ているような感じがあって、リラックスしながら作業していた記憶がありますね。高畑さんがイメージを与えてくれたというのが正しいと思うんですが、それを私がなんとか描ききれたということで、満足しています。

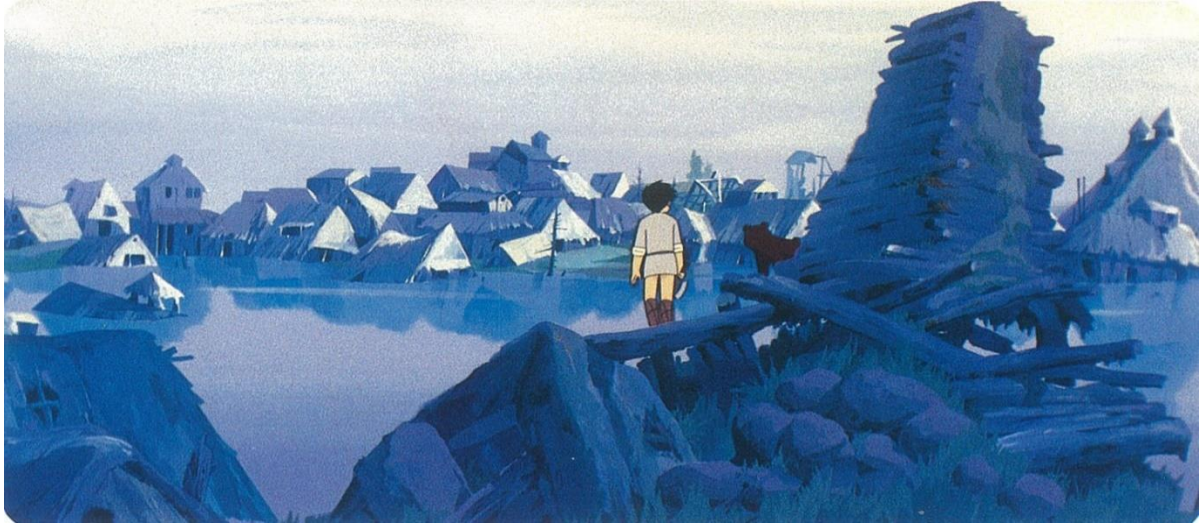


図 2.「太陽の王子 ホルスの大冒険」^{注8}

——美術の方は、描かれる絵にご出身の土地の気候とかそういったものの影響があると思うんですが、いかがですか。

はい、あとでふり返ってみると、やっぱり自分が一番感受性のあった子どもの頃に体験した野山や自然っていうのが出てくるんですよ。私の田舎は新潟で、わりといつもどんよりとした曇りですが、突然晴れることがあって、なかなかないからこそ、すっきりした朝の風景っていうのはものすごく印象がある。そういうものがおそらく理屈抜きににじみ出たような気がしますね。

のちに誰からだったか「高畑監督がああのシーンには満足していたよ」と聞き、嬉しかったですね。やっと市民権が得られたような、ホッとしたことも覚えています。

それにしても一本のアニメーション映画を作るということは、とんでもなく大変なんだということを実感しました。そしてこの経験は自分の将来にとってとても意味のあるものになりました。

——そのつぎに参加されるのが「長靴をはいた猫^{注9}」です。

この映画は作品的にも、興業的にも高く評価されました。その成功の理由として、のちに作画監督の森康二さんがこのように仰っています。

「この作品については『ホルス』を抜きには語れません。長くて苦しい制作をおえて、スタッフの解放感が一気に爆発したもの」

同じように宮崎さんが、『ホルス』を終えて、『長靴をはいた猫』は、ほんとに解放感にあふれて仕事ができ、高い評価をえられました」と云っています。

しかしなんと云っても矢吹公郎監督の演出力と、スタッフの力を引き出す能力が光っていました。

そして森さんの優れたキャラクターと人柄を抜きには考えられませんね。二人の感性もよく合っていました。

監督は実力者の個性や得意分野に合わせて、シーンをうまく割り振りました。ペロと殺し屋のコミカルなシーンは森さん、ピエールと姫のシリアスなシーンは小田部さん、魔王の変身するドタバタシーンは大塚さん、大立ち回りのハラハラシーンは宮崎さんというように。

森さんはのちに「矢吹演出のやり方は、スタッフにできるだけ自由にアイデアを出させて、それをうまく組み合わせるといいうき方でしたからスタッフにやる気さえあれば、よい作品が生まれる道理です」と仰っているし、「スタッフの知恵とアイデアをふんだんに盛りこんだ」と矢吹さんも語っていらっしやいますね。

美術については、美術監督の浦田又治さんが大変おおらかな方で、我々背景員には、のびのびと自由にやらせてくれました。そこで私は背景のスタイルにハーモニー方式を提案しました。これはレイアウトから線だけをおこし、それをセルにコピーし、彩色された背景の上にその線画セルをのせるのですが、その結果シャープでコミカルな絵に仕上がリ、森さんのキャラにはまり、コミック漫画のような画風で好評でしたね。こうしてハーモニー方式のスタイルが採用されたわけです。



図 3. 「長靴をはいた猫」^{注10}

苦労もありました。舞台はヨーロッパで、もちろん行ったことも見たこともなく、資料も乏しい時代でしたから、あとは想像で描くしかなく、最後は開き直って自分流で通すことにしました。ところがそれがかえってシンプルでコミカルな舞台をデザインすることができたのです。

私は、この仕事で一背景員として、気楽なポジションで自由に楽しくやらせてもらった記憶しか残っていませんね。「ホルス」と「長猫」の二本を立て続けに経験させてもらい感謝しています。これも運でしょうかね。

——「長猫」は背景に輪郭線があつて、キャラクターも背景もまるで一人の人が描いているような一体感があつて、とても印象的です。すべての背景の上に一枚、ハーモニーセルが重なっていたんですね。

そうです。私も描いたと思いますが、ボードがまずできていて、そこから絵画風に線だけ残したものをセルにコピーして、一方その原図で背景を描きますよね。それらを重ねると、ちょっと誤差が生まれるんです。そういう手描きの良さみたいなのが出て、これは良い感じだということになったんですね。

——そのハーモニーの手法は、その後、定着はしなかったんですか？

あれがおそらく最後だと思います。一枚の背景に一日かけることができた時代だからできた、とても手間のかかる方法でしたし、あくまで「長靴をはいた猫」という作品のために選択した美術のスタイルだったからです。

同じような効果を狙うという意味で言えば、その後のテレビシリーズで、背景で意識的に輪郭線を描くということはやっています。例えば、「パタリロ！^{注11}」では薄く塗った背景にいろんな色の輪郭線を描きましたし、「とんがり帽子のメモル^{注12}」では、水彩のサインペンなど使って、ラフに描いてみたり、味付けしたりしました。

——「長猫」のつぎの「空飛ぶゆうれい船^{注13}」の最初に出てくるゆうれい船もハーモニーなのかなと思っていたのですが。

あれは、動画セルの上に全部加筆したんですよ。たぶん美術の人がやったと思います。彩色された動画にそのまま手を加えて、重さと神秘さを出しました。

——その「空飛ぶゆうれい船」で、土田さんは美術監督をなさっていますね。

監督は池田宏さん、作画監督は小田部羊一さんでした。この映画は名作映画のA級作品に対して、制作期間、製作コストをおさえたB級作品として作られることになったわけですが、しかし、ずっとA級を作ってきたスタッフにとっては、なかなかそうはいきません。ついついA級作品を作る意識に戻るんですね。「作画的にはB級作品とは思えない、シンドイ場面もありましたし、スタッフも一生懸命と組んだと思います」と小田部さんも云っていました。とにかく皆良いものを作ろうと頑張りました。

この映画は前半ゴーレムとゆうれい船が闘うシーンまでは、ミステリアスでぞくぞくするような雰囲気が出ていてよかったと思いましたね。特にさきほどのゆうれい船が海上へ重々しく姿をあらわすシーンはとてもB級作品とは思われないでしょう。この作品で得たものとしては、小田部さんと一緒にできたことで、のちに「龍の子太郎^{注14}」へと繋がったことです。

——池田宏さんとは、そのつぎの「どうぶつ宝島^{注15}」でも組まれていますね。

この作品は、映画として成功した「長靴をはいた猫」の作画監督をやられた森康二さんの再登場で、会社からも、スタッフからも大変に期待されてスタートしました。森さんのキャラは相変わらず可愛らしくコミカルでセンスよくまとまり、スタッフの皆に大変好評な仕上がりでした。私もそのキャラ

にあやかって、どうにか明るく楽しい背景をデザインしましたが、なんとか森さんのキャラを生かせることができたかどうか？

期待どおりミステリアスな出だしで始まり、ワイン樽の手作りポンポン船のコミカルな船出シーン、海賊船の登場、そして海戦シーンと実に好調に進みました。なにより宮崎さんの担当した海戦シーンは絶品でした。私などは自分の描いたシーンのラッシュを見る前はソワソワドキドキでしたし、見たらダメなところだけ気になって落ちこんでいましたが、このシーンのラッシュは違いましたね。ワクワクしながら待って、映写されるとスタッフ全員笑いころげていましたから。しかし、こうして皆の期待も高まっていったのですが、結果はそうはなりませんでしたね。どうやら海戦シーンで盛り上がりすぎて、その後がどうにもならなかったんでしょうか。初号が終わって皆無言でした。

——その後、いくつかのテレビシリーズをなさって、「龍の子太郎」に参加されるんですね。実写の監督がアニメーションの監督をすることはそれまでにもよくあることだったんですか？

ないですね。流れから云いますと、その頃の東映は、主要メンバーはすでに会社を去っていて、企画もスタッフもマンネリ化していました。そんなときに、今田智憲さんが社長に就任して、初めてアニメ映画のメインスタッフを社外から起用した「銀河鉄道 999^{注16}」を制作しました。監督にりんたろうさん、美術に椋尾篁さん、作画監督に小松原一男さんという、まるっきり外の方を選んで、誰が見ても成功という結果になりました。

そして第二段だということで話があがったのが「龍の子太郎」だったわけです。「銀河鉄道 999」とは違う名作童話路線の企画ではありましたが、やはり外からの刺激を入れ込んだ方が緊張感があるということで、社外から浦山桐郎監督、小田部羊一作画監督、奥山玲子作監補佐が、そして社内からは葛西治アニメ監督、そして私が美術監督として参加しました。

初顔合わせのときは、お互い緊張と期待にあふれていました。浦山さんは、アニメーションは初めて、スタッフとも初めてと、初めて尽くしでしたから、少なからずプレッシャーがあったと思います。小田部さん、奥山さんも、久しぶりに古巣に戻って来て、なにか期するものがあったように見えました。私も監督はどんな人で、何を求められるのか、それに応えられるのだろうか、ドキドキしていましたね。そしてこの緊張関係がこの映画が生まれた重要なポイントになったと考えています。

シナリオの検討会はスタッフルームではなく、監督専用のマンションで夕方から始まり、途中から必ず酒がふるまわれます。我々をリラックスさせようとしたのか、自分が飲みたいのか、たぶん後者だと思いますが、云うだけ云ったら酔いつぶれて寝てしまいます。しかし、会を重ねるごとに自分の考えや構想を話し、我々は徐々に洗脳されていきましたね。

「この物語の根底にあるのは貧しさ、その貧しさのもと水だ、豊かな水さえあれば、食物は育つ。そうすりゃあ、飢えることはない。そしてヒエやアワでなんとか食いつないで生きている民衆の一生に一度でいいから白い米を食べたいという、その願いをかなえてやる話なんだ。」

この話をした翌日、秩父まで我々をひきつれ田植えをやりに行ったのです。

実写の監督はまったく違うなと思いました。アニメーション畑の人は、登場人物を“キャラ”として見ます。もちろんそれを深く考えていると思いますが、やはり実写の監督は、“人間”として見るんですね。人間臭さを入れて、人間として扱うんです。そこが圧倒的に違いました。

例えば天狗は、よく見ると飲兵衛でだらしなくて、いつも鼻を真っ赤にして、子どもが好きで、た

だ子どもと遊んでいる。実に人間っぽいですね。赤鬼は、自分より強い者にはへこへこして、弱い者には威張っています。人間にもよくいますよね（笑）

監督は実作業に入ってからでも妥協することなく、小田部さん、奥山さんのキャラクターを厳しくチェックされました。

私の場面設定も容赦なくダメ出しされ、太郎がおばあさんと暮らしている貧しい生家のスケッチは7回もリテイクされました。何度目かに見せたとき、「あの時代の貧乏というのは、病気が一番怖い。要するに菌が、湿気が怖いんだ」という話をされました。つまり床板の高さはこれでいいのか、ということだったんです。「地面が近いとじっとして病気になってしまうから、床板を高くして風通しをよくしなきゃいけないんだ」なるほど、と思いました。

この物語は美しい日本の風土から生まれた民話ですから、瑞々しくて美しい日本の風景を、透明な背景を描こうということは初めに決めていました。いろいろ試した結果、水彩画と水墨画の中間のような絵にたどり着きました。しかし浦山監督と向き合っているうちに、スケールの大きな骨太なお話に対して、それだけでは弱すぎて、とてももたないと思い、試行錯誤の末、下地にジェッソ（洋画材）を塗ることを思いつきました。これが予想外の効果を生み、遠景は透明感を表し、近景の土や岩や、木の幹にはごつごつとマチエールができて強い表現ができました。

その背景画に、小田部さんと奥山さんの完成度の高いキャラクターが見事にはまったときは、ちょっと感動してしまいました。小田部さんと私はどちらも日本画出身ということが幸いしたのかも知れませんね。



図 4. 「龍の子太郎」^{注17}

失礼ながら酔っ払いで、少々らんぼうな監督の、実はアニメーションに対して、謙虚で真摯に向き合っている姿を見て、徐々に皆の気持ちが一つになっていきました。そして、新しい何かができる予感が高まっていきました。

「東映動画の社内スタッフには沈滞した空気が強かったわけですが、しかし本当は力があるんです。それを引き出す条件さえ整えば、大変な威力を発揮できるのではないか、私は久々にものを作っている感じがしています。企画と時期とスタッフ、それらがうまくスポッと決まっていますし、現場はす

ばらしい作品を、との意欲でいっぱいです。」

これは制作途中で小田部さんが云われた言葉です。たしかに終わってみれば東映動画スタッフの底力を見せてくれた映画になったと思いますね。私自身、思い残すこともなく、やり切った感の残るものとなりました。

——「龍の子太郎」の美術は、いままでとかなり違うものだったと思うんですが、そこにたどり着き、これでいける！となる過程がすごいなと思います。

それは結局スタッフのおかげです。浦山さんもそれだ！と云ってくれるし、小田部さんともやっばりどこか胸の内で、お互いに負けられないぞという思いがあって、良い緊張関係の中で刺激し合えたことを抜きに、あの映像はできなかったと思います。

——「とんがり帽子のメモル」の水彩画の背景もとても印象的です。

「メモル」の背景は、薄塗りだったから、上から塗り重ねて直すことが難しいということもあって、美術スタッフみんなが緊張感を持ってやってくれました。でも水彩は自由さがなくとおもしろくない。最初は失敗と云えるようなものもありましたが、やっていくうちにおもしろくなってくるんですね。自由にやるようになっていきました。慎重かつ自由に、その良さがよく出ていたと思います。テレビでは成功した部類の美術だったんじゃないでしょうか。

「メモル」のそもそもの始まりは、バンダイから小人のキャラクターで人形を売りたい、という要請が来て、アニメーターの名倉靖博さんとコンビで作ってくれということだったんですね。キャラクターのサイズだけが決まっていて、その他はまったくのゼロスタート。何をどうやったらいいかわからなかったのも、とりあえず思いつくこと、イメージすることを出し合いました。アニメーターだからキャラクター、美術だから美術設定ではなく、お互いにキャラクターでも情景でも、ドラマとかストーリーを考える前に、自分が想像できるものをすべて絵にして、四面ある壁をとにかく全部埋め尽くそう、と。その後に、シナリオライターに来てもらって、壁に貼った絵を見ながら、元にして、設定やストーリーを作っていました。物語があって、シナリオがあって、そこから具体化していくという一般的な流れとは違う、変わった作業工程でした。

この世界を表現するにはどうしようかと考えたときに、まず小人のサイズになってみようと立ち、野原に這いつくばって、メモルたちの目線でものを見てみたら、二つのことが分かったんです。

一つは、人間にとってなんでもないそよ風でも、草木がすごく揺れて見えたことです。サワサワと波打つように。

もう一つは、光がものすごくキラキラと眩しく見えたんですね。たまたまその日が夏の日ということもありましたが、とても印象に残りました。

そんな経験から「メモル」では、光と風を感じてもらえるような背景を目指しましたね。

スタッフのみなさんはそれを理解してよく頑張ってくれました。もちろん手を入れることもありました、「メモル」に関しては直しが少なかったです。長年付き合いがあってお互いによく分かっていたというのもあると思います。心がけていたこととして、スタッフの負担を少しでも減らせるように、兼用できるものはなるべく兼用して、枚数を減らすように工夫しました。自分がレイアウトして

いたから、多少ずらせば使える背景は、ずらして使うなど自由にできたんですね。無駄を減らせると、スタッフも一生懸命やってくれる。そうやって信頼関係を築いていたこともあって、直しは少なく、シリーズ通してグレードはそんなに落ちなかったと思っています。



図 5. 「とんがり帽子のメモル」^{注18}

——美術監督である土田さんがレイアウトを描かれたんですね。普通は原画の方が描くことが多いと思うのですが。

「長靴をはいた猫」のときにも、何カットかレイアウトをやらせてもらいました。子どもの頃から何かキャラクターや物語を空想することが好きでしたから、描く人の世界観が出るレイアウトという作業は面白いなと思うんですね。

「龍の子太郎」のときは、私がまずレイアウトしましたが、その中でラフに描いたキャラクターを小田部さんに清書してもらったものをのせて、2枚セットで回しました。

「メモル」や「リトルツインズ^{注19}」「蓮如物語^{注20}」などのオリジナル作品では、すべてレイアウトさせていただきましたね。

——「蓮如物語」はいま見ることができないですね。なんとか探して見てみたいです。

最後にちょっとだけ自分のことを云わせてもらおうと、自分が背景をうまいと思ったことは一度もないし、描くことにプレッシャーを感じてきました。でもだから、じゃあどうするか、やっている以上は何かしたいと思い、だったら人の力を借りようと、あるいは自然の力を借りようと、そういうことを考えたんですね。それは技術的なことじゃなく、もっと精神的なことなんです。つまり、まずはやっぱりこの作品を監督がどう思っているのか、監督が持っている感性はなんだろうか、何を要求しているんだろうかとか、そういうことを一生懸命見るんですよ。そして、この監督の感性を、じゃあ自分なりにどう表現しようかと、そこに苦しむんです。

だから「ホルス」のとき、湖のシーンを邪念なく描けたのは、パクさん（高畑さん）の感性を受け取って、迷うことなく表現できた結果だと思います。「長猫」でも森さんの感性が素晴らしいなと思って、どう生かそうかな、ということを徹底的にやりました。それから矢吹監督の描いていたものを

一生懸命くみ取って、じゃあこれはコミカルで、もっと単純なコミックのような背景で、という風になったんですね。「メメル」のときには、メモルのサイズの人間たちに自然はどう見えるだろうというときに、自然の力を借りました。光や風だとかを感じたうえで、そこを描いて表現しようとした結果です。芯には“土田”というものがありつつ、人の力、あるいは自然など、いろいろな要素に助けられて、作品ごとに違う表現方法を取り入れてきました。だから「太陽の王子」も「長猫」も「龍の子太郎」も「メメル」もおのずと違う絵になったんだと思っています。

——土田さんが作品ごとにまったく異なる美術を生み出されたのは、その作品のことをとことん突き詰めて向き合ってこられたからなんだなと思いました。本日は本当にありがとうございました。

注

- ¹ 「長靴をはいた猫 80日間世界一周」1976年公開、演出 設楽博
- ² 「魔法使いサリー」（第一期）1966年12月5日～1968年12月30日（全109話）
- ³ 「わんわん忠臣蔵」1963年公開、演出 白川大作
- ⁴ 「ガリバーの宇宙旅行」1965年公開、演出 黒田昌郎
- ⁵ 『東映動画 長編アニメ大全集 上巻』（1978年、徳間書店、155頁）参照。
- ⁶ 「太陽の王子 ホルスの大冒険」1968年公開、演出 高畑勲
- ⁷ 「アルプスの少女ハイジ」1974年1月6日～12月29日（全52話）
- ⁸ 『徳間アニメ絵本㉔ 太陽の王子 ホルスの大冒険』（1999年、徳間書店、38頁）参照。
- ⁹ 「長靴をはいた猫」1969年公開、演出 矢吹公郎
- ¹⁰ 『東映動画 長編アニメ大全集 下巻』（1978年、徳間書店、8頁）参照。
- ¹¹ 「パタリロ！」1982年4月8日～1983年5月13日（全49話）
- ¹² 「とんがり帽子のメモル」1984年3月3日～1985年3月3日（全50話）
- ¹³ 「空飛ぶゆうれい船」1969年公開、監督 池田宏
- ¹⁴ 「龍の子太郎」1979年公開、監督 浦山桐郎
- ¹⁵ 「どうぶつ宝島」1971年公開、監督 池田宏
- ¹⁶ 「銀河鉄道999」1979年公開、監督 りんたろう
- ¹⁷ 『東映動画 長編アニメ大全集 下巻』（1978年、徳間書店、233頁）参照。
- ¹⁸ 『アニメージュ vol.81』（1985年、徳間書店、36頁）参照。
- ¹⁹ 「リトルツインズ」1992年から1993年まで、計12巻のOVAが発売された。
- ²⁰ 「蓮如物語」1998年公開、演出 葛西治

主な参加作品

1965

- ・(映) ガリバーの宇宙旅行 ◆背景

1966

- ・(TV) レインボー戦隊ロビン

1968

- ・(映) 太陽の王子 ホルスの大冒険 ◆背景

1969

- ・(映) 長靴をはいた猫 ◆美術 (浦田又治と共同)
- ・(映) 空飛ぶゆうれい船 ◆美術

1970

- ・(映) ちびっ子レミと名犬カピ

1971

- ・(映) どうぶつ宝島 ◆美術
- ・(TV) さるとびエッチャン
- ・(TV) ゲゲゲの鬼太郎 第2シリーズ
- ・(TV) 原始少年リュウ

1972

- ・(TV) デビルマン

1973

- ・(TV) バビル2世
- ・(TV) ミラクル少女リミットちゃん

1974

- ・(TV) 魔女っ子メグちゃん ◆美術設定

1975

- ・(TV) UFO ロボ グレンダイザー

1976

- ・(映) 長靴をはいた猫 80日間世界一周 ◆美術
- ・(TV) キャンディ・キャンディ

1978

- ・(TV) 銀河鉄道999

1979

- ・(映) 龍の子太郎 ◆美術

1980

- ・(TV) 燃えろアーサー 白馬の王子
- ・(映) 地球へ… ◆美術

1981

- ・(TV) 新竹取物語 1000年女王 ◆チーフデザイナー (美術設定)

1982

- ・ (TV) パタリロ！ ◆チーフデザイナー

1983

- ・ (映) パタリロ！ スターダスト計画 ◆美術

1984

- ・ (TV) とんがり帽子のメモル ◆美術デザイナー

1985

- ・ (OVA) とんがり帽子のメモル マリエルの宝石箱 ◆美術

1986

- ・ (映) ゲゲゲの鬼太郎 妖怪大戦争 ◆美術監督

1992

- ・ (OVA) リトルツインズ ぼくらの夏が飛んでいく ◆原作 ◆総監督 ◆美術監督

1995

- ・ (映) アンネの日記 ◆色彩設計

1998

- ・ (映) 蓮如物語 ◆美術監督 ◆画面構成

小林七郎氏への取材報告

——本日はお時間いただき、ありがとうございます。現在、アニメーションの美術について聞き取り調査を行っており、ぜひとも小林さんのお話をいろいろ伺えたらと思っています。

小林さんが絵を志したのはおいくつくらいからなのでしょう。何かきっかけがあったんですか。

気が付いたら絵を描いていましたね。北海道の山奥の谷底で、すぐそばに原始林が迫ってくるような、貧乏の家のないない尽くしの生活でした。いと違って、電気も水道も、時計すらなかった。本も買ってもらえないから、情報も不足していました。ただ、だからこそ少ない情報に集中することができたのかもしれません。ひとつの情報に集中的にこだわって、自分なりの感じ方を手探りしていました。

その頃の優れた絵描きさんは、軍に協力して優れた挿絵を描いていましたね。藤田嗣治の「アッツ島玉砕」なんて、もう感動して夢中になっていましたね。あれはとても模写できなかった。私の絵の始まりは、戦争画でした。



図 1. 「アッツ島玉砕」^{注1}

それから十代の頃はやっぱり写生をやっているんですよ。描くものがないから。身の自然、動物、家畜、家族を描きまくるという。夢中になるということが、いま思うと自分の素質でしたね。

——最近出版なさった画集^{注2}で、十代の頃の絵を拝見しました。

この頃は紙がなくて、模造紙に鉛筆なんですね。水彩で描いたものは、学校で一個だけ配給があったんだね。文部省も一生懸命だったんだと思うよ。クラスに一個。それで、小林は絵が好きだから、小林にやろう、と。その水彩で夢中になって描いたんですね。戦争画でもって、大人の真似をして描写力を学んだのかもしれない。

——模写と云っても雑誌の切り抜きとかですよ。本物の絵だったら筆の使い方や重ね方が見て取れると思うんですが、そうじゃなくてここまで描けたというのはやはりすごいですね。どなたかに教わったということはあったんですか。

いやいや、それはまったくない。

——完全に独学なんですね。

手が動けば、それが筆だろうと鉛筆だろうと変わらないわけですね。やっているうちに、自分の中で手探りしていくわけです。ない、ということが私にとっては大きなプラスでした。いまはあります。それにしても、なさすぎたな（笑） それから退屈でしょ。不便だし、退屈。退屈はいやだから、何かやらかそうとする。ないことで、工夫することを覚えました。

——小林さんをご経歴の中で、学校教員をなさっていた時期がおりなんですね。

高校を出ても、経済的に大学には行けない、学力的にもね（笑） それで、お前は教員になれ、と云われたんです。その頃、引揚者が惨憺たる生活をしていましたが、彼らのための小学校がありました。貧しい時代だからこそ、何が大事か、戦争体験で心がすさんでいた子どもたちに少しでも情操的にまともな、音楽とか絵とか、そういう情操教育が謳われていました。いまのような学力主義じゃなくてね。それで、お前は絵が好きなんだから向いている、と。子どもたちと一緒にあって絵ばかり描いていました。お勉強そっちのけで、授業が終わったら、わーっと写生しに外へ、野山で遊びながら。良き時代だったなあ。

最近の専門学校では学生に写真の模写をさせているそうですよ。模写自体は先人たちの足跡をたどるという意味でプラスです。でも写真は違いますよ。写真は、仕事として成り立たせるためのディテールを、説明的な部分を補強する意味で、役には立ちますけれども、やっぱり生な感動というか、偶然性は写生以外にないですね。なのに写真の模写なんてことを平気で… うーん、その方が加工技術に長けた人間として、現場に重宝がられるわけです。

いま写生の大事さを痛切に感じています。大きな自然の中で、自分で感じ取るものが、絵に無意識に出てくるんですね。自分の目を、五感を通して感じた風景とかをたどたどしくても描く。写生というのは、そういうところに価値があるんです。手探りするようにできているんですから。

ただし、それをちゃんと受け入れる人間が必要なんですね。本人は分からないんだから。だから、やる側と、許容して認めて励ます側と、両方が必要なんでしょうな。私自身は山奥の貧乏の家で何もなし、周りの大人たちから、お前は何をやってもだめだと抑え込まれて育ってきましたが、教員をやっているときにそういう良い関わり方をたまたま経験できました。

——その後に武蔵野美術大学に入られますね。学生時代にはフォーヴィズム（野獣派）の…

そうです。野獣派が私の原点です。やっぱりアニメの美術をやる人も、美術の流れを参考にした方がいいですね。カメラ、写真が出現したために描写第一主義な画家の多くが失業したこと、それと自由という時代の大きな流れ、この二つが相まって野獣派が生まれ、新しい絵画をどんどん生み出していったわけです。マティスとかセザンヌ、ゴッホ、ピカソ、みんな野獣派と云われる。その代表がマティスなんです。評論家が、野放図な絵の描き方を見て野獣のようだね、と云ったんだって。

戦後には、現代の野獣派が出てきたんですね。

——ジャクソン・ポロックとかですか？

ええ、ポロックを代表とする非形象絵画というやつ。つまり人間、描き手が野獣のように素手で、生き物としての無垢な感性から出たものを良しとする。意識を超えた偶然性とか、本能むき出しの、そこに可能性を発見するという目線が大事なんです。



図 3. ポロック「秋のリズム、No.30」^{注3}

——東映動画に入られたきっかけはなんだったのでしょうか。

その頃、前衛芸術活動をやっていて、「俺は絵描きだ、絵描きは定職なんてつけない。アルバイトでいいんだ」なんて実にばかなことを云っていましたが（笑）子どもができるというので、これは定職に就かなきゃいかん、というときに、東映が人材を募集していることを知った。テレビアニメが白黒からカラーに移ろうとしているときで、カラーになればさらに作品が増えるという見込みがあったのかな。「宇宙パトロール ホッパ^{注4}」のための要員として入社しました。

——その頃の高畑さんや宮崎さんの印象はありますか。

全然会っていないんです。会っているのかもしれませんが、彼らには組合活動の印象があって。私はああいう組合活動的なものは大嫌いで、そういう連帯感を持たない主義でしたね。

——井岡雅宏さんや土田勇さんとは一緒にお仕事はされたんですか。

一緒に仕事はしなかったですが、井岡さんはすごく本格的な描き手ですよ。一晩に 20～30 枚も描いちゃうんですから。例えば同じような背景画があったら、並べてばばば一っと、大体 5～6 枚同時進行です。でもそれでよかったんです。そういう求めがあったんですから。井岡くんはすごい描き手だし、頭も柔らかかったですね。

東映の中で一番優れていたのは土田さんでしたね。絵本を出していますね。彼を東映から引き抜こうと、東京ムービーが動いたことがあったんですよ。彼も日本画の出身ですね。

——東映は日本画科出身の方が多いですね。

それが主だったんですね。道具も大体みんな日本画のものでした。道具の点で思い出すのは、私はすり減った筆でも押し付けたりして使います。そうすると先輩たちが見に来たんですよ。私は道具をいくらでも使い回しができた。むしろその方が、面白みが出ますから新しい道具は要らないんですよ。彼らはちょっと古くなったらすぐばいっと捨ててね。それを僕が拾って、貰ったりして（笑）サラリーマンの贅沢ですよ。私は手でも指でも、筆を押し付けてもいい、道具は自由な使い方でもいいという考え方が常にありましたので、使い古しを使い切るということを平気でやっていたのを、先輩たちは驚きの目で見えていたようです。

東映では、私はまだ芸術活動の方に気持ちが大きくて、仕事はそっちのけの姿勢があったかもしれません。アメリカ帰りの美術監督で小山礼司さんという人が芸術家でしたから、新しい作品づくりに対して、出崎統さんと似た姿勢があったんです。無茶な運転をして死んじやいましたけど。小山さんは飲兵衛でしたが、出崎さんは飲兵衛じゃなかった、小山さんは藝大を出ていて、片や出崎さんはまったく学歴がない、という違い。小山礼司という人は本物でしたね。「少年ジャックと魔法使い^{注5}」が小山さんに選ばれた最初の作品でした。



図 4. 「少年ジャックと魔法使い」^{注6}

となりでは、ちょうどが「太陽の王子 ホルスの大冒険^{注7}」をやっていましたよ。そうそう、保田道世さんがはす向かいの席で仕事をしていましたね。「ホルス」と「ジャック」の間に、仕上げがあったんですよ。

——その後、小山さんと東映を辞められるんですね。

「ホルス」はオーソドックスなやり方で、こちらの「ジャック」はやっぱり新しいアニメーションを作ろうという気があったんでしょうか、そのときからすでにはっきりと方向性の違いが二極化していました。小山さんも、誰も見たことのないものを作ろうと思っていたと思うんですよ。「アンデルセン物語^{注8}」もそうでした。

その後、「巨人の星^{注9}」が始まるというので、彼は早々と会社を離れました。私もすぐに引っ張られちゃいまして。小山さんも私も共通して、東映のオーソドックスな姿勢が合わなかったんでしょう。外れもの同士で、Aプロダクションという新天地へ行きました。

しかしその現場がなんと云っても、飲兵衛中心で！ スケジュールが迫っているというのに、仕事

そっちのけで、仕事場でごろごろするようになりました。酒と仕事は一致しないんだよ。大体、飲兵衛はだめになるんだ。Aプロの社長の勧めで作られた「現代制作集団」という会社があって、そこが飲兵衛の集まりだったんです。

——小山さんと影山勇さんの会社ですね。

影山さんと一緒にやっていけないと思ったから、私はそこを出ました。小山さんは影山さんをうまく使ってやろうとしたんだ。影山さんは飲兵衛でお調子者ですね。いい意味でロマンチストなんです。夢をストレートに追いかける。現実と夢をはき違えてしまう。まあ、理想家ですよ。

私は子どもが生まれて間もないのに、ひとりぼっちになっちゃって、フリーになっちゃった。でもそれは正しかったんですけどね。

——それで小林プロを立ち上げたんですね。

Aプロの社長に「きみ、会社を作りなさい」と云われたんです。私は会社を作る気なんてまったくなかった。しかしやっぱり一人じゃできない仕事ですから、母校の武蔵野美術大学の伝手をたどって卒業生を何人か集めました。自分の考え方を共有できるような若者、スタッフが欲しかったので、もう始めから無意識のうちにアニメの経験者を外していましたね。新聞なんかでアニメにまったく染まっていない新人を、アルバイトを中心に募集しました。私のわがままをストレートにぶつけているうちに、若者たちと共有できたんですかね。人材が育つようになったんです。

そういうことが最初の作品で出ていますね。タツノコプロの「昆虫物語 みなしごハッチ^{注10}」という作品です。あと初めての美術監督だった「六法やぶれクン^{注11}」という作品では、いま見ることができたとしたら、その後の私の方向性が出ていますそれまでは、すでに決まったスタイルの中に、なんとか妥協的に関わっていましたが、「六法やぶれクン」というのはかなり実験的なことをやりました。

荒っぽいと云われちゃいましたけどね（笑）一つの製品と考えたときには、ムラのないあり方というのかな、細かさと丁寧さ、これが必要なわけですし、商品化されて初めて成立するという現実もあります。でもやっぱりそれとは別な、本来、人間業（ワザ）の筋というのがあって、商品とは違うんですよ。いつもその闘いなんです。

私はやんちゃさとか自由さとかが大事で、魅力を自分で発見して、お互いに大事にし合うところに作品の可能性があると思うんですよ。発見し合わない、結局みんな潰されていくんです。ましてや経験の浅い新人たちは、自分のやっていることに自信がないですよ。意外に良いことをやるんですね。だから「おっ、これいいよ」と云ってやらなきゃいけないです。私は、若者を集めながら、一番プラスになったのはそういう部分ですね。「おっ、いいじゃない。俺も真似したい」って云ってね。

いやでも単一さの方向に流れていってしまいますから、多様性が大事ですね。こういう言葉を用意しました。

「ずれて納まる無限の可能性」

ずれて納まる、これですよ。機械技はずれることってないでしょ。ピシッと同じになる。人間業だとずれる、そこに魅力があるんだよ。ずれて納まる、その多様性を発見する。

発見する側の柔軟性と感性が大事なんですね。若者たちと関わっているとき、私にはそれが比較的、あったのかもしれませんが。若者たちが育っちゃったんですから（笑）

ないところから何かを生み出すという、既成のあり方を超えて一緒に新しい状況づくりをしようという姿勢が、彼らの中にも根付いていたのかなあ。会社を作る奴が出てきて、私は呆然と見ているんです。

——1970～80年代頃には出崎統監督作品に参加されています。

彼の謳い文句は、かつてなかった映像をつくろうよ、でした。新しい技法にあえて挑戦する。そこから出てくるものに対して、ひとつの期待意識を持っていたんでしょうね。実験的な、ないことに向かってあらしめるという、一番大事なことをいやでもやらされた。いま思うと素晴らしい経験だったんだ。彼との出会いが大きな救いでした。

——出崎監督は作品に入る前に、こんな背景で行くという打合せはなさったんですか。

それはないです。出崎さんがただ一言、「二度と見たことがない映像を作るんだ」、この一発が来るんですよ。同じ背景は描くまいと思っていますが、同じ絵になっちゃうんです、大体ね。だから、かつてなかった映像を、という呼びかけに唆されて、なんとか冒険的な、実験的な手法を、という風にやっていました。

スタッフに任せていた部分も多い。出崎さんに応えるためには、スタッフそれぞれに失敗を重ねて、手の跡から発見する、引き出すということを考えないといけないです。だから出崎アニメとの関わりは、スタッフ間に活気のある良い雰囲気を生みました。

——出崎さんの作品にはセルハーモニー（描き絵、止め絵）というものがありますが、人物込みで背景を描いてしまおうという発想がすごいですよね。当時はなかったものですよ。

そうです。新しい絵作り、技法を常に。絵本は背景とキャラクターが一つでしょ。なぜかアニメーションではキャラクターと背景が別々ですね。キャラクターと背景を別々な描き手が、別々の手法、別々の狙いで描いて行って、合わせて一つの絵になるという、これがおかしいんだ。アニメーションが行き詰まり状態なのは、そこに原因があるんですよ。キャラクターが画面全体を支配しなきゃいけないのに、または、背景画キャラクターを支配する、その一貫性がなきゃいけないのにね。



図 5. 「ガンバの冒険」^{注12}

——「ガンバの冒険」^{注13}は全然描きこまれていない背景なのに、すごく印象に残っています。

「ガンバ」では触覚性をかなり強調したんです。つまりただ塗っただけではなく、フロタージュとかかすれとか、絵具をぱっとはがして、マチエールを活用するとか、新しい実感を追求するというやり方をしました。

——ガンバが船の甲板に上がって目にする波とかも…

あの海は私が描いて動かしたんです。うねりを6～7枚描いて、その繰り返しですね。アニメーターと違って、かなりいい加減に描いているんですけど、逆にそのいい加減さが意外性というか、動きが出せたのかなと思います。あれも出崎さんの強引な注文ですよ。描いてちょうだい。じゃあ、やりましょう、と。

出崎監督はガンバが初めて海を見た驚きを、つまり登場人物たちの気持ちをいかに表現するか、ストーリーの中に自分が入っちゃって、登場人物たちになりきって、どう感じるだろう、どう考えるだろう、そういう思考をする方で、驚きとか発見といったものをいつも期待していました。ストーリーに沿った予想通りの展開や考え方を超えた意外性、そういうものをいつも追いかけていた気がしますね。だからシナリオ無視の人だった（笑）感情移入の非常に高い人でして。モノ作りの一つの精神とでも云いますかねえ。説明からというよりは、驚きから感情移入して、当然誇張とか、省略とか、ともかく新しい映像表現をいつも追いかけていたんです。だから結構失敗も（笑）何をやっているのか分からないものもありましたけどね（笑）前衛精神の旺盛な方でした。

——そういう時、作画監督の杉野昭夫さんはどういう役割を果たす方なんですか。すごくカッコいい絵を描かれますよね。

やっぱり感性が合っていたのかなあ。杉野さんはね、非常に… あの方も危うい心の人でしたから。精神的に危うく、デリケートな精神状況を、心の中での戦いを持っていた人だったので、安定的な決まり事から外れて、新しい自分のやりがい、自分自身を驚かせるような、そういうあり方を探していた人だったのかな。

——先ほどの失敗したシーンというのは例えばどの作品ですか。

私には失敗としか思えないようなものがね（笑） 未完成な状態で。例えば、「ゴルゴ 13^{注14}」のラストで、崖から墜落して、骸骨になるなんてシーン。結局、“死”ということはどう表現するか、ということだと思いますが、骸骨に変化していくところを映すという方法は、未完成なままに思えましたね。

いつも実験的な手法をスタッフに要求していました。その姿勢は理解できたんですが、内容については、ついていけない場合もありましたよ。

——小林さんが、ここはすごくうまくいった、自慢したいというシーンがありますか。

やっぱり「ガンバ」とか… 「はじめ人間ギャートルズ^{注15}」は、スポンサーの関係で中途半端で終わってしまったので心残りがありますが、楽しい作品でしたね。



図 6. 「はじめ人間ギャートルズ」^{注16}

——とてもシンプルな背景ですね。

あれはもっと続けてくれたら、もっと遊べたなと思いますね。

——キャラクターと背景がものすごく馴染んでいて良いですね。

うん。あれはすごいキャラクターなんだ。原作の園山俊二さんが、ピカソのデフォルメをかなり参

考にしているんですよ。だからこっちもピカソのような背景を描こう、激しくて暴力的な背景を描きたい、と。そしてそれでいて極めてシンプルで。背景の描き方、というものを超えた、新しい挑戦をしました。キャラクターと背景がうまく馴染んだ、という点では、一応成功だったと思います。いま思うとそうですね、「ギャートルズ」はもっと続いてほしかったという作品です。

あの頃はまだ出崎さんと出会っていないんですよ。

——「少女革命ウテナ^{注17}」で一緒にされた幾原邦彦監督からは、どんな要求がありましたか。

幾原さんは良いことを云いましたよ、あの人。一言です、彼は。

「この作品は現実じゃなくて舞台だよ。」

それだけ。それで私は、赤をばんっと。黒の代わりに赤を。

先日の展覧会で、なぜ赤を使ったのかとすごく聞かれましたが、赤になっちゃったんだ。黒く、黒く、と思ったら赤になっていった。黒の先が赤だった。無意識の偶然だよ、と云いました。理屈抜きに、ああ、いいかなという発見ですね。そういうクリエイティブな要素があって当たり前ですね。

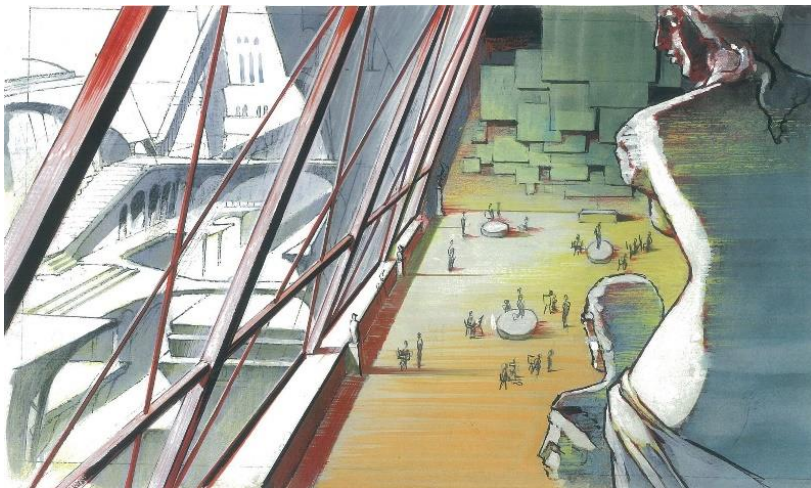


図 7. 「少女革命ウテナ」^{注18}

——宮崎さんとの作品は「ルパン三世 カリオストロの城^{注19}」がありますね。

この方と私は、向こうも扱いにくいだろうし、こっちもやりづらいし。「カリオストロの城」では、宮崎さんは、自分と一緒にいて、そばでコミュニケーションしながら仕事をしたかったのですが、私は会社を持っているから、できなかった。スタッフを交代させたくても、できない状況でしたから、私の代わりとして、自分の本当の身近なスタッフとして、山本二三さんを入れたんだと思いますね。たぶんそういうことだったんだと思います。「カリオストロの城」でも、すでに私とのコンビはあってないようなものです。

そうそう、「カリオストロの城」は完成した時にも見ましたが、その後デジタル化された映像を見て、愕然としましたね。

——ご覧になったんですね。色がすごく濃くなっていましたね。

つまりフラットになったんです。濃くなって鮮明になって、その分、フラットになった。愕然としましたよ。あの頃から始まりましたね、加工映像の、デジタル映像がハーフトーンを全部フラットにしまうということが。

話が少し変わりますが、私は結構、輪郭線を使っているんです。

——「カリオストロの城」は少し輪郭線がありますね。

そうなんです。石川五エ門がね、向こうの林の中をやってくるというシーンがあったんですが、橋に輪郭線を使っています。他にも廃墟の石なんかに。私は線を使うということ、線の働きということにこだわっていましたから、使いたがっていたんです。それに対して宮崎さんは、背景の描き方と云えば、線はない、という立場の人だから、僕はこっそり線を入れて、彼はしょうがないねって眉をひそめながら受け入れたんじゃないですかね（笑）



図 8. 「ルパン三世 カリオストロの城」^{注20}

出崎さんとの関わりの中では、線の働きを積極的に使わせてもらいました。それが私の一番特徴的なところ。線の可能性、表現の幅はものすごく広い。感情が一番ストレートに反映されるのが線です。一度引いたら二度と… その時の呼吸、息遣いとか、手のもたつきとか、よろめきとか、そういう偶然の効果というものが出ますでしょ。定規の直線とは違って、つまり遊びが、一瞬の偶然の息遣いが線に出るんです。それを活かしたいという気があります。

「宝島^{注21}」なんかは、線の命ということを意識してやっていたかもしれませんね。シンプルですが、線の強弱、遠近、繋がる、切れる、太い、短い、一本の線に多様な表現の可能性が含まれている。無駄な明暗の塗り分けを最小限に抑えて、絵具がなくても線だけで持つような絵を描く、という意識がありました。描き手が思い切って描かないと、ついもたもたすると、おどおどした線になるんです。線は明確であることが命です。もしばかしたかったら、明快に切れ切れと。そこに抑揚が含まれるわ

けです。だから背景をやる人もね、線を積極的に使う方向を攻めるべきなんじゃないかなあ。上からサインペンとか、筆ペンとか、ボールペンとか、鉛筆より濃く出ますから。

——最近のアニメーションの背景は写真のようにリアルになって、個性がなくなったように感じます。

写真を加工するなどという最近のアニメの邪道なやり方を、いつまで続けるつもりなんでしょうか。本当の絵の良さ、描くという行為のものが忘れられちゃっていますね。

その根っこには東映の伝統があると思っています。

東映の背景スタッフには、舞台セット出身の人が多かったんです。舞台背景と看板屋さんの仕事の延長上で、背景の描き方、道具の使い方というのがもう決まっていたわけです。塗りっぱなし、塗り残しは許されず、隅から隅まで塗ると綺麗で、丁寧さが第一だという。

さらに東映のボード主義を多くの現場が引きずっています。外注方式というのがあったから仕方がなかったんですね。背景を描く現場、現場が別の城を構えている。作品をバラ出する。作品を作るために一つの共通した絵面にしなければいけない。そうすると見本として美術ボードがなきゃいかん。しかし絵は描くものです。なぞるものじゃないんですよ。美術監督が方向性を定めたら、あとは描き手が自分で手探りして、こうかな、ああかな、とやるべきなんです。

固定化した何々の描き方という枠の中でモノ作りをしていては、人は育たないし、人材もだめになっていく。やる気も起きないしね。大概、小手先の慣れ事になっていくんです。

スポンサーは大体素人目ですから、やはり丁寧とか綺麗とかそろっているということがとっても大事なんです。作品の良し悪しじゃないですね。そういう状況の中で日本のアニメーションは成長してきたんです。

私は本番をやりながらも、作品ごとに新しいスタイルを生み出そうと手探りしていました。そこが全然違うんですね。細かいとか丁寧とか、実にくだらないことです。

加工映像で一番確かなことは、触覚性の喪失と云いたい。描きっぱなしは、手の跡が残りますですよ。息遣いもありますね。絵が生きているんです。へただろうと、なんだろうと。それを加工していくから触覚性がなくなる。生きているという実感がない。綺麗ということに惑わされて。

私も先日の出版物で「発見する」ということに気が付きました。「あっ、いいな」と“発見”する。いまの加工映像の世界では、この発見の場を与えないんです。なぞるとか、横並べとか、そういう惨めな行為を、なんで若者に要求するんでしょうね。

これからの若い人たちが勇気をもって実験的な絵作りに挑戦する、すでにあることじゃなくて、新しいことに挑戦する意識が欲しいね。自分を出せば、いやでも作品の個性は類似的でなくなって、違いが出るはずなんです。本来、モノ作りというのは、実験的な冒険と賭け、そういう不安定なものはずなんです。

いまは、体は嫌がっているのに、目だけは面白おかしさの方に好奇心が釣られて、加工映像、加工キャラの生理的な気持ち悪さを許容できるほど、我慢に慣れてしまっているんじゃないでしょうか。この状況を変えようとしてもなかなか変えられませんか。

だから新しい状況を生み出すしかないんですよ。それには加工映像も許容して、そして加工映像にもない、つまり必要なところだけを描いた未完成の映像、そういうものができればね。

例えば線だけの部分があって、大事な部分だけ色がある、その色が移動していく。

例えば後ろに茂みがある、ずーっとおもしろくない、必要なだけの茂みが部分的にあって、それ以外は意識の中だけ、あるな、と感じる。目線がちょっと動いたりすると、その色の部分がふっと動いたりする。色の乗った部分と手描きの輪郭線、タッチだけの部分が、一つの作品の中で混在している状態。

完成度が求められて、だめになっていくことに対して、未完成を入れる。もっと、まだ、という状態を、最小限これだけ、必要なだけと制限を加えるような。能率には影響するでしょうから、うまく使うための監督の采配が大事でしょうけどね。出来損ないの描き損じじゃなくて、未完成の状態を何とか一つの画面の中に取り込むんです。描かないということ、詩的な表現、淡彩画のようにふわっと、そういう映像ができていいんじゃないでしょうか。実写では成し得ないことをやらなきゃならない時代になってきたんじゃないかと思います。

いまの加工映像に飽きる時代が来たとき、その気のある人が短いフィルムで、いまのアニメーションの不満をぶつけるような作品が出てきて、それが大衆に支持されるかどうかですが、何かそこに可能性、糸口があるような気がする。このくそジジイがまだムキになっているんだから（笑）

このままダメになるとは、私はまだまだ思っていないですよ。状況は作るものでありたい。今度の講座のことも、私は何らかの兆しを持ちたいし、それにプラスになるような関わりにしたい、と思っています。

——はい、どうぞよろしくお願いいたします。集団制作するアニメーションだからこそ、スタッフの方たちの個性が響き合って、かつてない作品が生まれてくるといいなと思いますね。本日は本当にありがとうございました。

注

¹ 清水敏男『藤田嗣治作品集』（2018年、東京美術館、108頁）参照。

² 『アニメ美術から学ぶ《絵の心》』玄光社 2019年8月29日 発売

³ 『新西洋美術史』（2010年、西村書店、422頁）参照。

⁴ 「宇宙パトロール ホッパ」1965年2月1日～11月29日（全44話）

⁵ 「少年ジャックと魔法使い」1967年3月公開、演出 薮下泰司

⁶ 『東映動画 長編アニメ大全集 上巻』（1978年、徳間書店、158頁）参照。

⁷ 「太陽の王子 ホルスの大冒険」1968年7月公開、演出 高畑勲

⁸ 「アンデルセン物語」1968年3月公開、演出 矢吹公郎

⁹ 「巨人の星」1968年3月30日～71年9月18日（全182話）

¹⁰ 「昆虫物語 みなしごハッチ」1970年4月7日～71年12月28日（全91話）

¹¹ 「六法やぶれクン」1969年4月28日～9月26日（1話5分 全110話）

¹² 小林七郎『アニメ美術から学ぶ《絵の心》』（2019年、玄光社、30頁）参照。

¹³ 「ガンバの冒険」1975年4月7日～9月29日（全26話）

¹⁴ 「ゴルゴ13」1983年5月公開

-
- ¹⁵ 「はじめ人間ギャートルズ」1974年10月5日～1975年3月29日（全77話）
- ¹⁶ 小林七郎『空気を描く美術 小林七郎画集』（2002年、徳間書店、24頁）参照。
- ¹⁷ 「少女革命ウテナ」1999年8月公開
- ¹⁸ 小林七郎『アニメ美術から学ぶ《絵の心》』（2019年、玄光社、82頁）参照。
- ¹⁹ 「ルパン三世 カリオストロの城」1979年12月15日公開、監督 宮崎駿
- ²⁰ 『双葉社 Mook(76) アニメコレクション ルパン三世 カリオストロの城』（1985年、双葉社、48頁）参照。
- ²¹ 「宝島」1978年10月8日～79年4月1日（全26話）

フィルモグラフィ

1965

- ・(TV) 宇宙パトロール ホッパ ◆背景
- ・(TV) パトロール・ホッパ 宇宙っ子ジュン ◆背景

1966

- ・(TV) レインボー戦隊 ロビン ◆背景 ◆美術
- ・(TV) 魔法使いサリー ◆背景

1967

- ・(映) 少年ジャックと魔法使い ◆背景
- ・(映) サイボーグ 009 怪獣戦争 ◆背景

1968

- ・(映) アンデルセン物語 ◆背景
- ・(TV) 巨人の星 ◆背景

1969

- ・(TV) 六法やぶれクン ◆美術監督
- ・(TV) ムーミン ◆背景

1970

- ・(TV) 昆虫物語 みなしごハッチ ◆背景
- ・(TV) 赤き血のイレブン ◆背景 ◆美術監督 (40～52 話)

1971

- ・(TV) 決断 ◆背景 ◆美術設定
- ・(TV) 新 オバケのQ太郎 ◆美術監督

1972

- ・(TV) 樫の木 モック ◆背景 ◆美術設定
- ・(TV) ど根性ガエル ◆美術監督

1973

- ・(映) パンダコパンダ 雨ふりサーカスの巻 ◆美術監督
- ・(TV) 侍ジャイアンツ ◆美術監督

1974

- ・(TV) はじめ人間ギャートルズ ◆美術監督

1975

- ・(TV) ガンバの冒険 ◆美術監督
- ・(TV) 元祖 天才バカボン ◆美術監督

1976

- ・(TV) まんが 花の係長 ◆美術監督 ◆背景
- ・(TV) まんが世界昔ばなし ◆美術

1977

- ・(TV) 風船少女テンブルちゃん ◆背景スタイリング

- ・(TV) 新 巨人の星 ◆美術監督
- ・(TV) 立体アニメーション 家なき子 ◆美術監督
- ・(TV) まんが偉人物語 ◆美術

1978

- ・(TV) 宝島 ◆美術監督
- ・(TV) 新・エースをねらえ！ ◆美術監督

1979

- ・(TV) 新 巨人の星Ⅱ ◆美術監督
- ・(映) エースをねらえ！ ◆美術
- ・(TV) アンネの日記 アンネフランク物語 ◆美術監督
- ・(映) ルパン三世 カリオストロの城 ◆美術

1980

- ・(映) 家なき子 ◆美術
- ・(TV) 坊っちゃん ◆美術監督
- ・(映) 火の鳥 2772 愛のコスモゾーン ◆背景

1981

- ・(TV) 最強ロボ ダイオージャ ◆美術デザイン (1～29 話)
- ・(映) ユニコ ◆背景
- ・(映) あしたのジョー 2 ◆美術
- ・(TV) ワンワン三銃士 ◆美術監督 (1, 2 話)

1982

- ・(TV) ULYSEE 31 [宇宙伝説ユリシーズ 31] ◆美術監督 (11, 12 話)
- ・(映) SPACE ADVENTURE コブラ ◆美術監督
- ・(映) オズの魔法使い ◆美術監督

1983

- ・(映) ゴルゴ 13 ◆美術監督
- ・(TV) 魔法の天使 クリィミーマミ ◆美術監督
- ・(TV) タイムスリップ 10000 年 プライム・ローズ ◆美術監督
- ・(TV) STAR WARS (パイロットフィルム) ◆美術監督
- ・(TV) 子鹿物語 THE YEARLING ◆設定 ◆背景
- ・(TV) 雨ふり小僧 ◆美術監督

1984

- ・(TV) リトル・エル シドの冒険 ◆美術ボード
- ・(映) うる星やつら 2 ビューティフル・ドリーマー
◆美術設定 (森本ゆうじと共同) ◆美術監督
- ・(TV) チックン タックン ◆美術
- ・(映) 冒険者たち ガンバと 7 匹のなかま ◆美術
- ・(TV) RAINBOW BRITE (魔法少女 レインボーブライト) ◆美術監督

- ・(TV) MIGHTY ORBOTS ◆美術監督
- ・(TV) THE LITTLES ◆美術監督
- ・(OVA) 街角のメルヘン ◆美術監督
- ・(OVA) 魔法の天使 クリィミーマミ 永遠のワンスモア ◆美術監督

1985

- ・(映) うる星やつら 3 リメンバー・マイ・ラヴ
◆美術設定(新井寅雄と共同) ◆美術監督(新井寅雄と共同)
- ・(TV) ROBOT MAN AND FRIENDS ◆美術監督
- ・(TV) DISNEY'S ADVENTURES OF THE GUMMI BEARS ◆美術監督
- ・(TV) タッチ ◆美術監督
- ・(OVA) 魔法の天使 クリィミーマミ Long Goodbye ◆美術監督
- ・(TV) ハイスクール! 奇面組 ◆美術監督
- ・(OVA) 天使のたまご ◆レイアウト監修 ◆美術監督

1986

- ・(OVA) 県立地球防衛隊 ◆美術監修

1987

- ・(映) NEMO (パイロットフィルム) ◆準備作業 ◆美術
- ・(OVA) トワイライトQ 第1話 時の結び目 ◆美術監督
- ・(TV) きまぐれオレンジ★ロード ◆美術監督
- ・(OVA) マップス 伝説のさまよえる聖人たち ◆美術監督
- ・(OVA) To-y ◆美術監督
- ・(TV) THE NEW ADVENTURES OF WINNIE THE POOH ◆美術監督
- ・(OVA) かつてにシロクマ ◆美術監督
- ・(映) ルパン三世 風魔一族の陰謀 ◆美術監督

1988

- ・(TV) おそ松くん[新] ◆美術監督(1~35話)
- ・(TV) キテレツ大百科 ◆美術監督(1~313話)
- ・(TV) ママ お話きかせて ◆美術
- ・(OVA) 1ポンドの福音 ◆美術監督
- ・(映) ヴィナス戦記 ◆美術監督

1989

- ・(映) おそ松くん スイカの星から こんにちはザンス! ◆美術監督
- ・(OVA) 華星夜曲 ◆美術監督
- ・(TV) ミラクル・ジャイアンツ 童夢くん ◆美術監督
- ・(TV) 藤子・F・不二雄アニメスペシャル SF アドベンチャーT・P [タイムパトロール] ぼん
◆美術監督
- ・(TV) がきデカ ◆美術監督

1990

- ・(映) チスト みどりのおやゆび ◆美術監督
- ・(TV) たんけん ゴ布林島 ◆美術監督
- ・(OVA) 藤子・F・不二雄 SF [すこしふじぎ] 短編シアター (第1期) ◆美術監督
- ・(TV) ミラクル・ジャイアンツ 童夢くんめざせV2! うなれ友情の新魔球!! ◆美術監督
- ・(OVA) ミノタウロスの皿 ◆美術監督

1991

- ・(映) うしろの正面だあれ ◆美術監督
- ・(TV) ゲンジ通信あげだま ◆美術監督
- ・(OVA) 藤子・F・不二雄 SF [すこしふじぎ] 短編シアター (第2期) ◆美術監督
- ・(OVA) 創竜伝 ◆美術監督 ◆背景
- ・(OVA) ここは グリーン・ウッド ◆美術監督
- ・(映) 月光のピアス ユメミと銀のバラ騎士団 ◆美術監督
- ・(OVA) アニメ・アート・ビデオ・コレクション 童話
◆監督 ◆キャラクターデザイン ◆美術 ◆マテリアル画

1992

- ・(TV) ファンタジアドベンチャー 長靴をはいた猫の冒険 ◆美術設定 (1~4話)
- ・(映) ぞう列車が やってきた ◆美術監督
- ・(TV) 姫ちゃんのリボン ◆美術監督
- ・(OVA) ねこひきのオルオラネ ◆画面構成 ◆美術監督
- ・(OVA) 宝島メモリアル『夕風と呼ばれた男』 ◆美術

1993

- ・(OVA) 太陽がいっぱい ◆美術監督
- ・(OVA) 愛物語 ◆美術監督
- ・(TV) ドラゴンリーグ ◆美術設計 ◆美術監督
- ・(OVA) 超時空世紀 オーガス 02 ◆美術監督

1994

- ・(TV) 赤ずきんチャチャ ◆美術監督
- ・(映) Licca the ・(映) リカちゃん リカちゃんとヤマネコ 星の旅 ◆美術監督
- ・(映) キャプテン翼 最強の敵! オランダユース ◆美術監督

1995

- ・(TV) ナースエンジェル りりか SOS ◆美術監督
- ・(TV) 怪盗セイント・テール ◆美術監督
- ・(OVA) 赤ずきんチャチャ ◆美術監督

1996

- ・(映) 新きまぐれ オレンジ★ロード そして、あの夏のはじまり ◆美術監督
- ・(Video game) WILD ARMS ◆動画部分美術
- ・(Video game) 七ツ風の島物語 ◆動画部分美術

1997

- ・(TV) 少女革命ウテナ ◆美術監督
- ・(TV) 剣風伝奇 ベルセルク ◆美術監督

1998

- ・(TV) LEGEND OF BASARA ◆美術監督
- ・(TV) ああっ女神さまっ 小っちゃいって事は便利だねっ ◆美術監督
- ・(TV) 魔術師オーフェン ◆美術監督
- ・(Video game) 雪割りの花 ◆動画部分美術

1999

- ・(OVA) 淫獣 〜ねらわれた花嫁〜 ◆美術監督
- ・(TV) To Heart ◆美術監督
- ・(TV) 下級生 ◆美術監督
- ・(映) ピカチュウたんけんたい ◆美術監督
- ・(映) 少女革命ウテナ アドゥレセンス黙示録 ◆美術監督 ◆美術
- ・(TV) 魔術師オーフェン Revenge ◆美術監督

2000

- ・(TV) だぁ！だぁ！だぁ！（第1期） ◆美術監督
- ・(映) ピチューとピカチュウ ◆美術監督
- ・(OVA) ぼくたちピチューブラザーズ 風船騒動の巻 ◆美術監督

2001

- ・(TV) だぁ！だぁ！だぁ！（第2期） ◆美術監督
- ・(TV) こみっくパーティー ◆美術監督
- ・(TV) フィギュア17 つばさ&ヒカル ◆美術監督
- ・(映) ピカチュウのドキドキかくれんぼ ◆美術監督
- ・(TV) ちっちゃな雪使い シュガー ◆美術監督

2002

- ・(映) ピカピカ星空キャンプ ◆美術監督
- ・(映) アテルイ ◆美術監督
- ・(映) 夢かける高原 清里の父 ポール・ラッシュ ◆美術監督
- ・(OVA) ヨコハマ買い出し紀行 -Quiet Country Cafe- ◆美術監督 ◆美術

2003

- ・(TV) ななか 6/17 ◆美術監督
- ・(TV) まぶらほ ◆美術監督（本間禎章と共同）
- ・(映) もも子、かえるの歌がきこえるよ。 ◆美術監督
- ・(映) おどるポケモンひみつ基地 ◆美術監督

2004

- ・(TV) 風人物語 ◆美術監督
- ・(TV) 忘却の旋律 ◆美術監督（1～13話）

- ・(映) 新暗行御史 ◆美術監督
- ・(TV) レジェンズ 甦る竜王伝説 ◆美術監督 (1～17 話)
- ・(TV) お伽草子 ◆美術監督

2005

- ・(TV) プレイボール ◆美術設定
- ・(TV) 強殖装甲ガイバー ◆美術監修
- ・(TV) LOVELESS ◆美術監修
- ・(映) ガラスのうさぎ ◆美術監督

2006

- ・(TV) プレイボール 2nd ◆美術設定 (海津利子と共同)
- ・(TV) かりん ◆美術監修
- ・(TV) RAY THE ANIMATION ◆美術監修
- ・(TV) シムーン ◆美術監督 ◆美術設定
- ・(TV) あさっての方向。 ◆美術監督
- ・(TV) ウィンターガーデン ◆美術監督 (前編のみ)

2007

- ・(TV) のだめカンタービレ ◆美術監督
- ・(TV) ぼてまよ ◆美術監督
- ・(OVA) 東京マーブルチョコレート ◆美術監督
- ・(TV) キミキス pure rouge ◆美術監督

2008

- ・(TV) 隠の王 ◆美術監督
- ・(OVA) デトロイト・メタル・シティ ◆美術監督
- ・(TV) のだめカンタービレ 巴里編 ◆美術監督
- ・(OVA) COBRA THE ANIMATION コブラ ザ・サイコガン
◆美術監督 (高橋麻穂と共同)

2009

- ・(OVA) COBRA THE ANIMATION コブラ タイム・ドライブ
◆美術監督 (高橋麻穂と共同)
- ・(TV) うみものがたり ～あなたがいてくれたコト～ ◆美術監督
- ・(TV) 青い花 ◆美術監督
- ・(TV) 大正野球娘。 ◆美術監督

2010

- ・(TV) のだめカンタービレ フィナーレ ◆美術監督
- ・(TV) 会長はメイド様！ ◆美術監督
- ・(TV) 探偵オペラ ミルキィホームズ ◆美術監督

**公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団年報
2019—2020**

（令和元年度 第 19 号）

令和 2 年 7 月発行

編集・発行：公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 1-1-83
電話 0422-40-2211

印 刷：望洋印刷株式会社

